

1 教育を取り巻く環境

	ページ
(1) 人口減少・少子高齢社会	
① 県人口（年齢3区分別）と将来推計（三重県）	1
② 公立小学校の児童数と将来推計（三重県）	1
③ 世帯数と世帯当たり人数（三重県）	2
(2) 国際化・グローバル化の進展	
① 外国人住民数の推移（三重県）	3
② 日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移（三重県）	3
③ 日本から海外への留学者数の推移（全国）	4
④ 三重県への外国人留学生数の推移	4
⑤ 高校生の海外留学者の推移（三重県）	5
(3) 高度情報化の進展	
① インターネット利用者数および人口普及率（全国）	6
(4) 経済・雇用環境の変化	
① 年齢階級別若年無業者と人口に占める割合の推移（全国）	7
② 卒業後3年以内に離職した人の割合	7
(5) 価値観の変化	
① 現在の世相イメージ（全国）	8
② 地域の人々との交流に対する意識（全国）	9
③ 心の豊かさ、物の豊かさを重視する割合（全国）	9

2 本県の子どもたちの姿

(1) 学力・学習意欲	
① 平成26年度全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率	10
② 平成19年度から平成26年度の全国学力・学習状況調査における各教科の 全国正答率との差上記調査結果の推移（全国平均正答率との差）	11
③ 家庭で学校の授業の復習に取り組む児童生徒の割合	12
④ 学習塾（家庭教師含む）に通っている児童生徒の割合	12
⑤ 1日当たりの学習時間（学校の授業時間以外(学習塾や家庭教師含む)）	13
⑥ 家庭での計画的な学習への取組	14
⑦ 授業内容の理解度（三重県）	14
(2) 体力・運動能力	
① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査の結果	15
② 運動やスポーツに対する意識と体力との関係	18
③ 体育・保健体育の授業に対する意識と体力との関係	19
④ 部活動等への所属状況と体力との関係	20
⑤ 体育・保健体育の授業以外での運動時間確保の取組	20
⑥ 児童生徒の運動習慣	21

(3) 生活習慣	
① 朝食の摂食状況	23
② 毎日の寝起きの状況	23
③ 普段（月～金曜日）のテレビやビデオ・DVDの視聴時間	24
(4) 規範意識・道徳心・自尊感情	
① 学校のきまりを守ること	25
② 友達との約束を守ること	25
③ 人の役に立つ人間になりたいという意識	26
④ 自分には、よいところがあるという意識	26
(5) いじめ・不登校等の状況	
① いじめの認知件数の推移（三重県）	27
② いじめに対する考え方	27
③ 暴力行為の発生件数の推移（三重県）	28
④ 学年別不登校児童生徒数の推移（三重県）	28
⑤ 県立高校における中途退学者数および中途退学率の推移（三重県）	29
(6) 読書活動	
① 平日の1日当たりの読書時間	30
② 一斉読書の実施状況	30
③ 学校図書館を活用した授業の実施状況	31
(7) 文化芸術活動	
① 住んでいる地域の行事への参加	32
② 博物館や科学館、図書館を利用した授業の実施状況	32
(8) 特別支援教育	
① 特別支援学級等に在籍する児童生徒数の推移（三重県）	33
② 特別支援学校卒業生の進路状況（三重県）	33
(9) キャリア教育・進路	
① 将来の夢や目標の有無	34
② チャレンジ精神	34
③ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導	35
④ 職場見学・職場体験活動の実施状況	35
⑤ 県立高校におけるインターンシップの実施状況（三重県）	36
⑥ 県立高校卒業者の進学率・就職率の推移（三重県）	36
⑦ 高校卒業者（県立・私立、全日制・定時制を含む）の就職内定率の推移	37
⑧ 高校卒業者の産業別構成比の推移（三重県）	37
(10) 情報モラル教育	
① 携帯電話やスマートフォンの使用状況	38
② インターネット利用に関する家庭のきまりの有無（全国）	38

3 子どもたちを取り巻く環境

(1) 安全・安心

① 不審者事案の件数（三重県）	39
② 児童生徒の食物アレルギーの現状（三重県）	39
③ 奨学金貸与者数（三重県）	40
④ 学校防災リーダーを中心とした防災教育・防災対策の推進状況（三重県）	40
⑤ 校舎・屋内体育館の耐震化率（三重県）（平成27年4月現在）	40

(2) 教員

① 教員の年齢構成（三重県）	41
② 教員の病気休職者数（三重県）	41
③ 教員のICTを活用する能力	42

(3) 学校

① 学校評価の取組状況（三重県）	43
② 三重県内の中学校卒業生数の推移と予測	43
③ コミュニティ・スクール及び学校支援地域本部の状況	44
④ 小中一貫教育の推進状況	45
⑤ 県立高等学校の教育課程による分類	46

(4) 家庭・地域の教育力の向上

① 教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への参加状況と意欲（三重県）	47
② 子どものためになる教育が行われていると感じる割合（三重県）	47
③ 地域社会の中で、子どもが元気に育っていると感じる割合（三重県）	48

4 高等教育機関の現状

(1) 県内高等教育機関の状況

① 県内高等教育機関の配置	49
② 高等教育機関の数に関する他府県との比較	49

(2) 県内高等教育機関の基本情報

(3) 学生数の推移

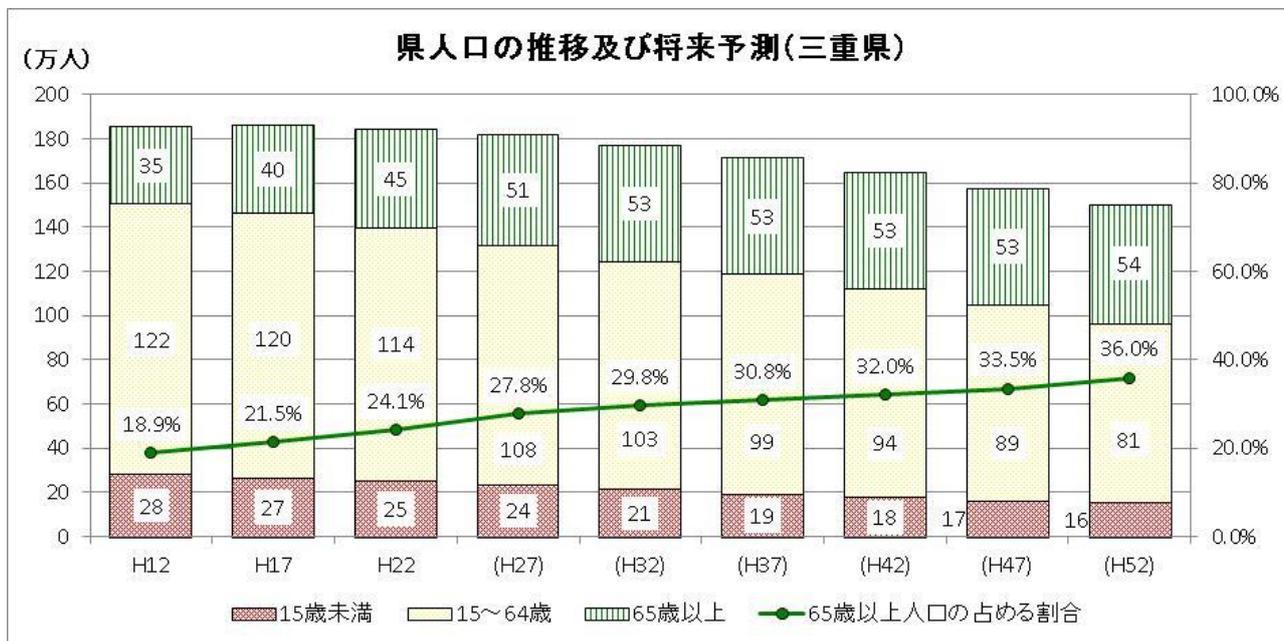
(4) 教員数の推移

(5) 三重県の課題

1 教育を取り巻く環境

(1) 人口減少・少子高齢化社会

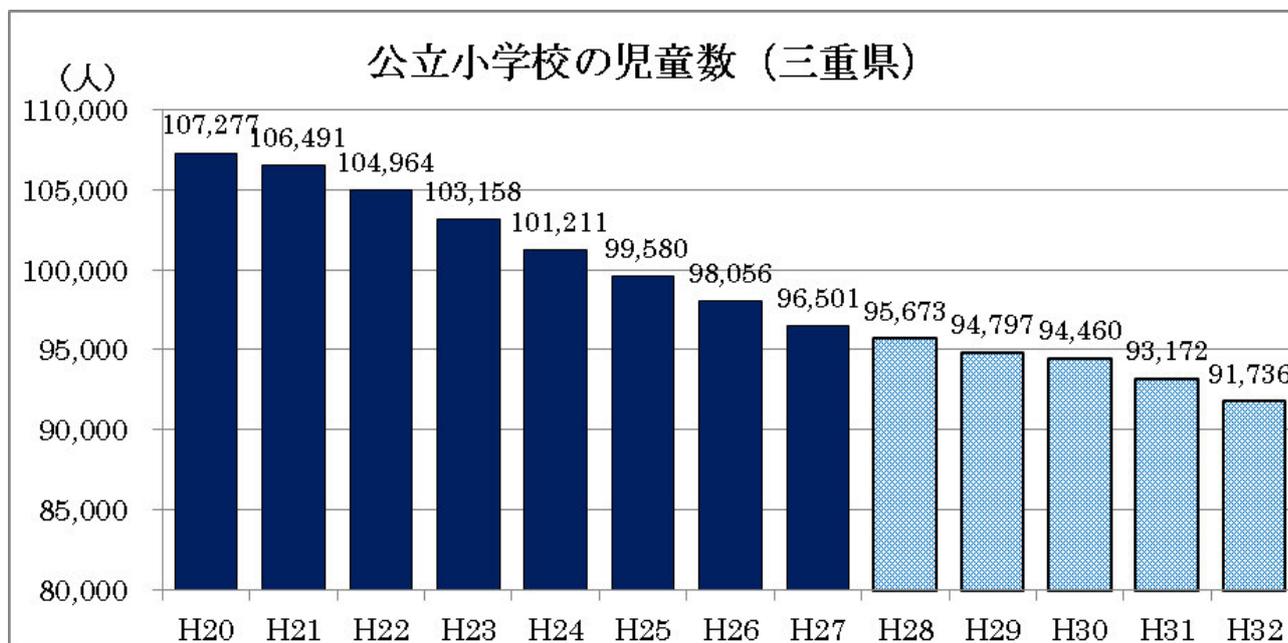
① 県人口（年齢3区分別）と将来推計



【国勢調査（総務省）、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）】

- ・ 少子高齢化が進む傾向となっている。

② 公立小学校の児童数と将来推計

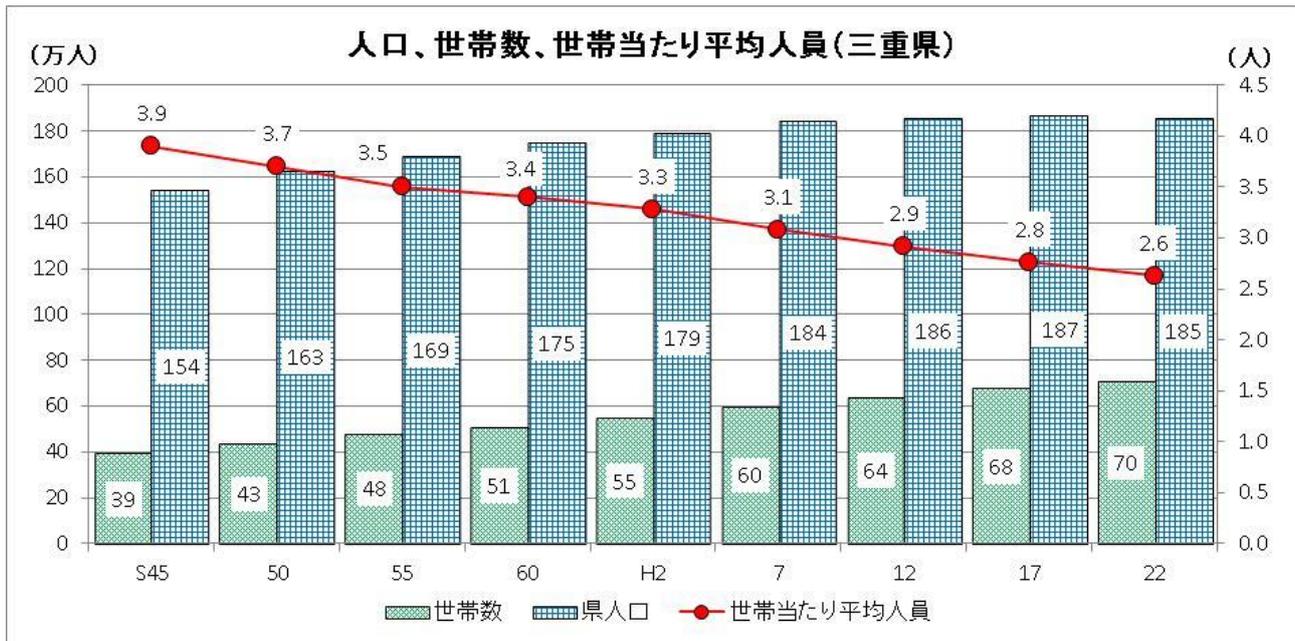


【三重県教育委員会調べ（毎年度5月1日現在）】

- ・ 公立小学校の児童数は年々減少している。

* 平成28年度以降は、見込み数。

③ 世帯数と世帯当たり人数



【国勢調査 (総務省)】

- ・ 核家族化が年々進んでいる。

(2) 国際化・グローバル化の進展

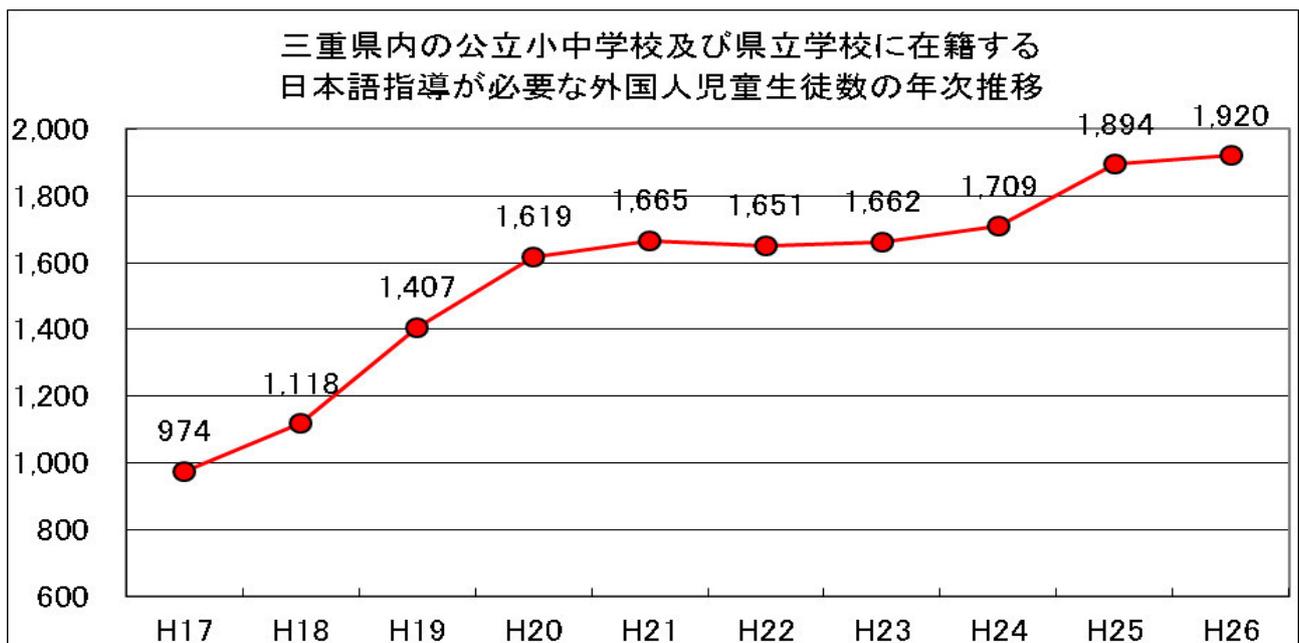
① 外国人住民数の推移（三重県）



【三重県多文化共生課調べ】

- 外国人住民数は平成20年をピークに減少傾向となっている。

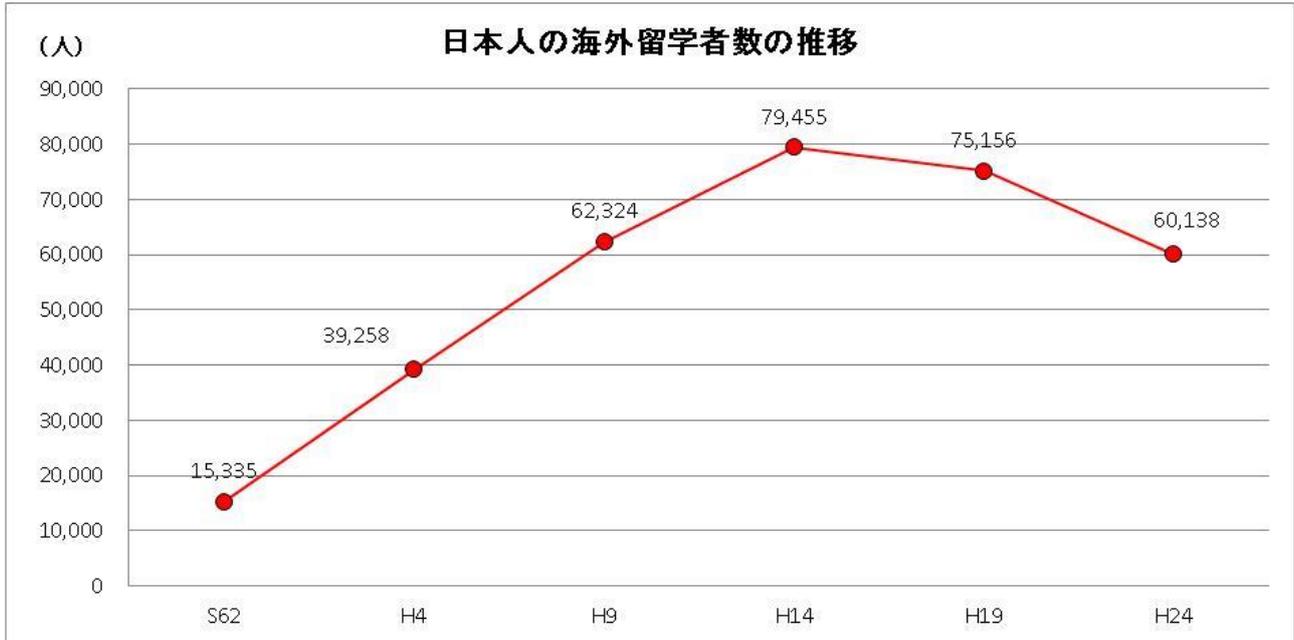
② 日本語指導が必要な外国人児童生徒数の推移（三重県）



【三重県教育委員会調べ（各年度9月1日時点）】

- 日本語指導が必要な外国人児童生徒数は増加傾向にある。

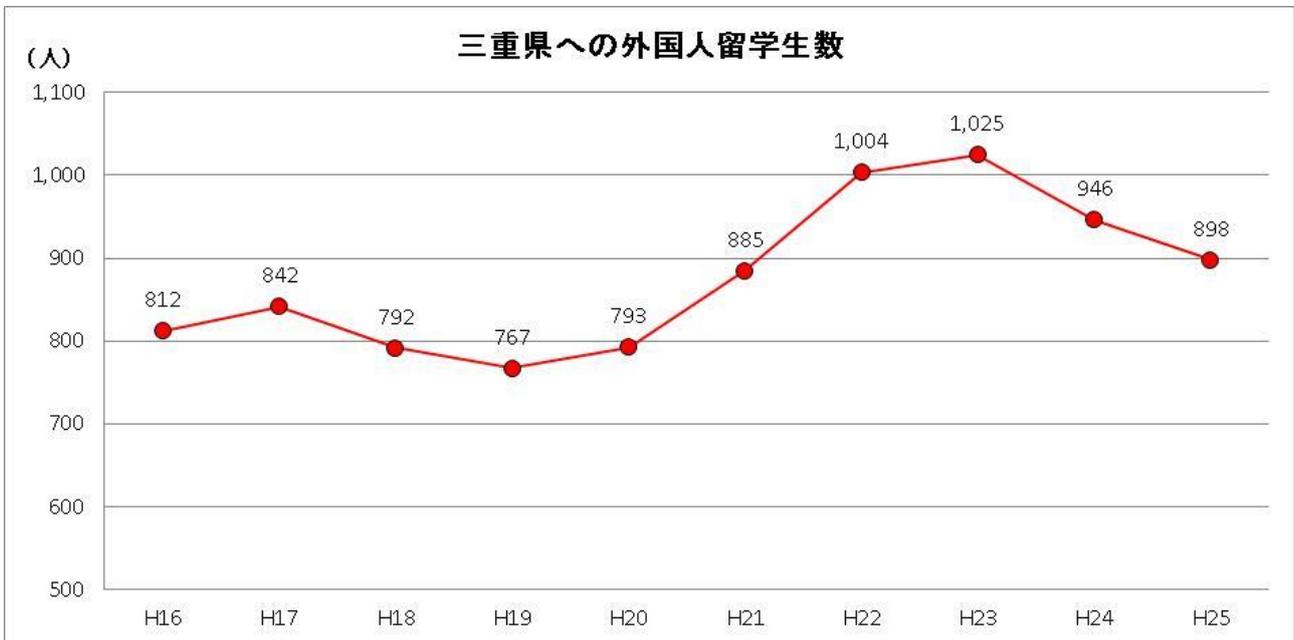
③ 日本から海外への留学者数の推移（全国）



【図表でみる教育 (Educational at a Glance) (OECD)】

- ・ 海外へ留学する日本人は減少傾向に転じている。

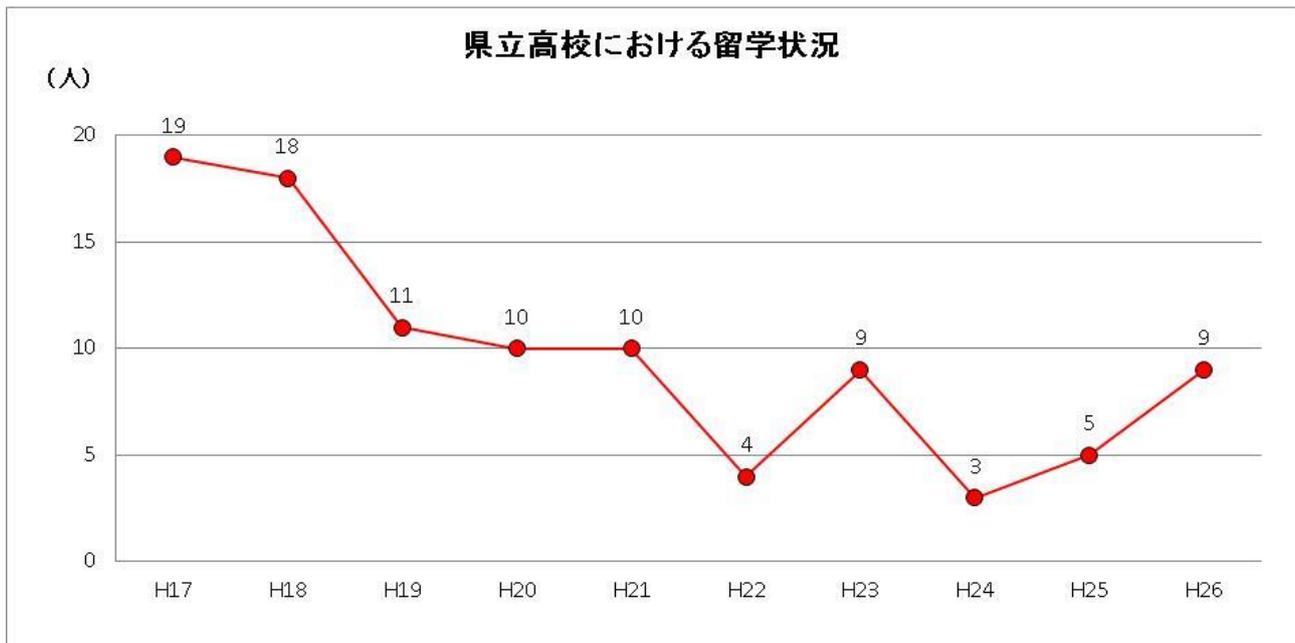
④ 三重県への外国人留学生数の推移



【外国人留学生在籍状況調査 (独立行政法人日本学生支援機構)】

- ・ 県内への留学生は、平成23年をピークに減少傾向となっている。

⑤ 高校生の海外留学者の推移(三重県)

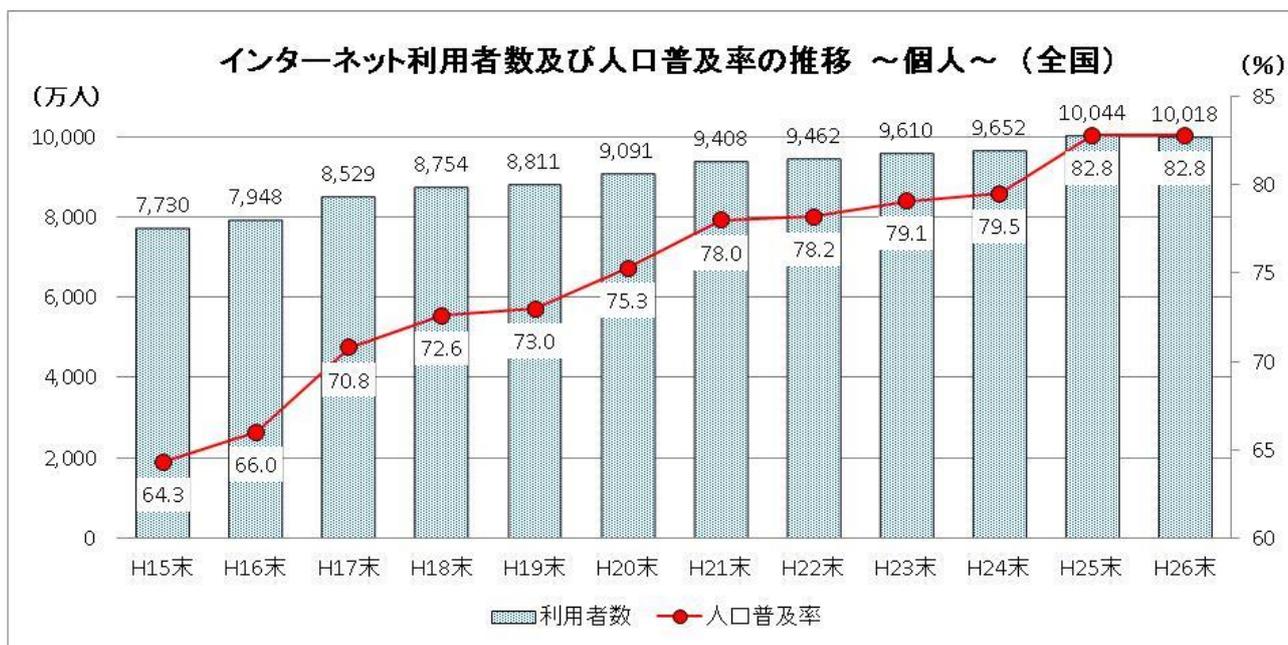


【三重県教育委員会調べ(各年度5月1日時点)】

- ・ 海外留学する県立高等学校の生徒数は、中期的にみて減少傾向にある。

(3) 高度情報化の進展

① インターネット利用者数および人口普及率



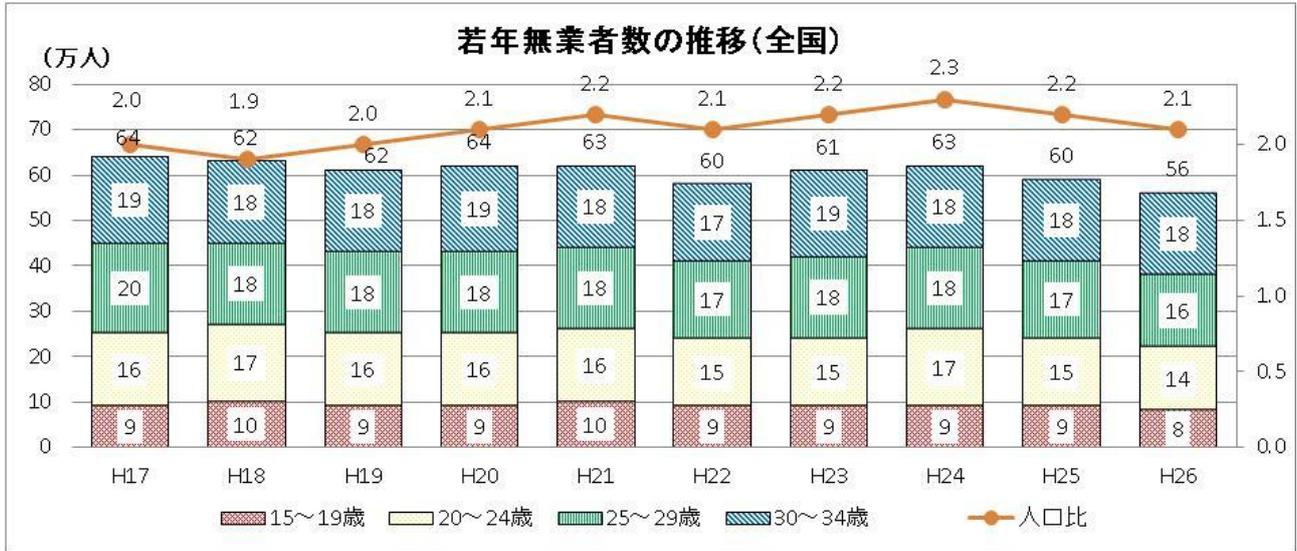
【通信利用動向調査 (総務省)】

- ・ インターネットの普及率は非常に高くなっている。

(4) 経済・雇用環境の変化

① 年齢階級別若年無業者(*)と人口に占める割合の推移

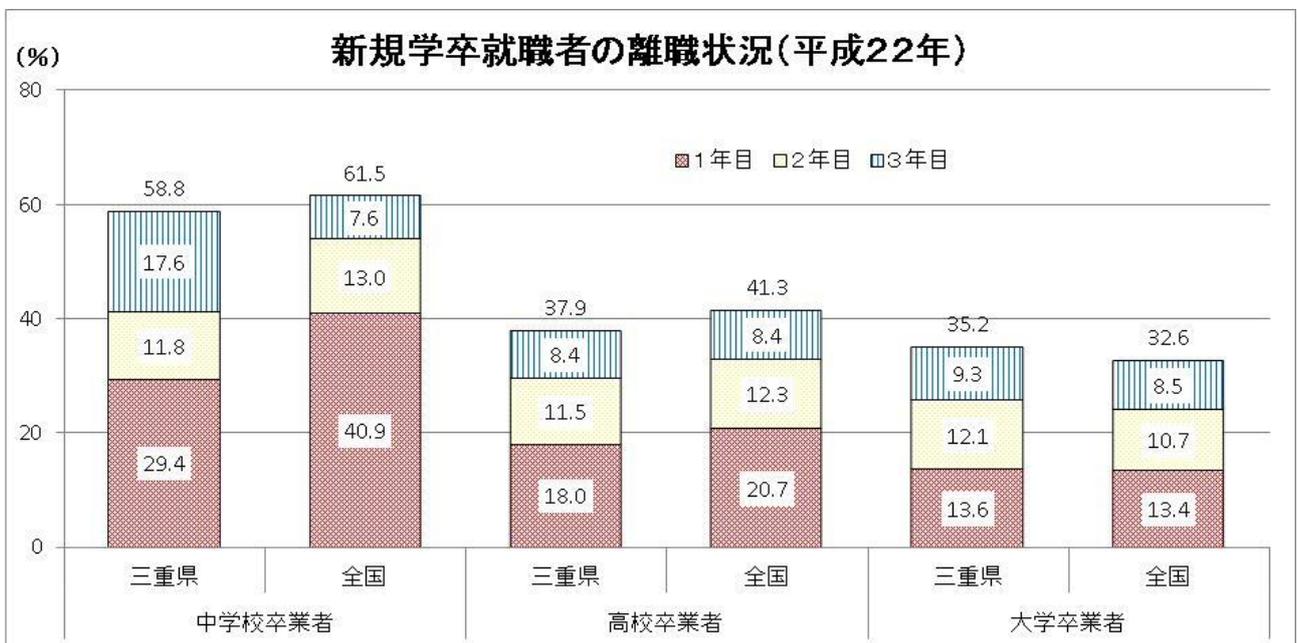
(*) 15～34歳の非労働力人口のうち家事も通学もしていない者



【労働力調査(総務省)】

- ・ 若年無業者の数は、ここ数年大きな変化はない。

② 卒業後3年以内に離職した人の割合

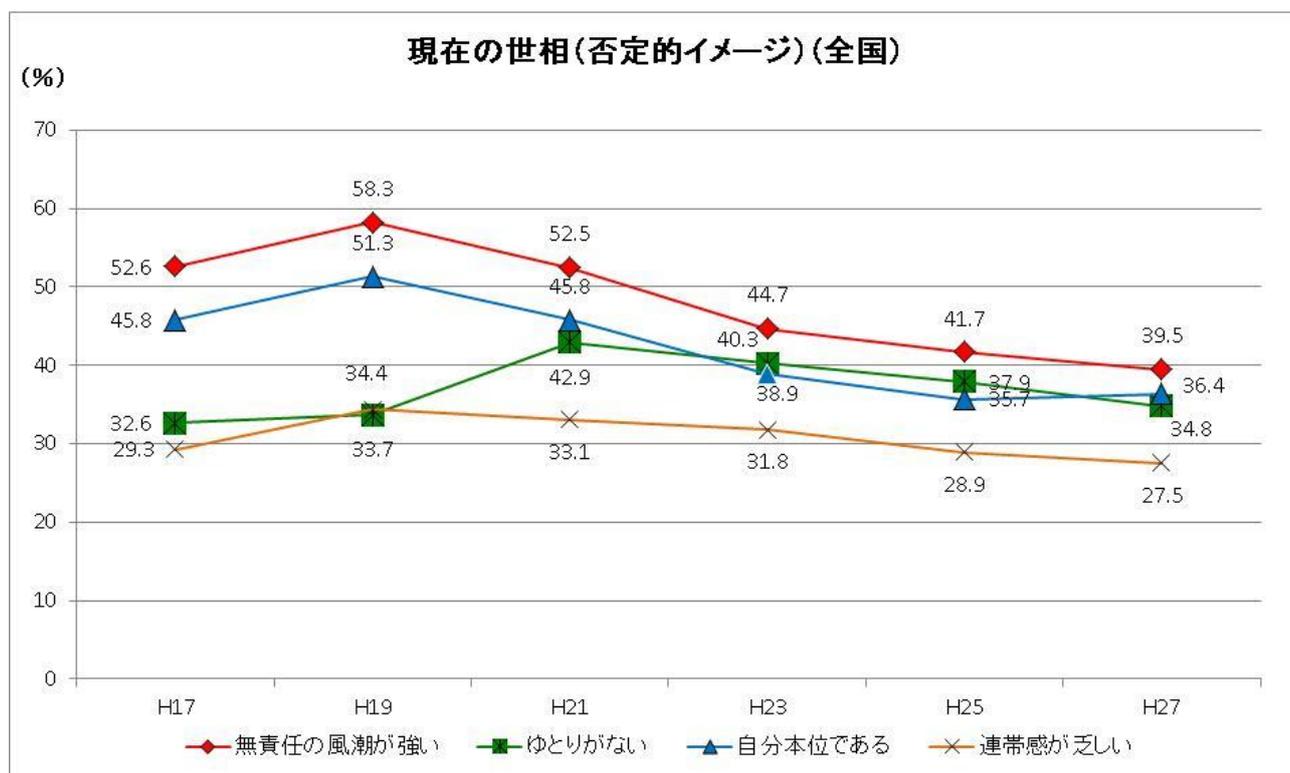
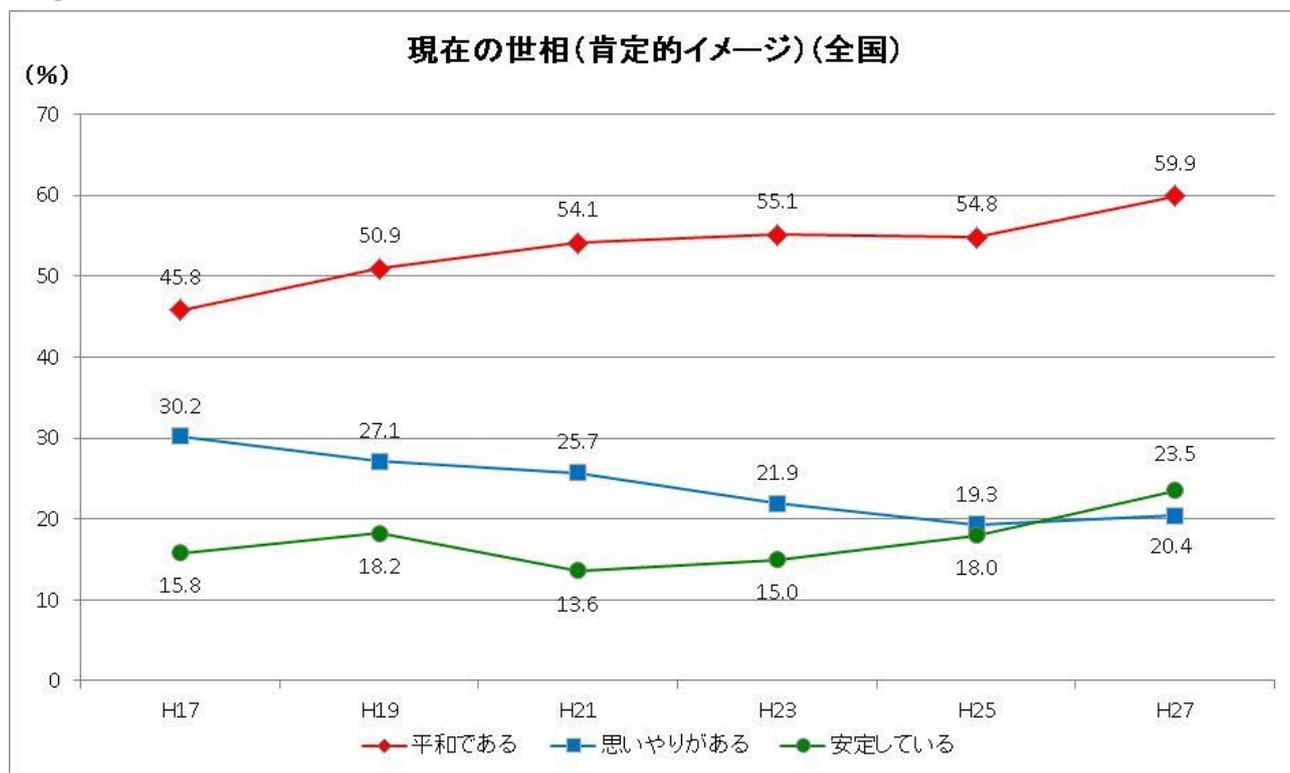


【在職期間別離職状況調査(厚生労働省)および三重労働局調べ】

- ・ 三重県においては、中学校卒業者の約59%、高校卒業者の約38%、大学卒業者の約35%が卒業後3年以内に離職している。中学校卒業者と高校卒業者については、3年以内の離職率が全国平均を下回っている。

(5) 価値観の変化

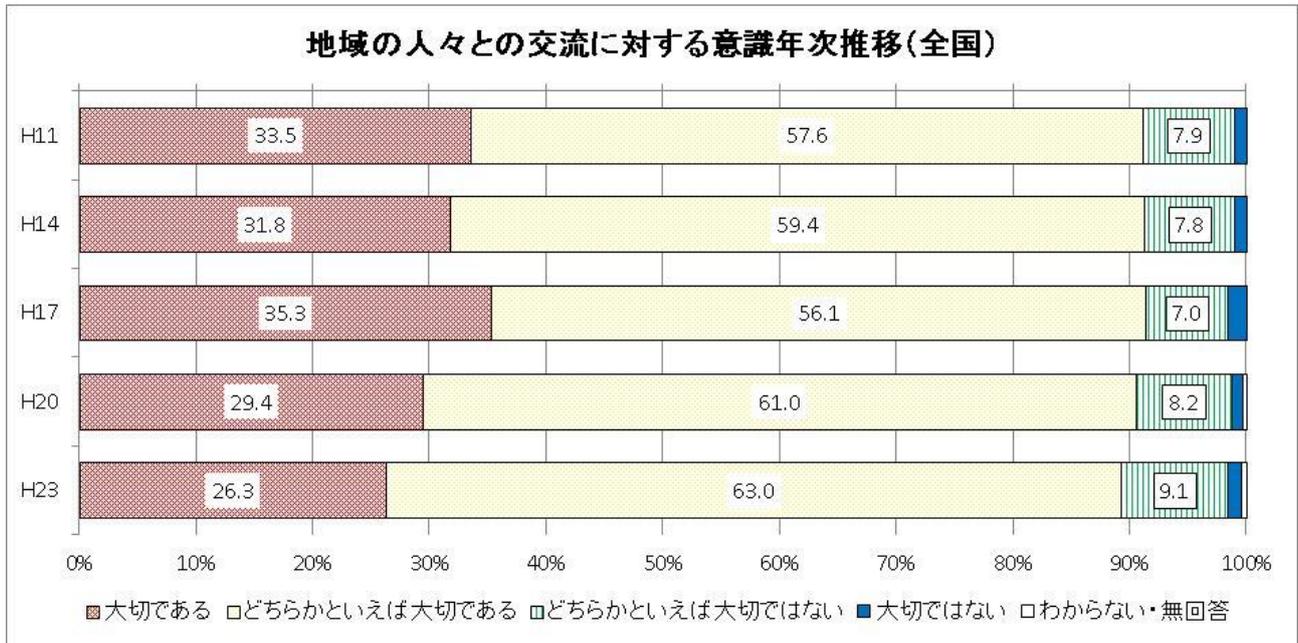
① 現在の世相イメージ



【社会意識に関する世論調査(内閣府)】

- ・ 「平和である」「安定している」の肯定的イメージが増加傾向となっている。
否定的イメージについては全体として減少傾向となっている。

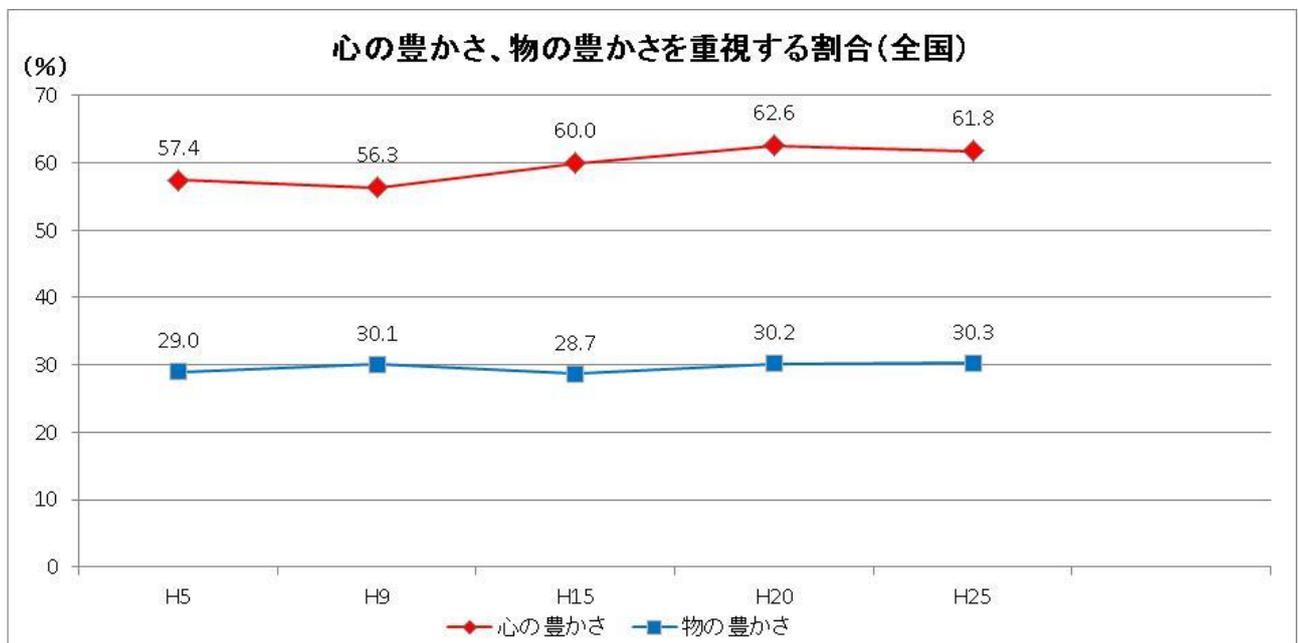
② 地域の人々との交流に対する意識



【国民生活選好度調査（内閣府）】

- ・ 地域の人々との交流が大切であるという意識が低下している傾向となっている。

③ 心の豊かさ、物の豊かさを重視する割合



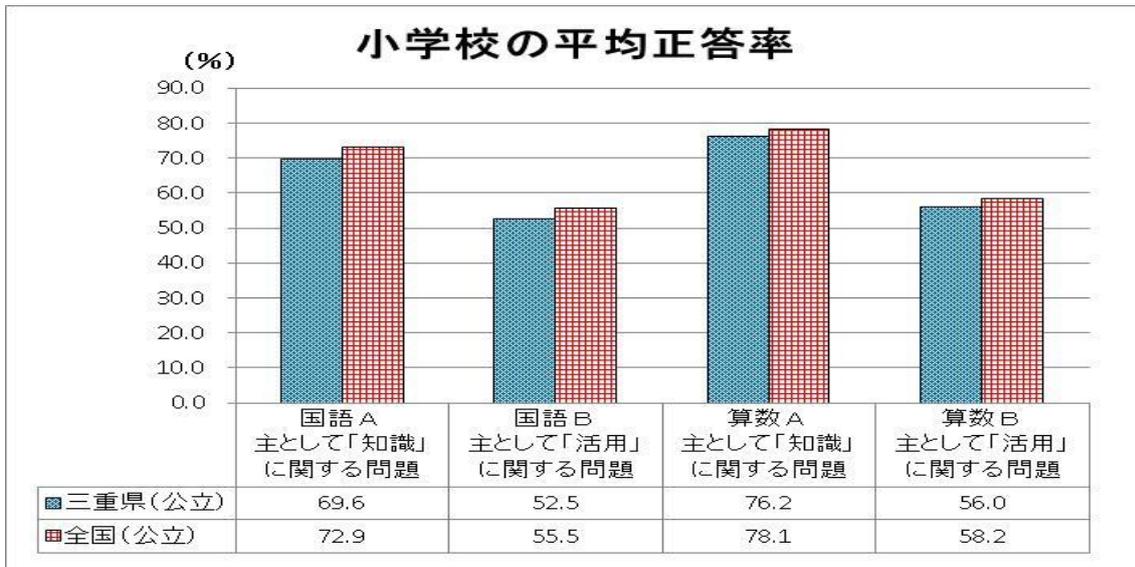
【国民生活に関する世論調査（内閣府）】

- ・ 物の豊かさよりも心の豊かさを重視する傾向となっている。

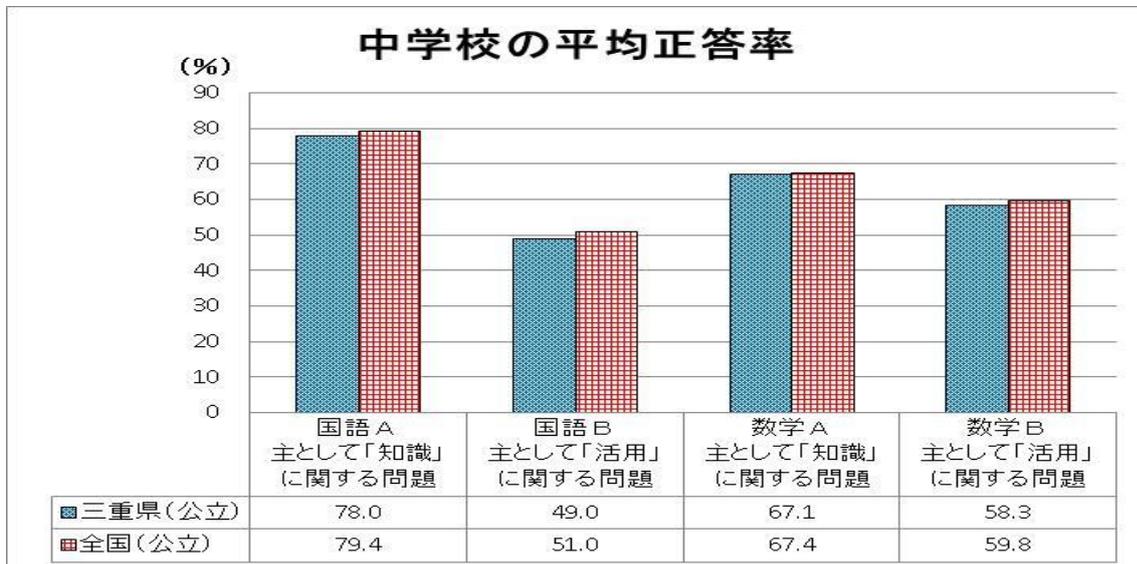
2 本県の子どもたちの姿

(1) 学力・学習意欲

① 平成26年度全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率

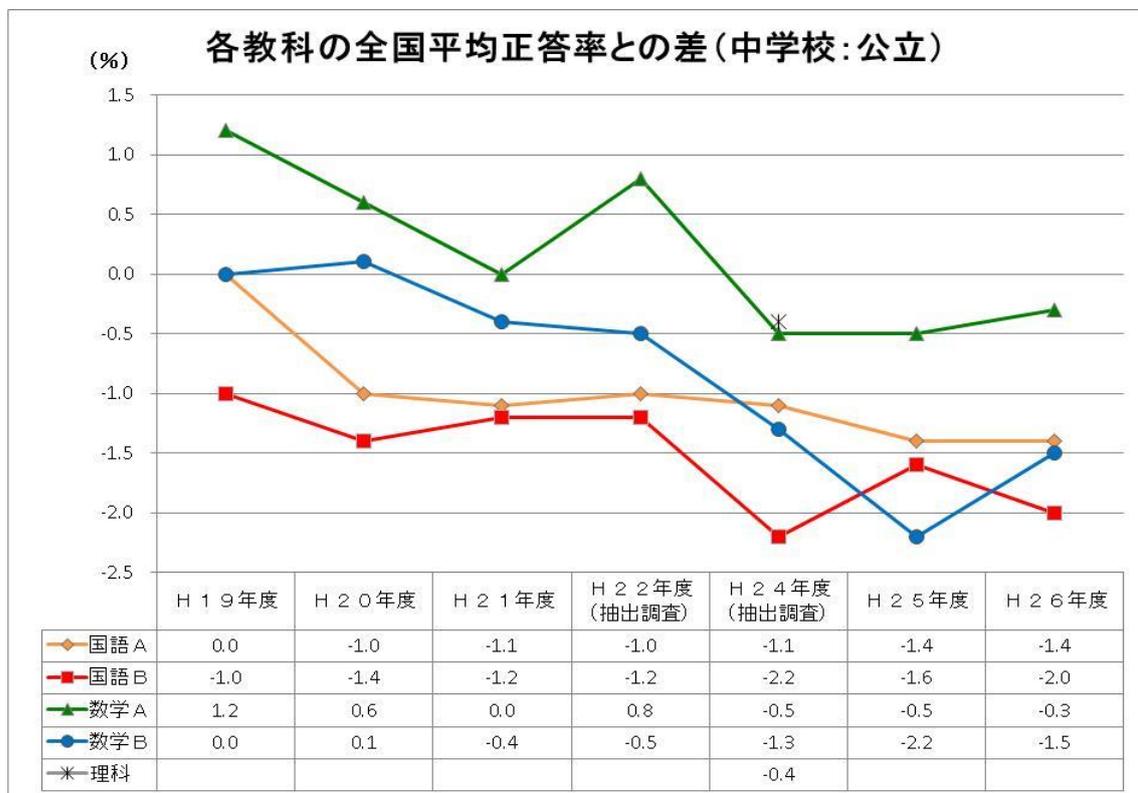
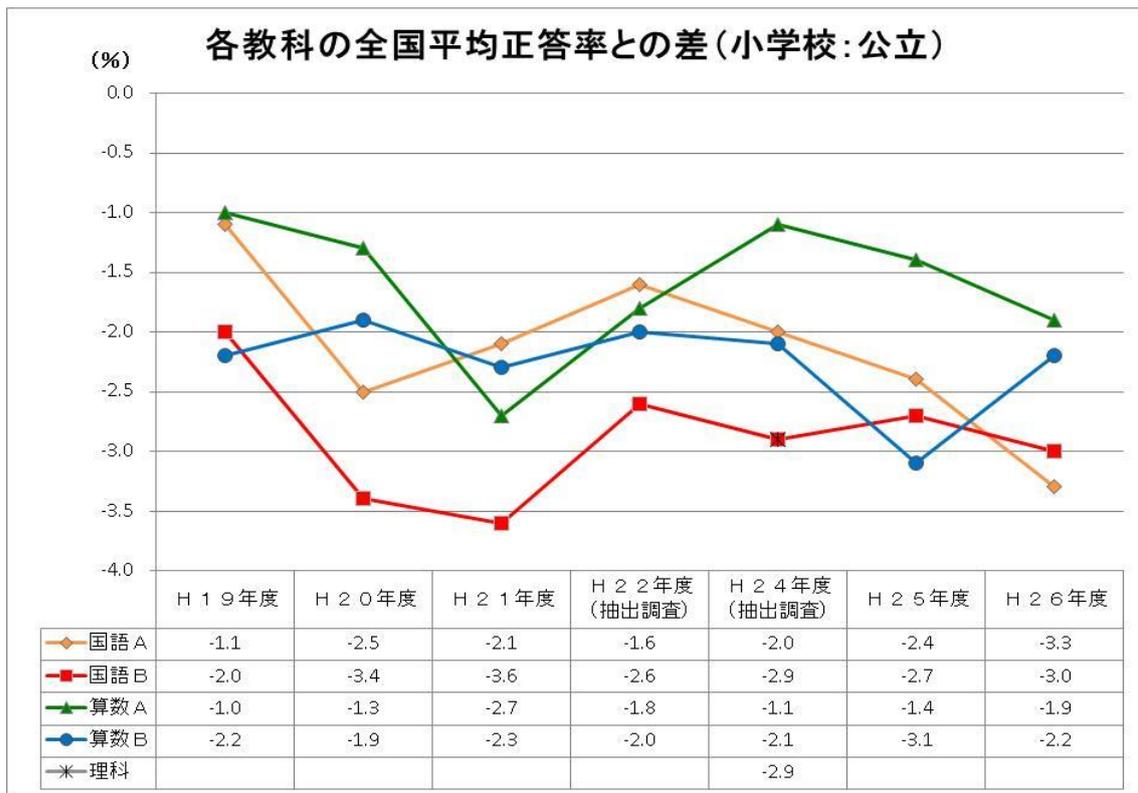


- ・ 国語 A (知識)、国語 B (活用) とともに、平均正答率が 3 ポイント以上全国平均を下回っている。
- ・ 算数 A (知識)、算数 B (活用) とともに、国語 A、国語 B より全国平均との差は小さいものの、全国平均を下回っている。



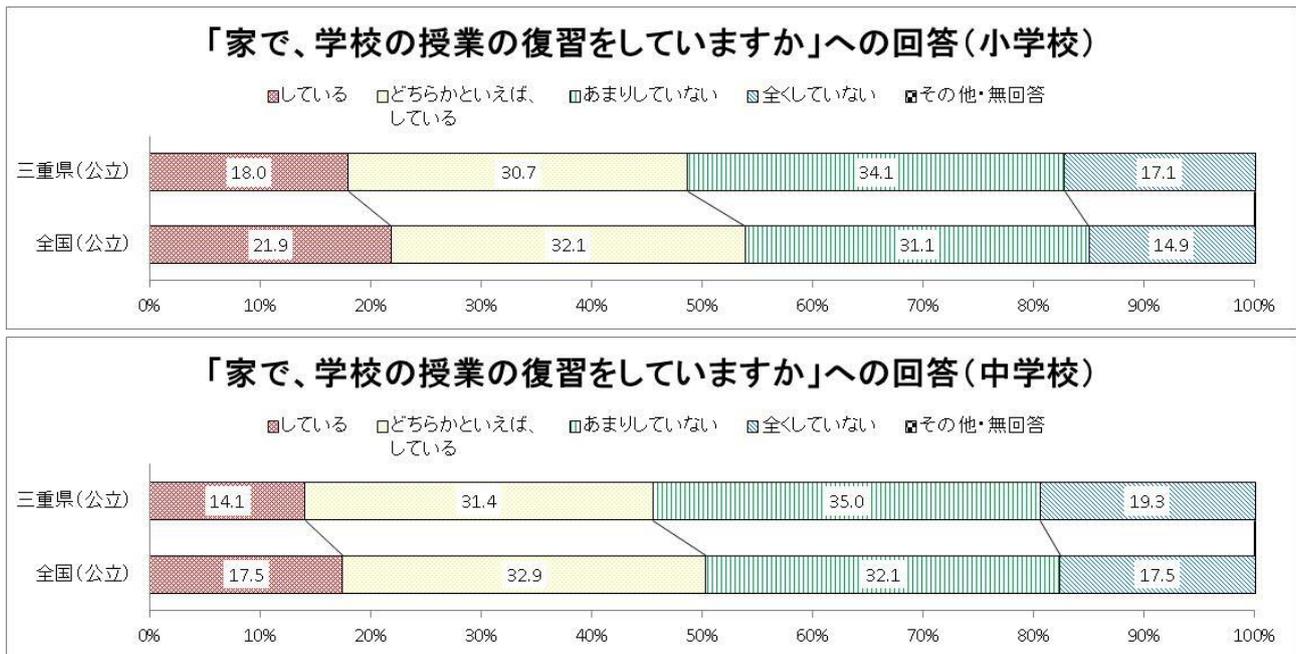
- ・ 平均正答率が全体的に全国平均を下回っているが、小学校と比べ全国平均との差は比較的小さい。
- ・ 小学校と同様、中学校においても国語 (A・B) が数学 (A・B) より全国平均との差が大きい。

② 平成19年度から平成26年度の全国学力・学習状況調査における各教科の全国平均正答率との差



- 平成26年度においては、平成25年度に引き続き、全ての教科において全国の平均正答率を下回っており、小学校国語A・B、小学校算数A、中学校国語Bにおいて全国の平均正答率との差がさらに開く状況となっている。

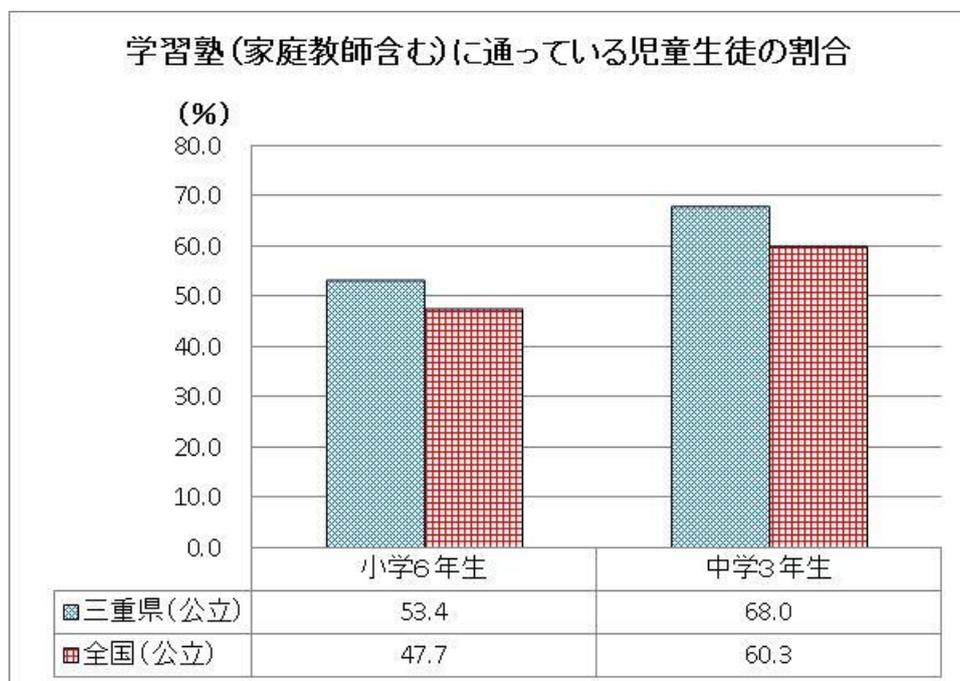
③ 家で学校の授業の復習に取り組む児童生徒の割合



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- 家で学校の授業の復習をしている、どちらかといえばしていると肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、全国平均より小さい。小学6年生では約17%、中学3年生では約19%が全く復習をしていない。

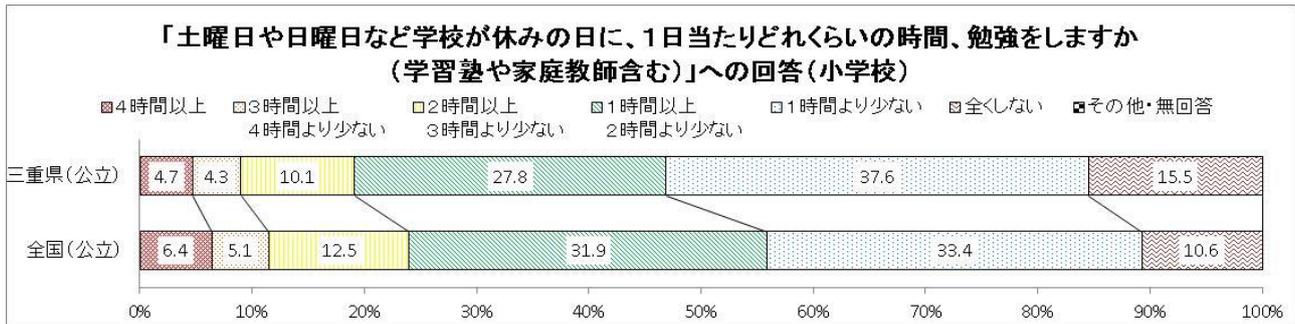
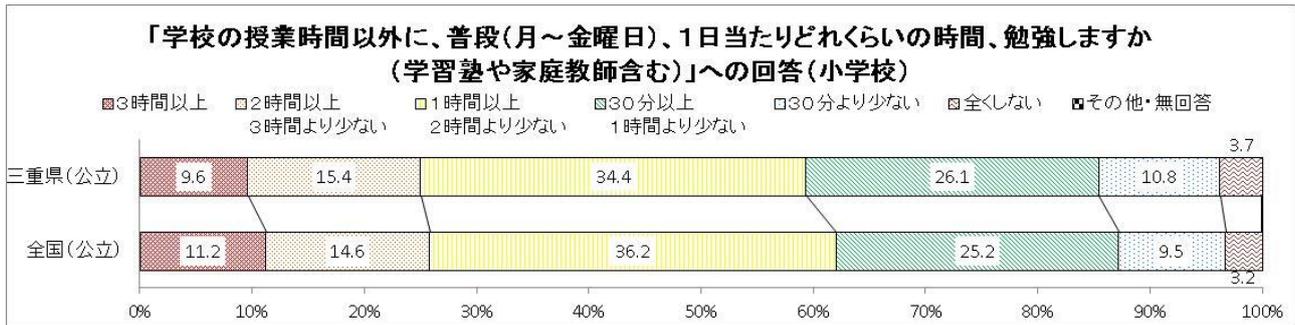
④ 学習塾（家庭教師含む）に通っている児童生徒の割合



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙をもとに作成】

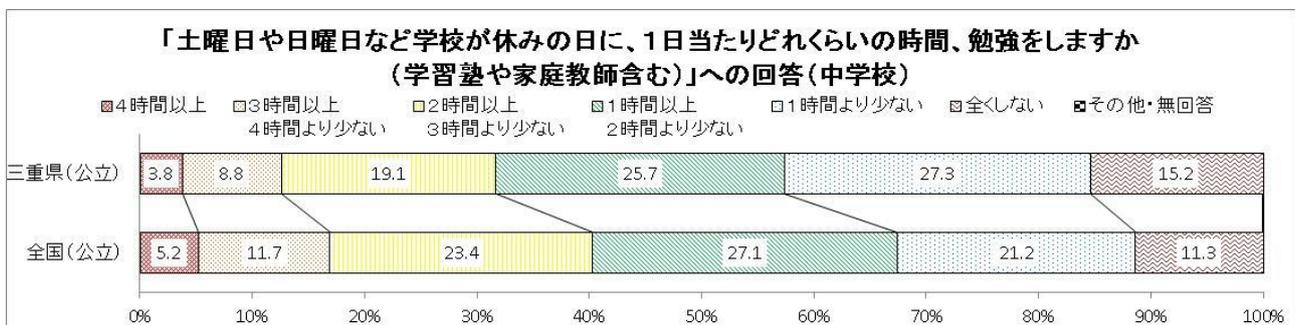
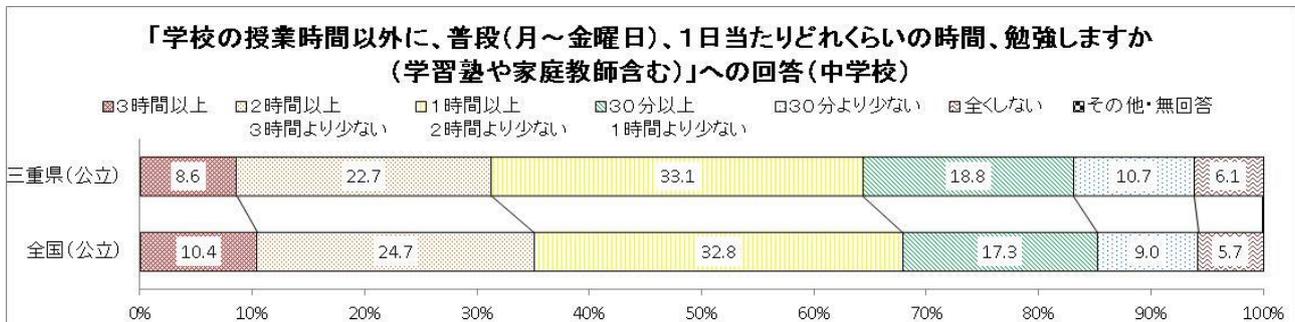
- 学習塾（家庭教師含む）に通っている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに全国平均より大きい。

⑤ 1日当たりの学習時間（学校の授業時間以外（学習塾や家庭教師含む））



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙】

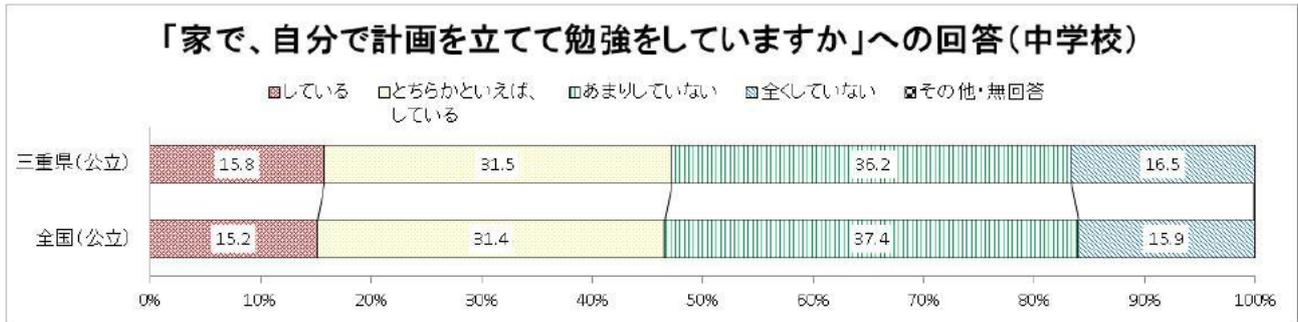
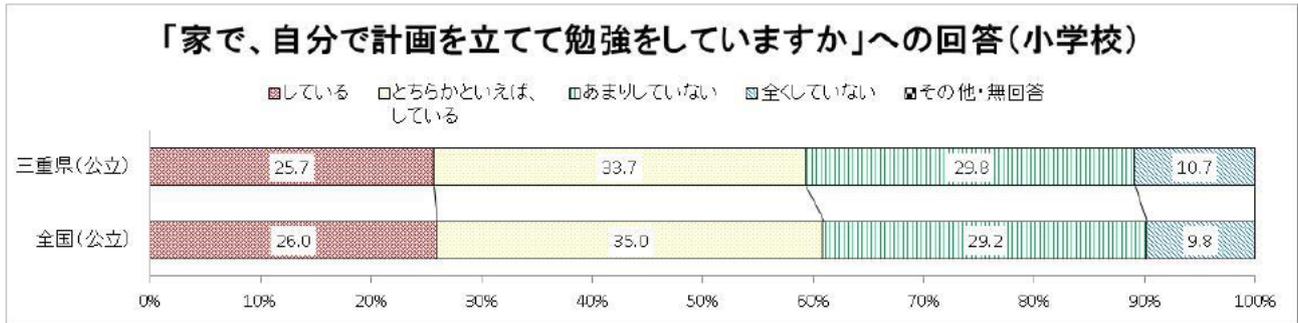
- ・ 普段（月～金曜日）の日に学校の授業時間以外に1時間以上、学校が休みの日に2時間以上勉強している小学6年生の割合は、全国平均よりも小さい。また、小学6年生の約16%は、学校が休みの日に全く勉強していない。



【平成26年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙】

- ・ 普段（月～金曜日）の日に学校の授業時間以外に1時間以上、学校が休みの日に2時間以上勉強している中学3年生の割合は、全国平均よりも小さい。また、中学3年生の約15%は、学校が休みの日に全く勉強していない。

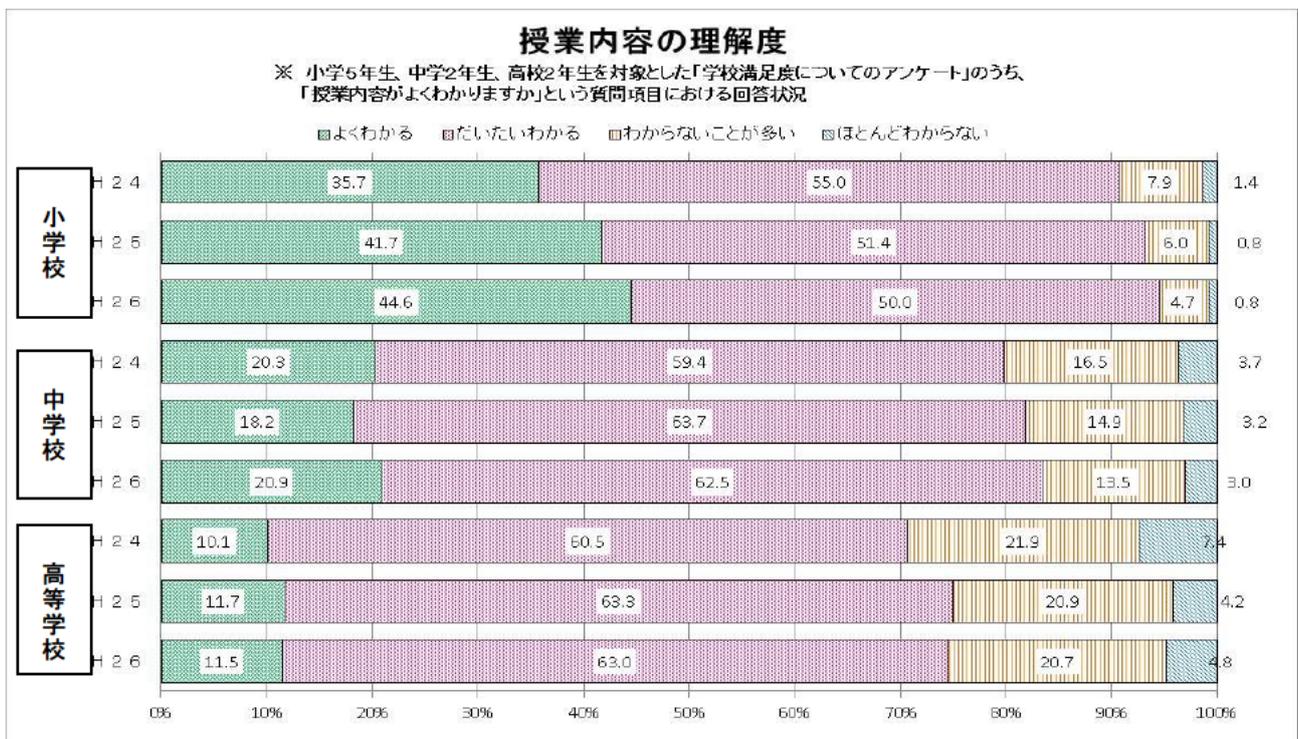
⑥ 家庭での計画的な学習への取組



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は、全国平均より小さい。一方、中学3年生では肯定的な回答の割合が全国平均より大きい。

⑦ 授業内容の理解度



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全体として、理解度についての肯定的な回答の割合は増加傾向にあるが、校種が上がるにつれ、理解できていないと回答する児童生徒の割合が増加している。

(2) 体力・運動能力

①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技に関する調査の結果

【小学校5年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26年度	H26年度	H25年度	H26年度	H26年度	H25年度
	三重県	全国	三重県	三重県	全国	三重県
握力 (kg)	↑ 16.51	16.55	16.49	↓ 16.01	16.09	16.04
上体起こし (回)	↓ 18.22	19.56	18.35	↑ 16.96	18.26	16.88
長座体前屈 (cm)	↑ 33.21	32.87	32.59	↑ 37.65	37.21	36.58
反復横とび (点)	↑ 41.75	41.61	41.28	↑ 39.39	39.36	38.76
20mシャトルラン(回)	↑ 50.02	51.67	49.56	↑ 37.63	40.29	36.96
50m走 (秒)	↑ 9.43	9.38	9.44	↓ 9.73	9.64	9.72
立ち幅とび (cm)	↓ 149.68	151.70	150.44	↓ 142.50	144.76	142.88
ソフトボール投げ(m)	↓ 22.69	22.90	23.24	↓ 14.18	13.90	14.36
体力合計点※ (点)	↑ 53.09	53.91	52.98	↑ 53.96	55.01	53.65

 : 全国平均を上回る
 ↑ : 平成25年度三重県平均を上回る
 ↓ : 平成25年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点

【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

全国の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに全国平均を下回っている。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、女子のソフトボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果であった。

平成25年度の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに25年度の結果を上回り、過去最高値を示した。種目別に見ると、男女の長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、及び男子の握力、50m走、女子の上体起こしが25年度の結果を上回った。

【中学校 2 年生の平均値】

調査種目	男子			女子		
	H26 度	H26 度	H25 度	H26 度	H26 度	H25 度
	三重県	全 国	三重県	三重県	全 国	三重県
握力 (kg)	↓ 28.60	29.00	28.95	↓ 23.56	23.70	23.58
上体起こし (回)	↑ 26.66	27.45	26.62	↑ 22.17	23.07	22.00
長座体前屈 (cm)	↓ 42.70	42.92	43.03	↓ 44.71	45.23	44.85
反復横とび (点)	↑ 51.53	51.31	50.87	↑ 45.72	45.63	45.28
持久走 (秒)	↑ 398.06	392.89	399.69	↑ 292.44	290.64	296.61
20mシャトルラン(回)	↑ 84.33	85.29	82.82	↑ 56.40	57.77	56.27
50m走 (秒)	↑ 8.06	8.03	8.08	↓ 8.93	8.87	8.92
立ち幅とび (cm)	↑ 190.18	193.43	190.09	↑ 164.23	166.53	163.49
ハンドボール投げ(m)	↓ 20.73	20.86	20.85	↓ 13.19	12.88	13.26
体力合計点※ (点)	↑ 40.95	41.74	40.70	↑ 48.00	48.66	47.77

 : 全国平均を上回る
 ↑ : 平成 25 年度三重県平均を上回る
 ↓ : 平成 25 年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を 1 点から 10 点に得点化して総和した合計得点

【平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

全国の状況と比較すると、体力合計点は、男女ともわずかに全国平均を下回った。種目別に見ると、男女の反復横とび、女子のハンドボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となった。

平成 25 年度の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに 25 年度の結果を上回った。種目別に見ると、男女の握力、長座体前屈、ハンドボール投げ及び女子の 50m 走を除き、多くの種目で 25 年度の結果を上回った。

【平成20年度以降の推移】

	小学校5年生				中学校2年生			
	男子		女子		男子		女子	
	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国
平成20年度	52.66	54.18	52.95	54.84	40.33	41.50	47.63	48.38
平成21年度	52.83	54.19	52.80	54.59	40.45	41.36	47.12	47.94
平成22年度	52.84	54.36	53.42	54.89	41.08	41.71	47.69	48.14
平成23年度	東日本大震災の影響等により、調査の実施が見送られた							
平成24年度	52.95	54.07	53.29	54.85	42.09	42.32	48.84	48.72
平成25年度	52.98	53.87	53.65	54.70	40.70	41.78	47.77	48.42
平成26年度	53.09	53.91	53.96	55.01	40.95	41.74	48.00	48.66

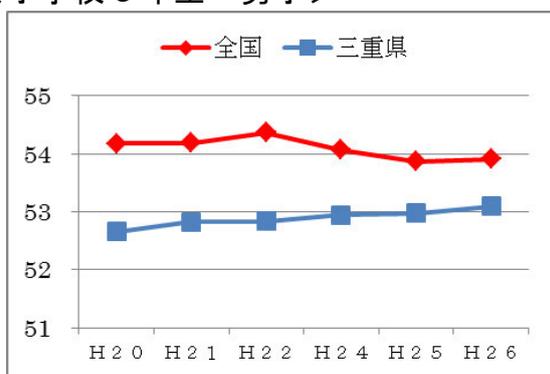
【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

小学校5年生の体力合計点は、男女ともわずかな上昇傾向が見られ、平成26年度の体力合計点は過去最高値を示した。

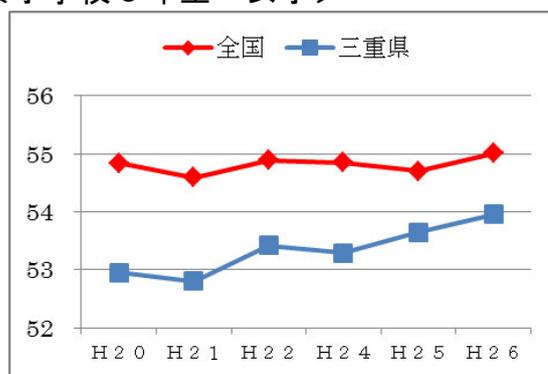
中学校2年生の体力合計点は、最高値を示した24年度には及ばなかったものの、25年度の結果を上回った。調査が始まった20年度と比較すると、男女とも体力合計点が向上している。

全国と比較すると、小学校5年生の体力合計点は、男女ともに、依然として全国平均を下回っているものの、その差は少しずつ小さくなっている。中学校2年生の体力合計点も、男女ともに全国平均を下回っているものの、その差は1ポイントを下回っている。

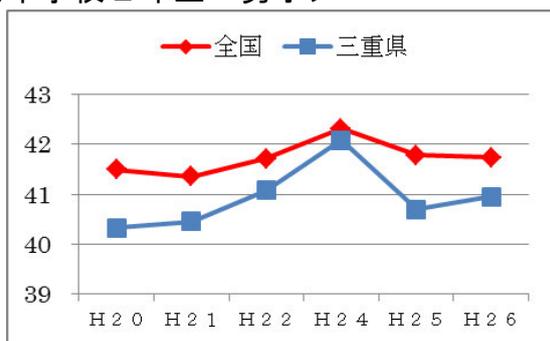
<小学校5年生 男子>



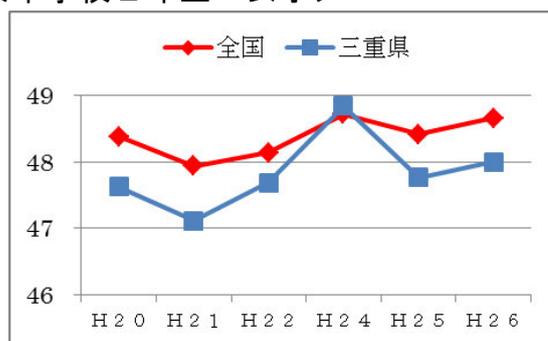
<小学校5年生 女子>



<中学校2年生 男子>

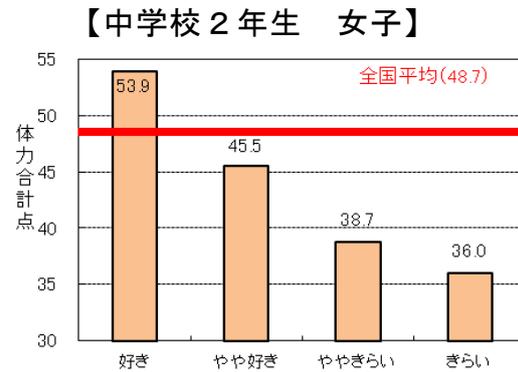
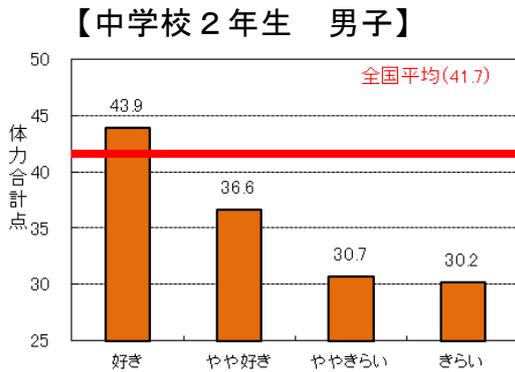
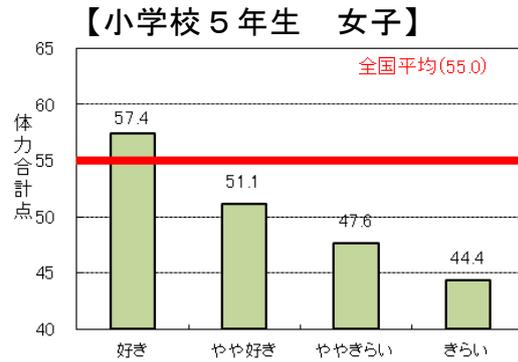
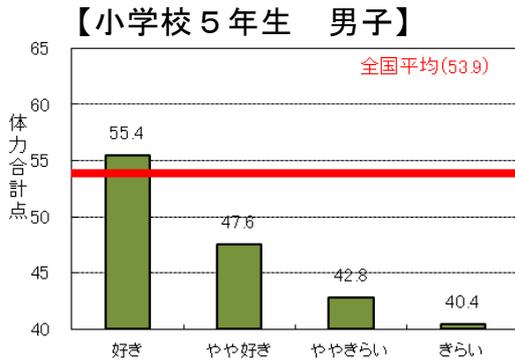


<中学校2年生 女子>

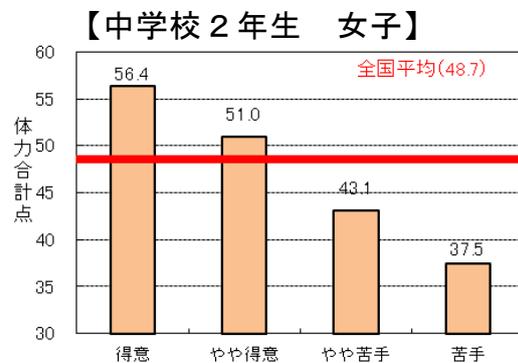
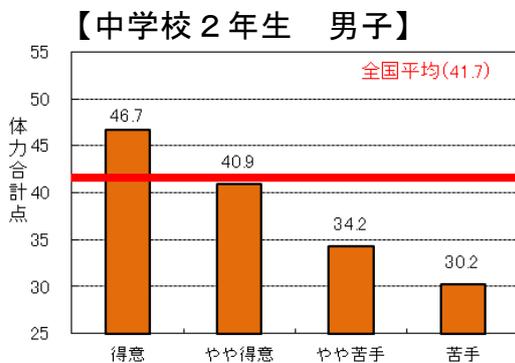
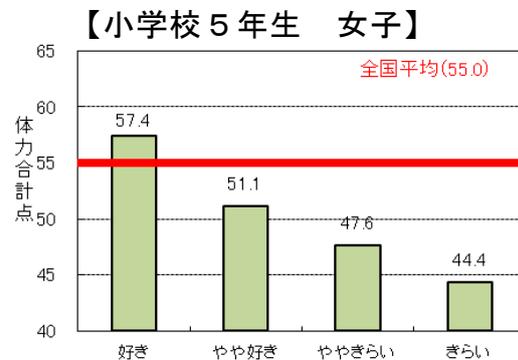
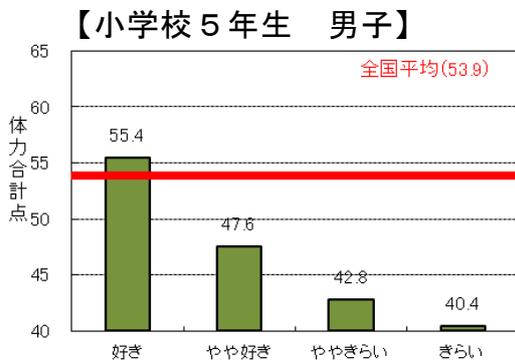


②運動やスポーツに対する意識と体力との関係

＜運動やスポーツをすることは好きですか＞



＜運動やスポーツをすることは得意ですか＞



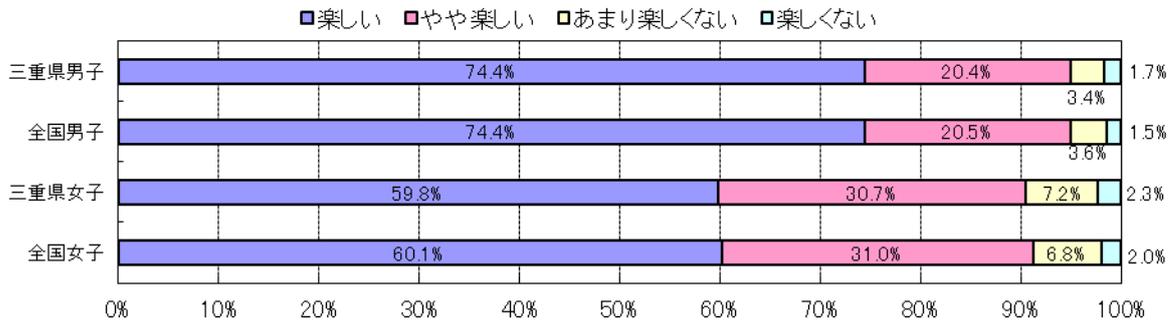
【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

校種や男女の別にかかわりなく、運動やスポーツをすることが「好き」「得意」の集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられる。

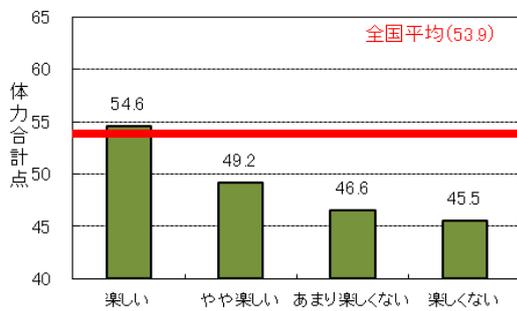
③体育・保健体育の授業に対する意識と体力との関係

<体育の授業は楽しいですか>

【小学校5年生】



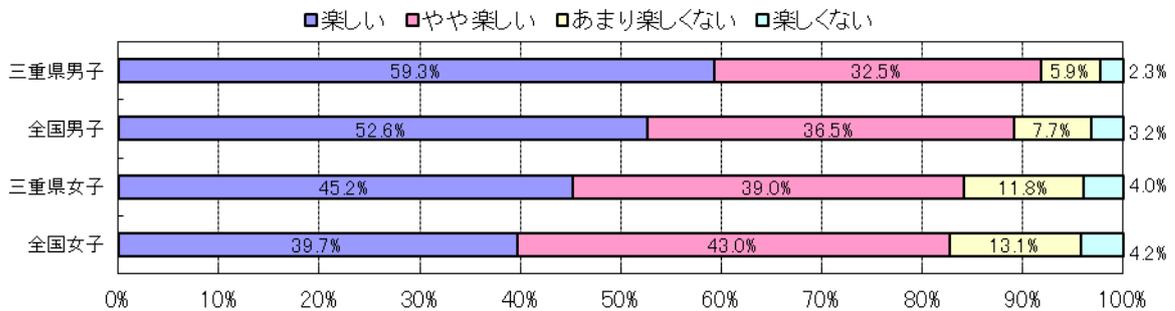
【小学校5年生 男子】



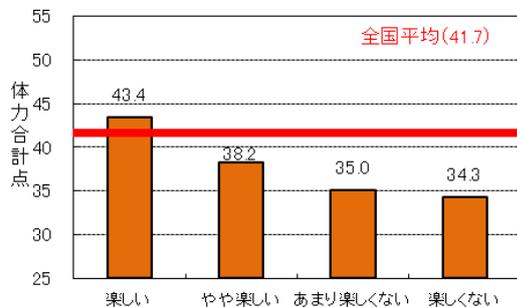
【小学校5年生 女子】



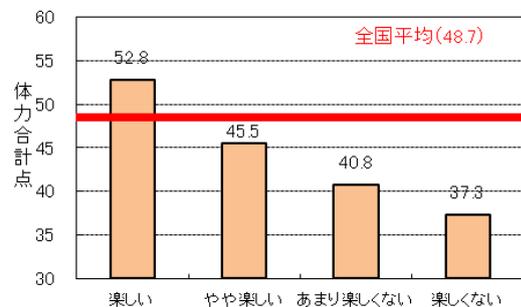
【中学校2年生】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】

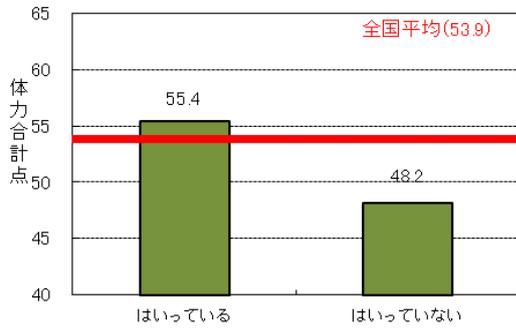


【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

校種や男女の別にかかわらず、体育・保健体育の授業が「楽しい」と答えた集団は、それ以外の集団に比べて、体力合計点が高い傾向がみられる。

④部活動等への所属状況と体力との関係

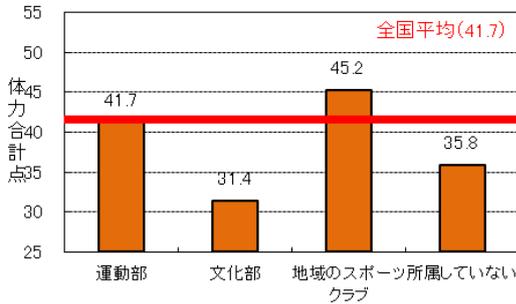
【小学校5年生 男子】



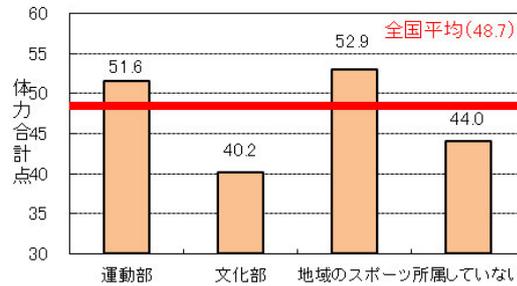
【小学校5年生 女子】



【中学校2年生 男子】



【中学校2年生 女子】

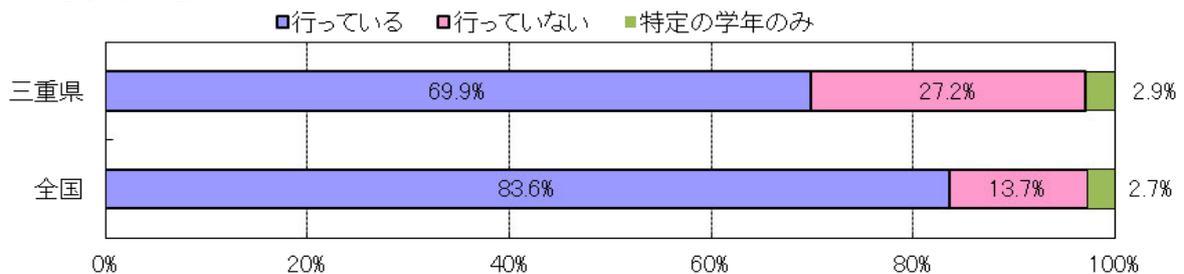


【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

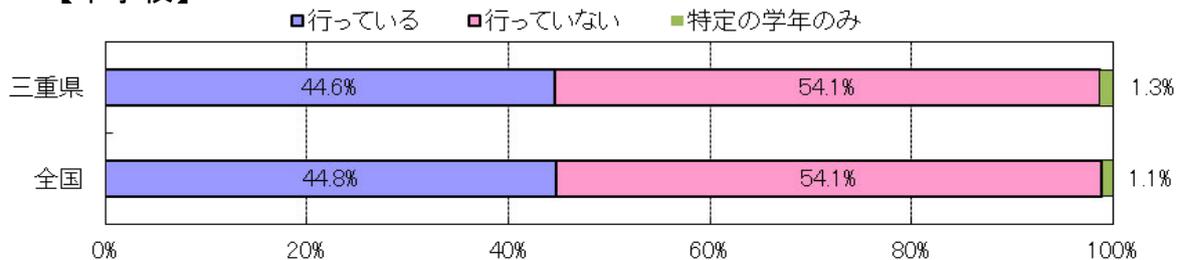
校種や男女の別にかかわらず、学校の部活動や地域のスポーツクラブ等に所属している児童生徒は、体力の合計点が高い傾向がみられる。

⑤体育・保健体育の授業以外での運動時間確保の取組

【小学校】



【中学校】



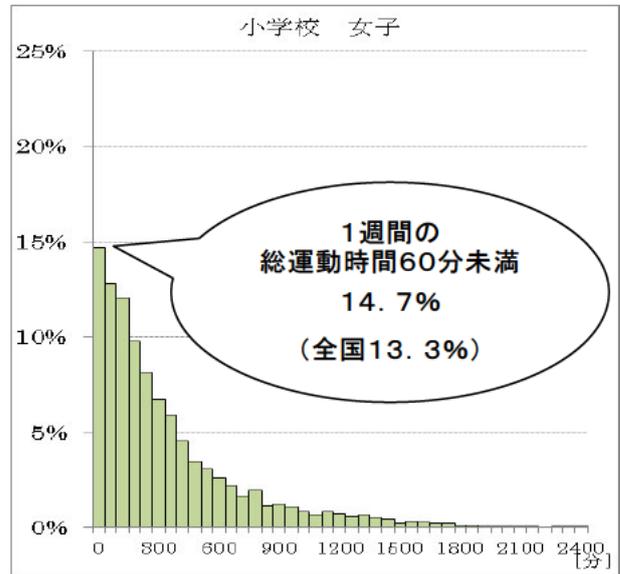
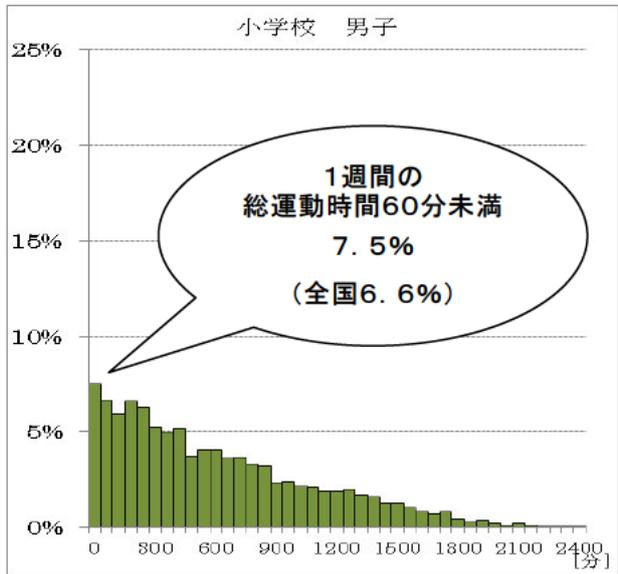
【平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

本県では、全国に比較して体育・保健体育の授業以外に運動時間を確保する取組を行っている割合が低い。

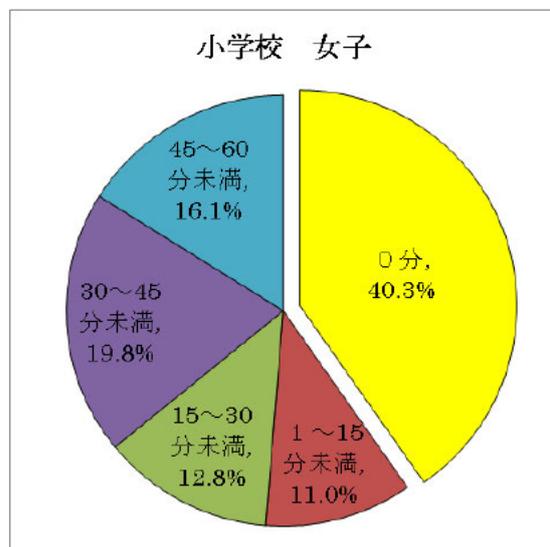
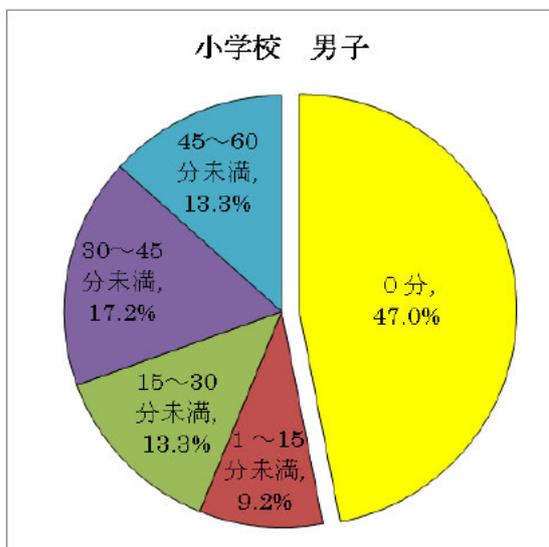
⑥児童生徒の運動習慣

【小学校5年生】

1週間の総運動時間の分布では、男子で7.5%、女子で14.7%の児童が1週間の総運動時間が60分未満であった。女子では、およそ7人に1人がほとんど運動をしない状況である。



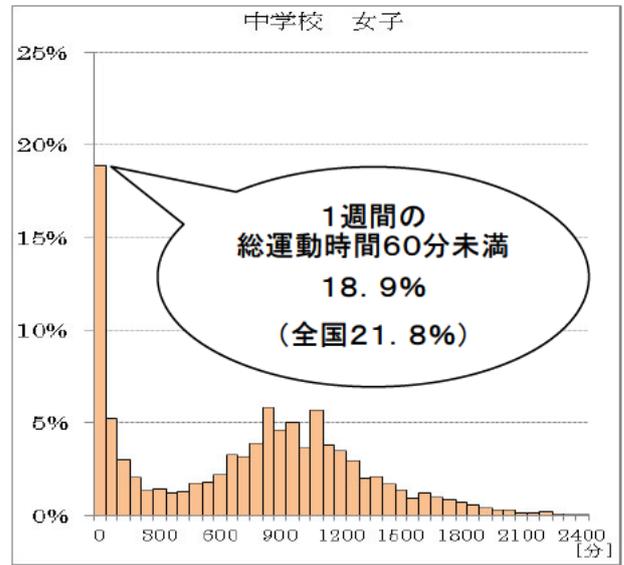
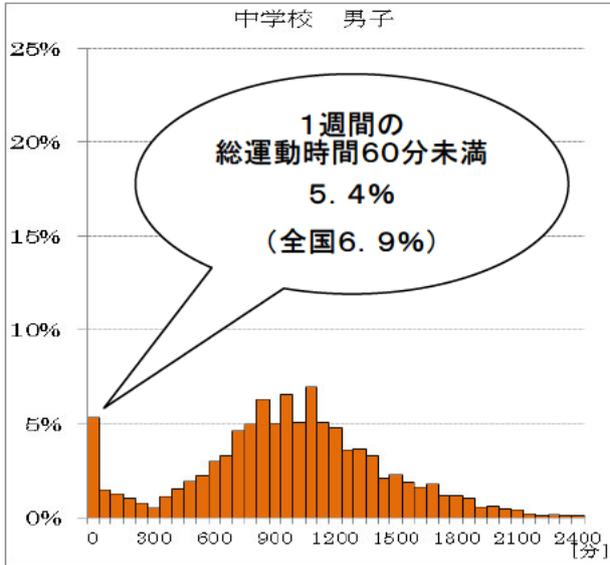
1週間の総運動時間が60分未満の児童の内訳をみると、総運動時間が0分なのが、男子では47.0%、女子では40.3%であった。



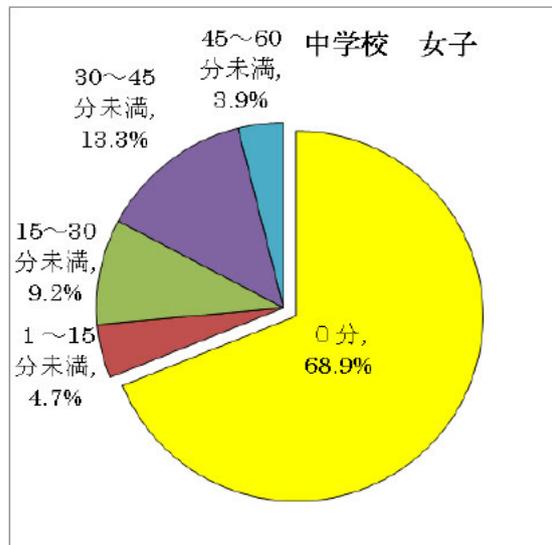
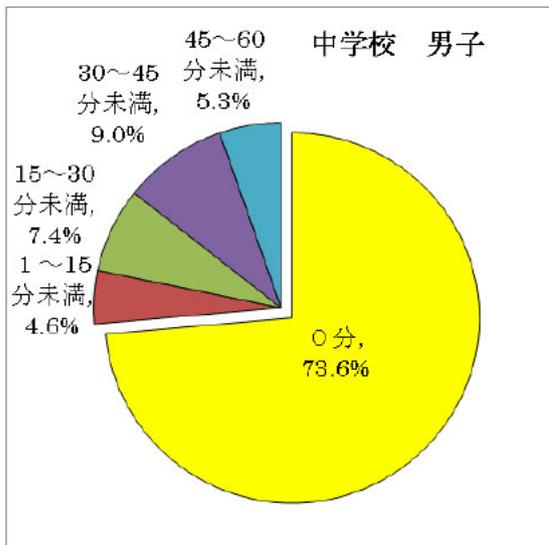
【中学校2年生】

中学校では、運動する生徒としない生徒の二極化がみられた。

男子で5.4%、女子で18.9%の生徒が1週間の総運動時間が60分未満であった。女子では、およそ5人に1人がほとんど運動をしない状況である。

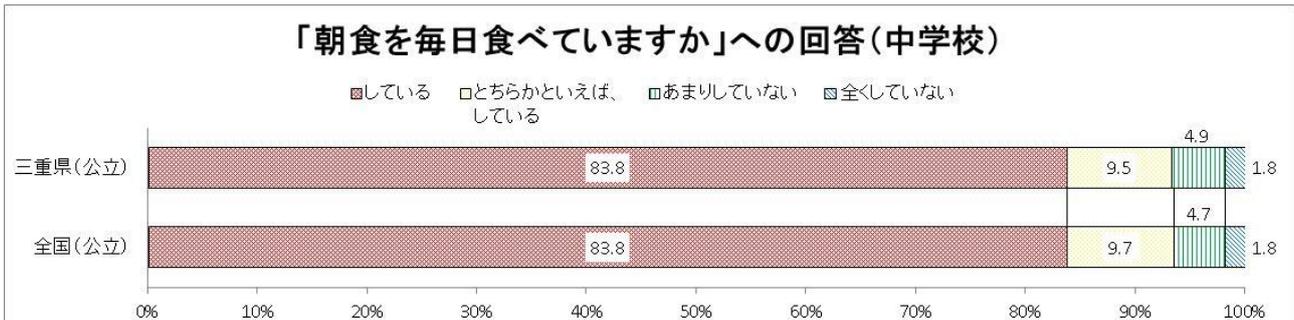
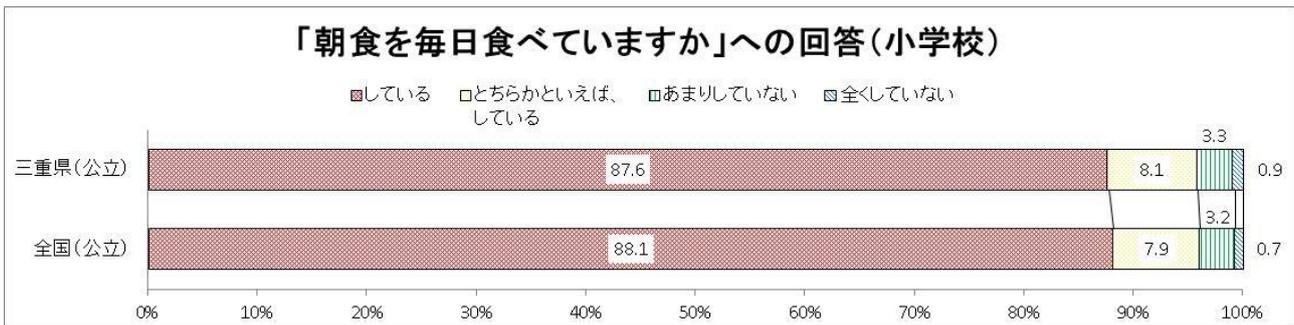


1週間の総運動時間が60分未満の生徒の内訳をみると、総運動時間が0分なのが、男子では73.6%、女子では68.9%であった。



(3) 生活習慣

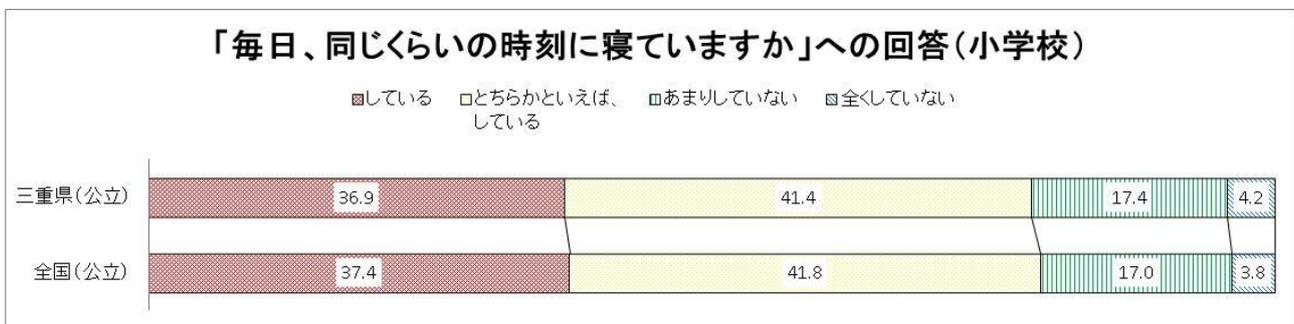
① 朝食の摂食状況



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ほとんどの小学6年生、中学3年生が朝食を毎日食べており、その割合は、ともに全国平均とほぼ同じとなっている。

② 毎日の寝起きの状況



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている、どちらかといえば寝ていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約78%で、全国平均より小さい。中学3年生では肯定的な回答の割合が75%で、全国平均より大きい。

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」への回答(小学校)



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」への回答(中学校)

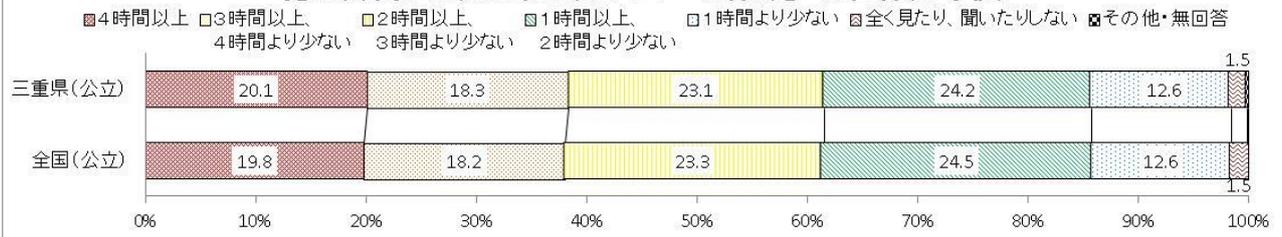


【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

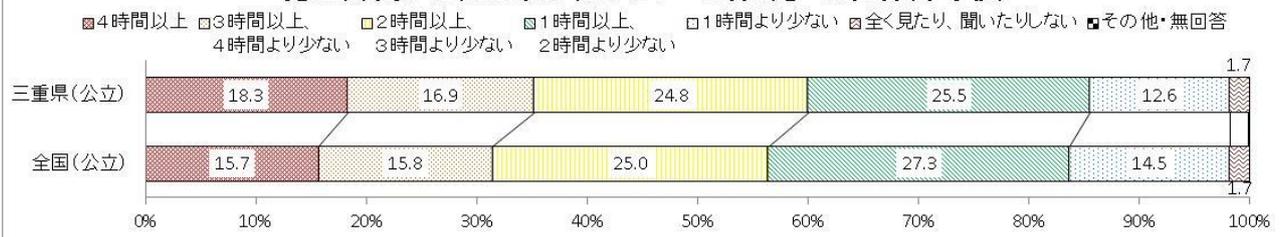
- 毎日、同じくらいの時刻に起きています、どちらかといえば起きていると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約91%、中学3年生の割合は約92%で、全国平均とほぼ同じである。

③ 普段(月～金曜日)のテレビやビデオ・DVDの視聴時間

「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)」への回答(小学校)



「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)」への回答(中学校)

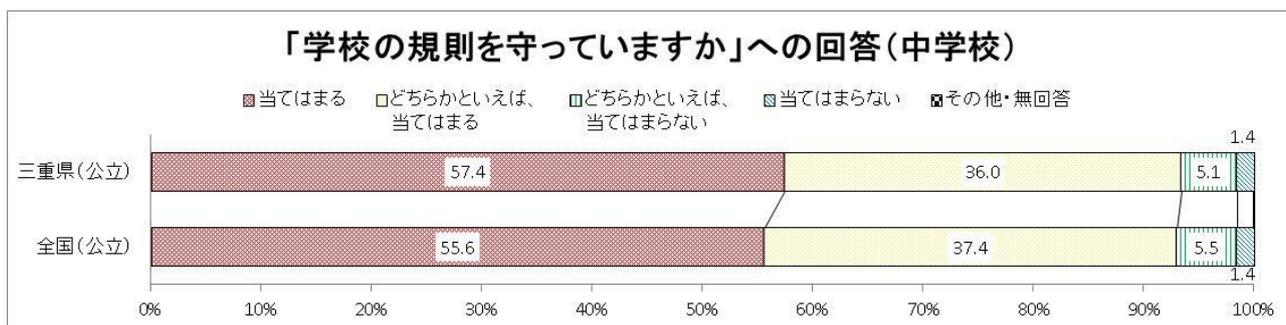
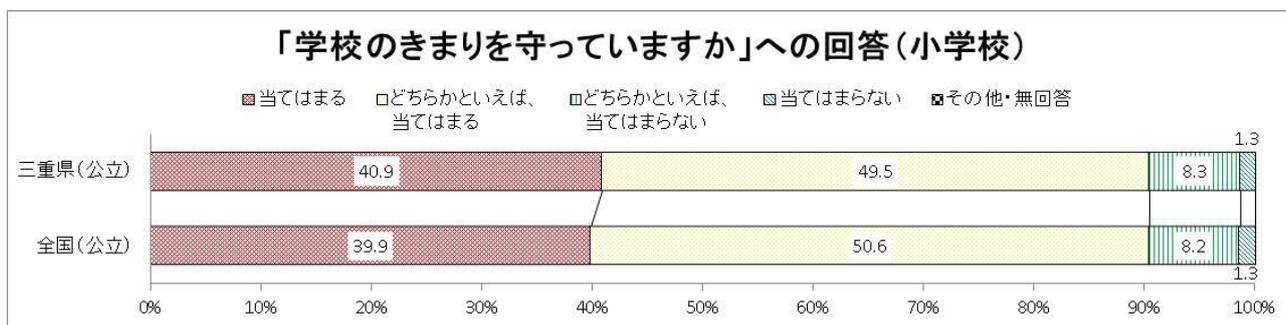


【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- 普段(月～金曜日)に、2時間以上テレビ等を視聴する小学6年生の割合は約62%で、全国平均とほぼ同じである。一方、中学3年生の割合は60%で、全国平均より約3%大きい。

(4) 規範意識・道徳心・自尊感情

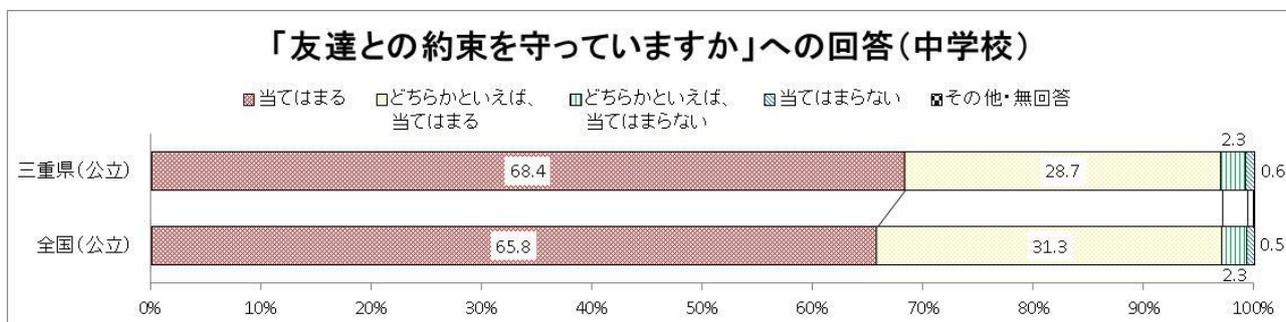
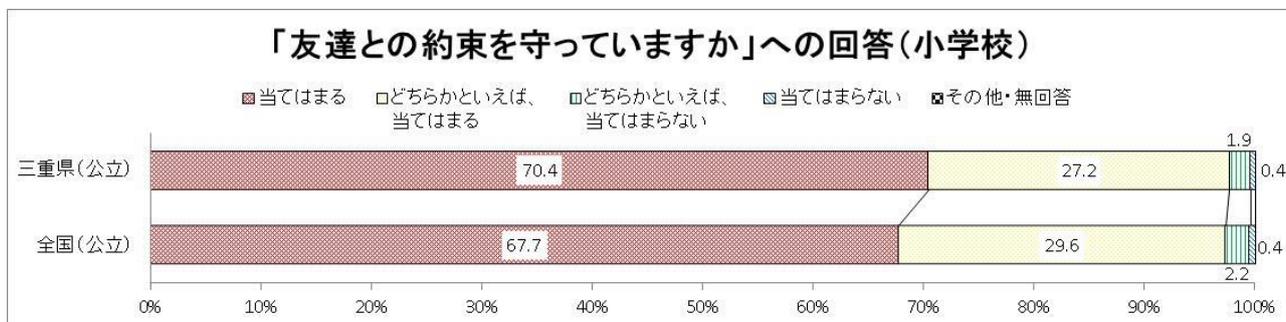
① 学校のきまりを守ること



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 学校のきまり（規則）を守っている、どちらかといえば守っていると肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに90%を超えている。

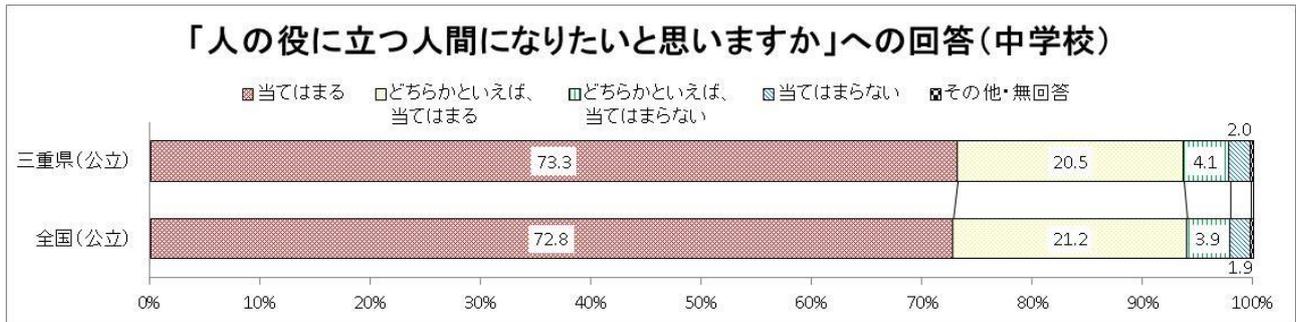
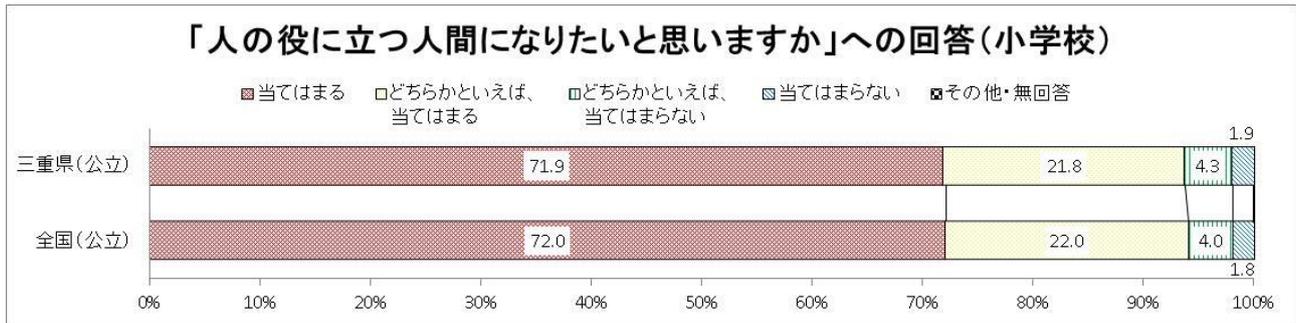
② 友達との約束を守ること



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 友達との約束を守っている、どちらかといえば守っていると肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに97%を超えており、全国平均よりも大きい。

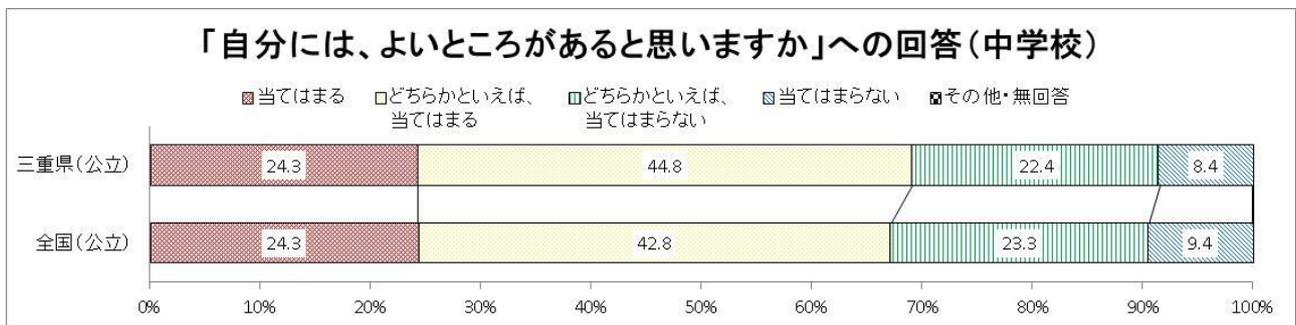
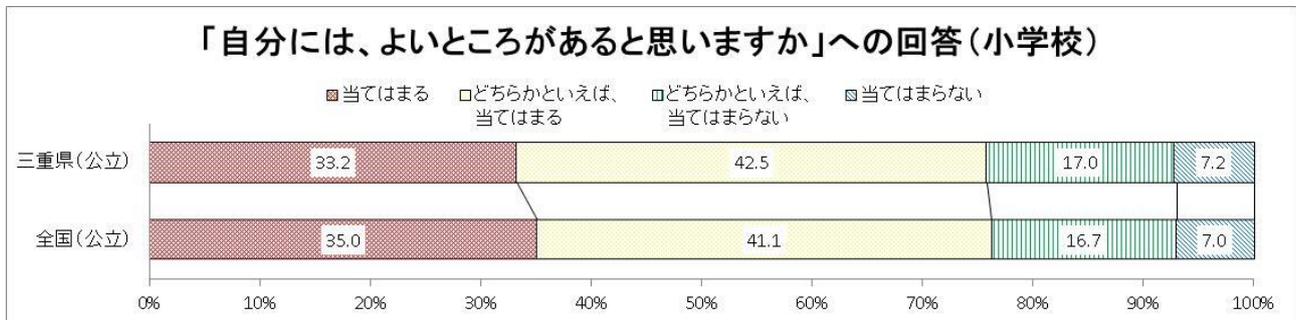
③ 人の役に立つ人間になりたいという意識



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 人の役に立つ人間になりたい、どちらかといえばなりたいたと肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに93%を超えている。

④ 自分には、よいところがあるという意識

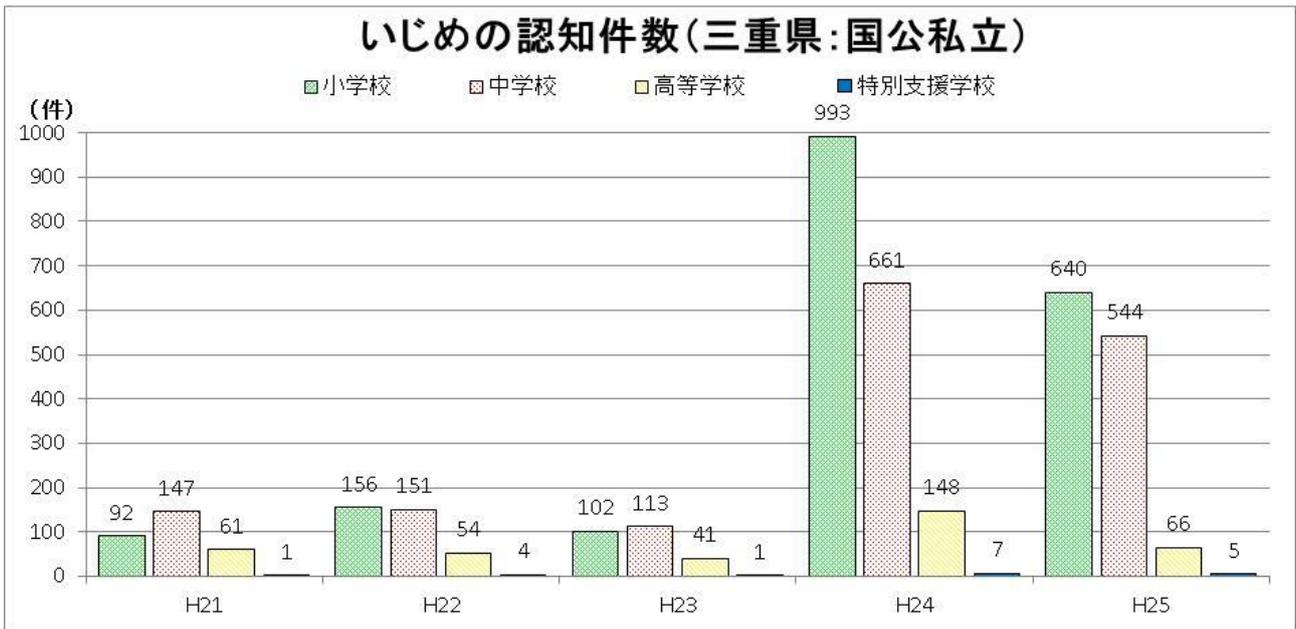


【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 自分にはよいところがある、どちらかといえばあると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約76%で、全国平均とほぼ同じである。一方、中学3年生の割合は約68%で、全国平均より大きい。

(5) いじめ・不登校等の状況

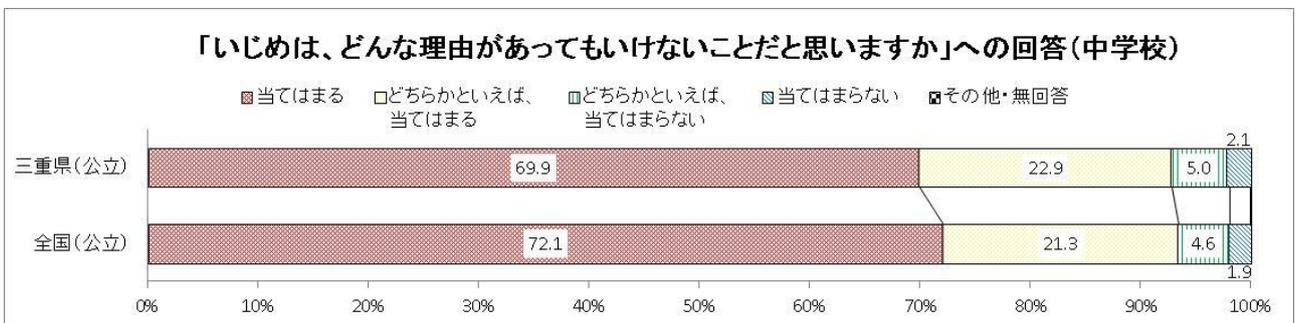
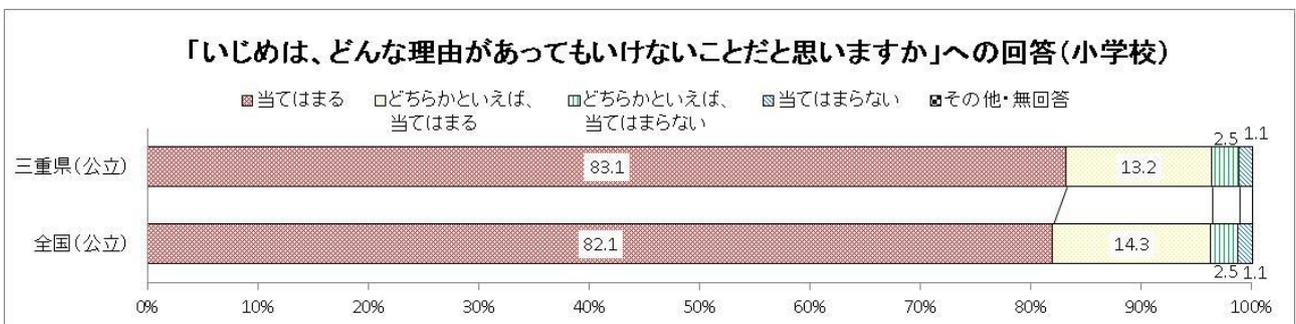
① いじめの認知件数の推移



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 平成25年度のいじめ認知件数は減少している。平成25年度に「いじめ防止対策推進法」が施行となり、各学校において、法やいじめ防止基本方針に基づいたいじめ防止のための取組の充実が図られたことにより、未然防止につながったと考えられる。

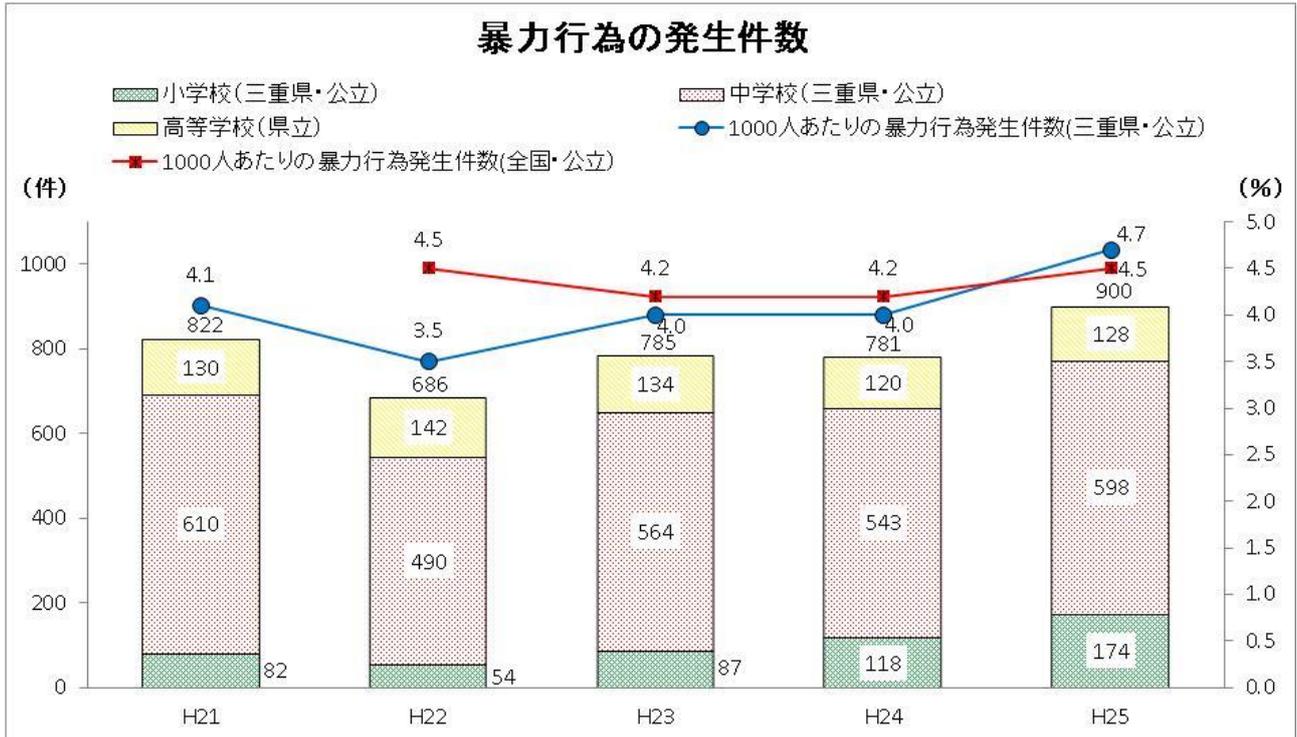
② いじめに対する考え方



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う、どちらかといえば思うと肯定的な回答をしている小学6年生、中学3年生の割合は、ともに90%を超えている。特に、小学6年生では約96%が肯定的な回答をしている。

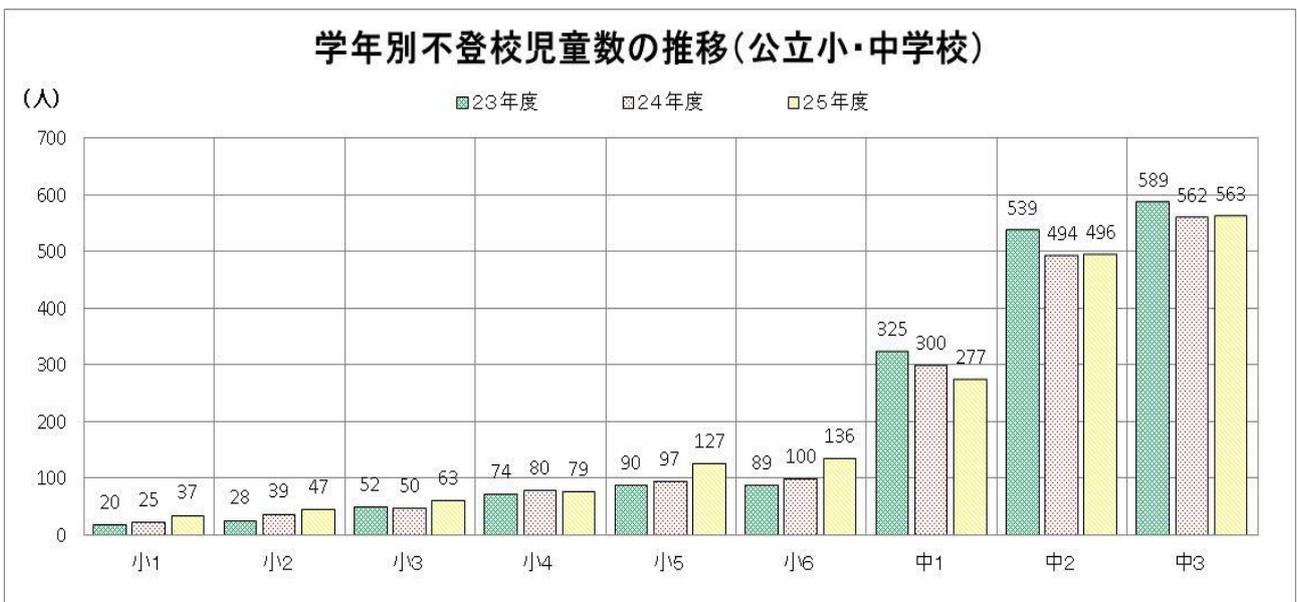
③ 暴力行為の発生件数の推移



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 暴力行為の発生件数は、増加傾向であるが、特に小学校での件数が増加傾向にある。1000人あたりの発生件数については、三重県同様、全国も増加傾向にある。

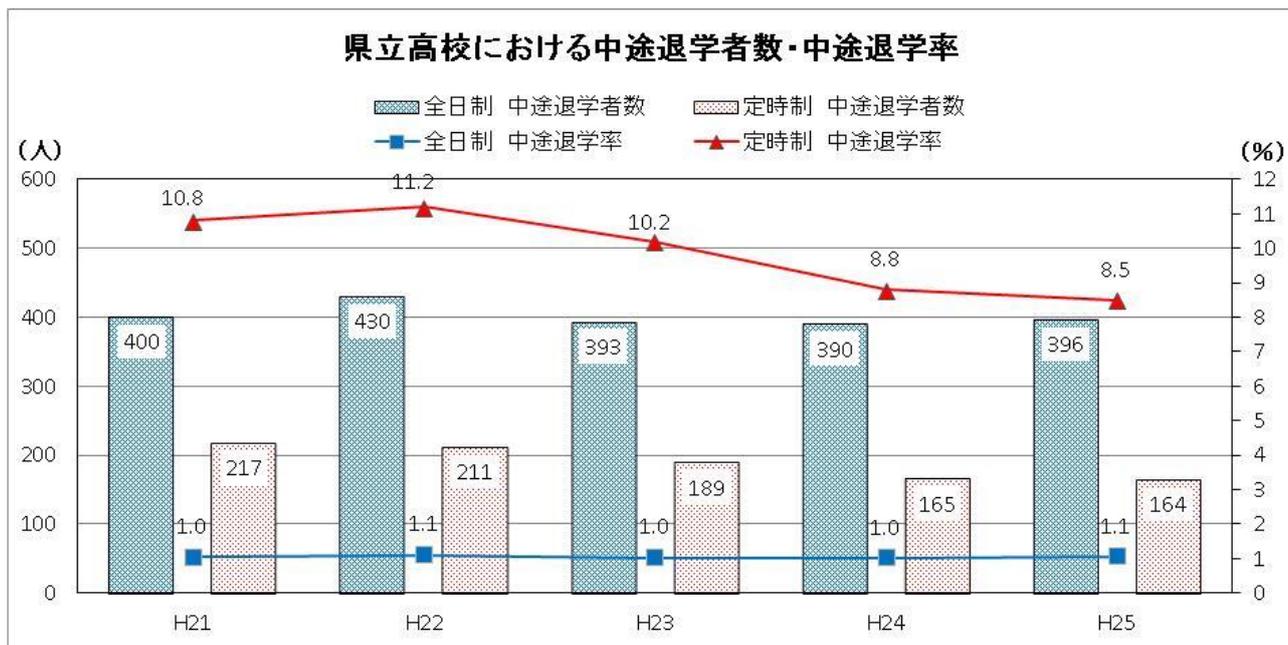
④ 学年別不登校児童生徒数の推移（三重県）



【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 中学1年生で不登校生徒が急増する傾向にあり、中学3年生で最も多くなっている。

⑤ 県立高校における中途退学者数および中途退学率の推移（三重県）

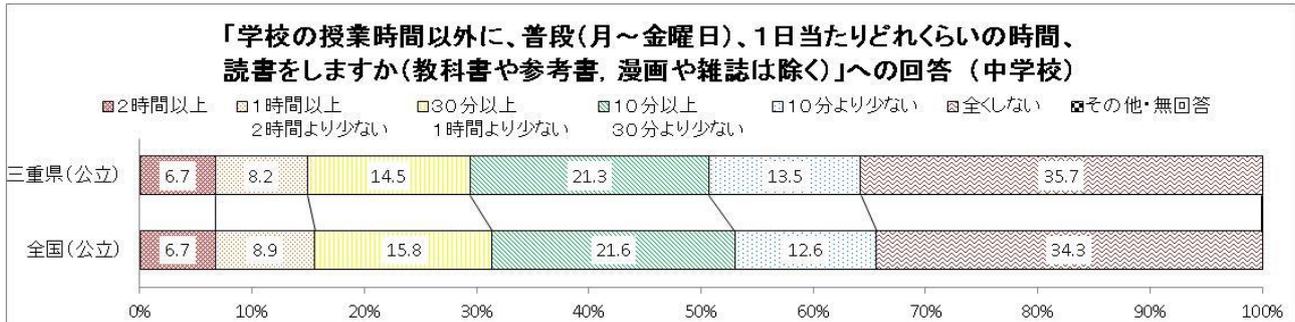
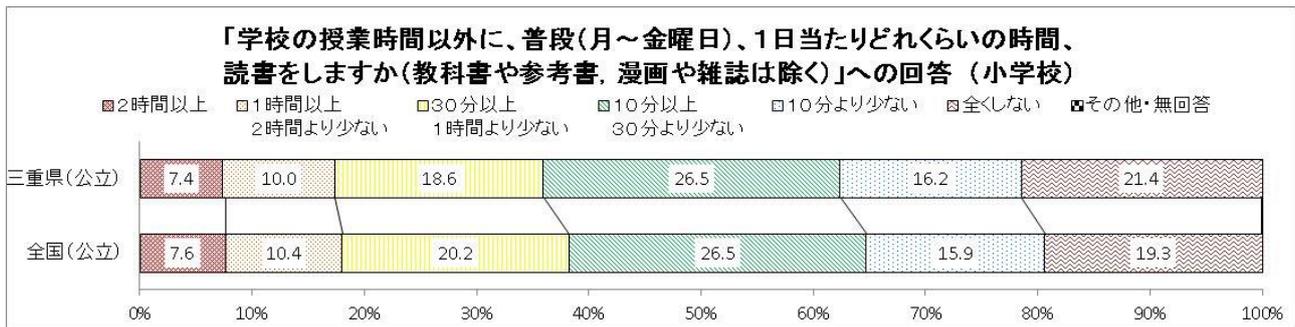


【児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査（文部科学省）】

- ・ 中途退学者数・中途退学率は、全日制においては横ばい傾向、定時制においては減少傾向にある。

(6) 読書活動

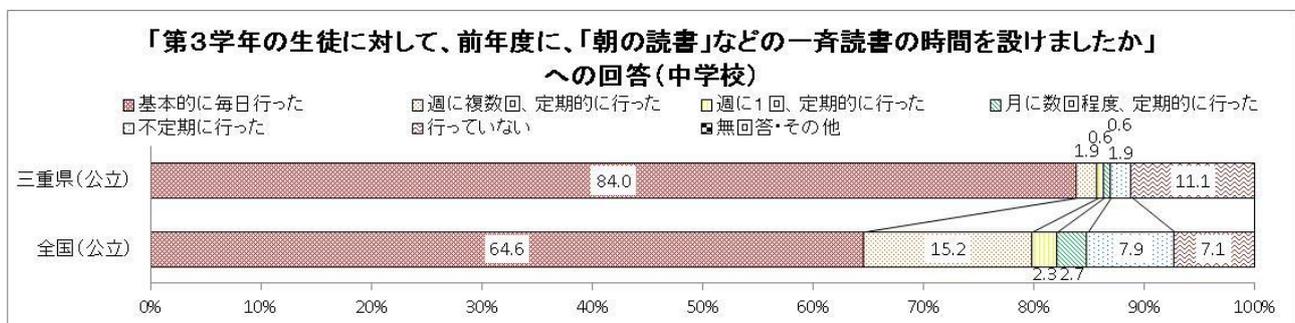
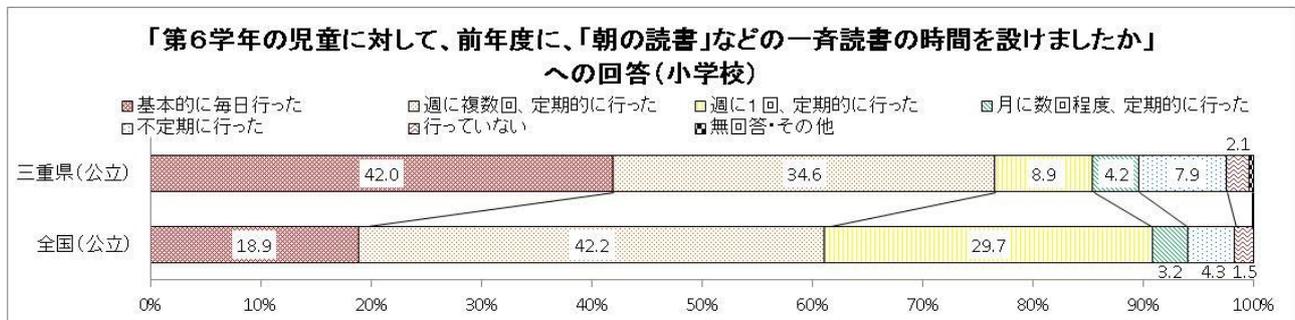
① 平日の1日当たりの読書時間



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 普段(月～金曜日)に1日当たり30分以上読書している小学6年生、中学3年生の割合は、全国平均より小さい。特に、中学3年生では、約36%が全く読書をしていない。

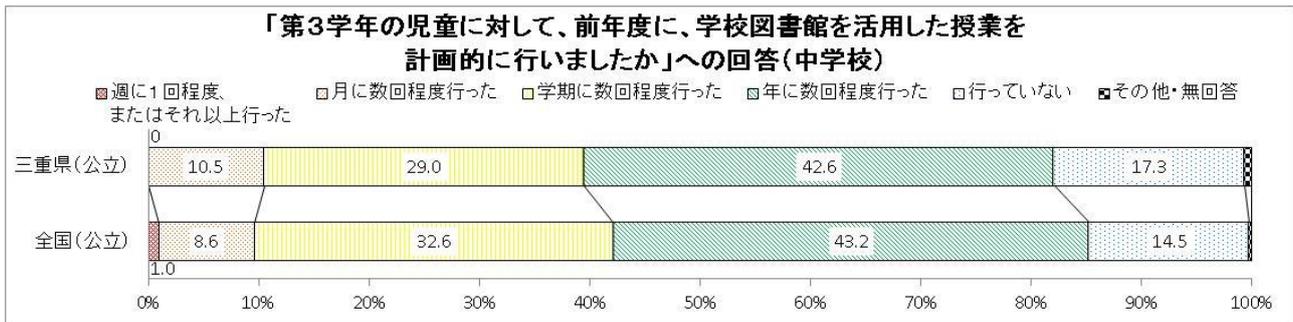
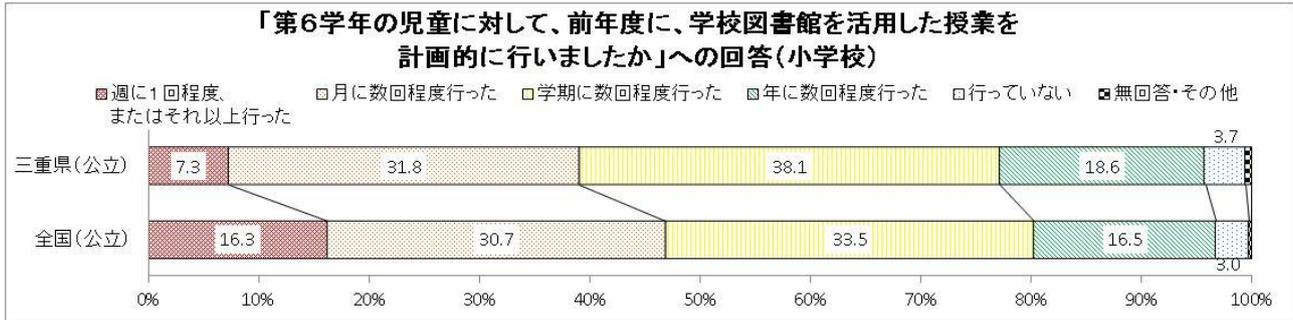
② 一斉読書の実施状況



【平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 一斉読書の時間を「基本的に毎日行った」「週に複数回、定期的に行った」と回答している小学校の割合は約77%、中学校の割合は約86%で、ともに全国平均より大きい。

③ 学校図書館を活用した授業の実施状況

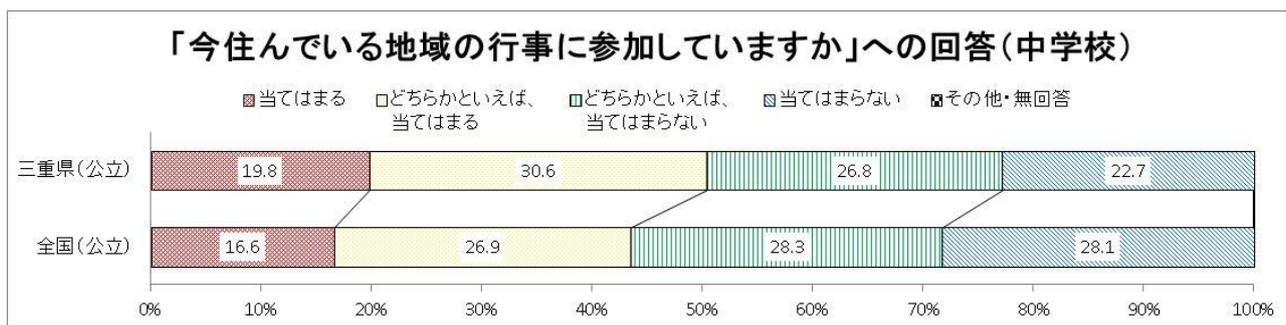
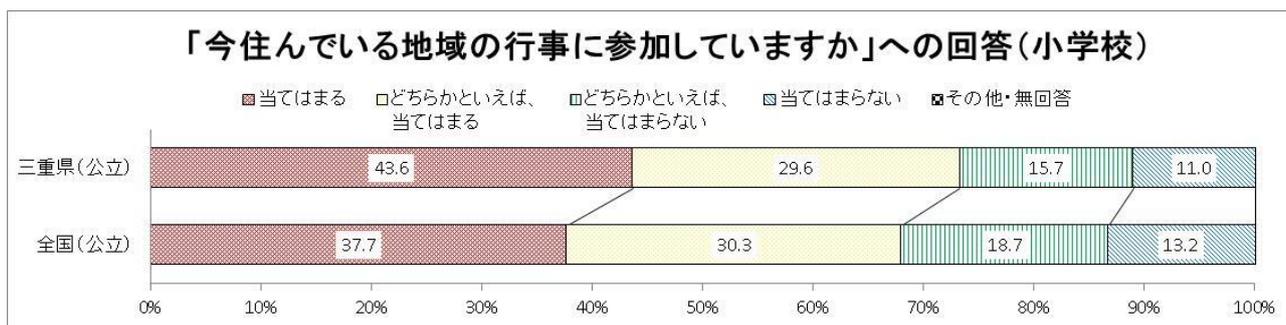


【平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- 学校図書館を活用した授業を「週に1回程度、またはそれ以上行った」「月に数回程度行った」「学期に数回程度行った」と回答している小学校の割合は約77%、中学校の割合は約40%で、ともに全国平均より小さい。

(7) 文化芸術活動

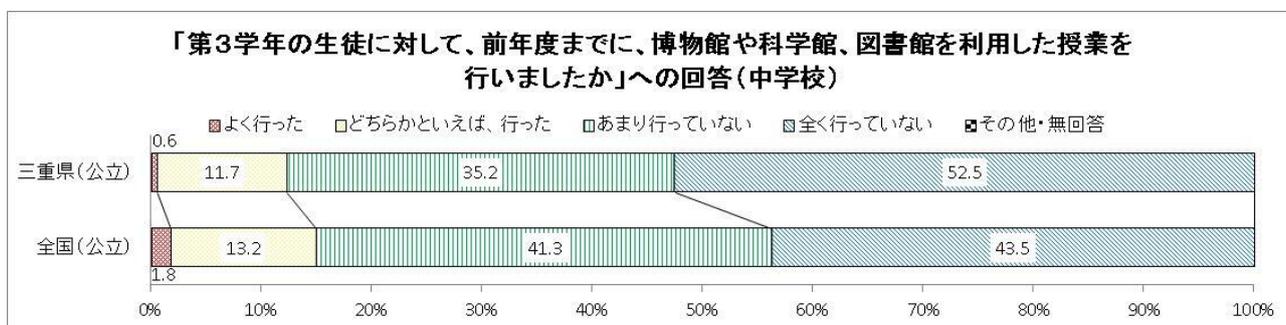
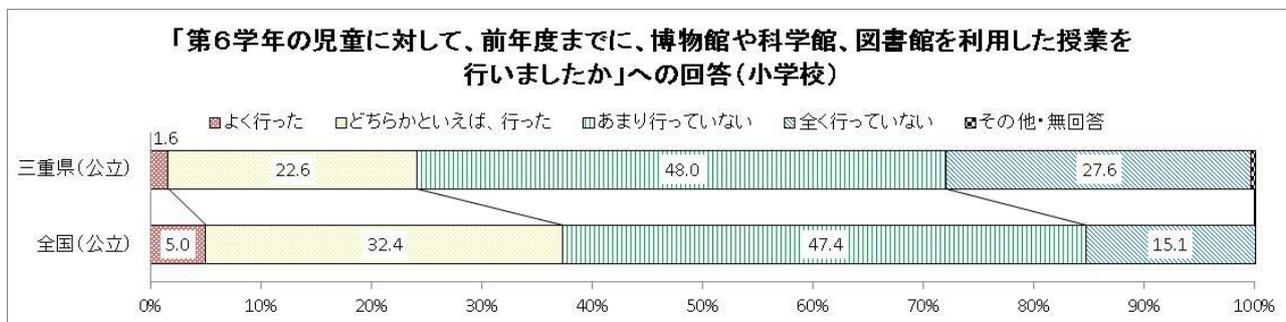
① 住んでいる地域の行事への参加



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 地域の行事に参加している、どちらかといえば参加していると肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約73%、中学3年生の割合は約50%で、ともに全国平均より大きい。

② 博物館や科学館、図書館を利用した授業の実施状況

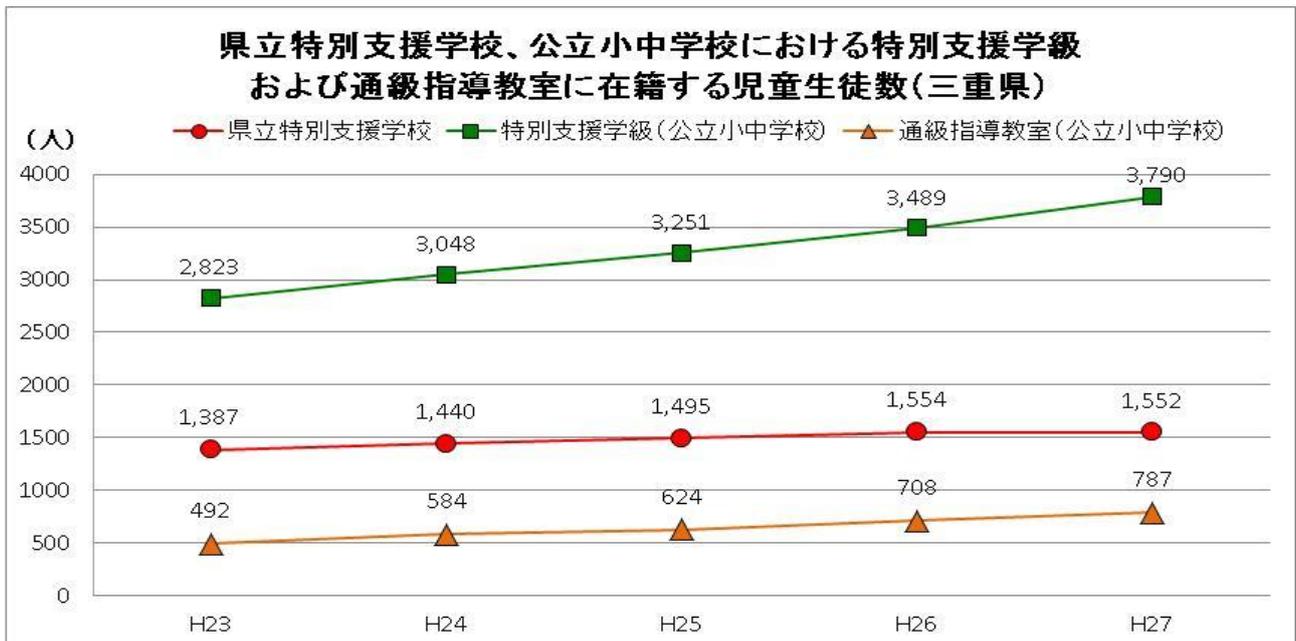


【平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 博物館や科学館、図書館を利用した授業をよく行った、どちらかといえば行った小学校の割合は約24%、中学校の割合は約12%にとどまっている。特に、小学校では全国平均より約13%小さい。

(8) 特別支援教育

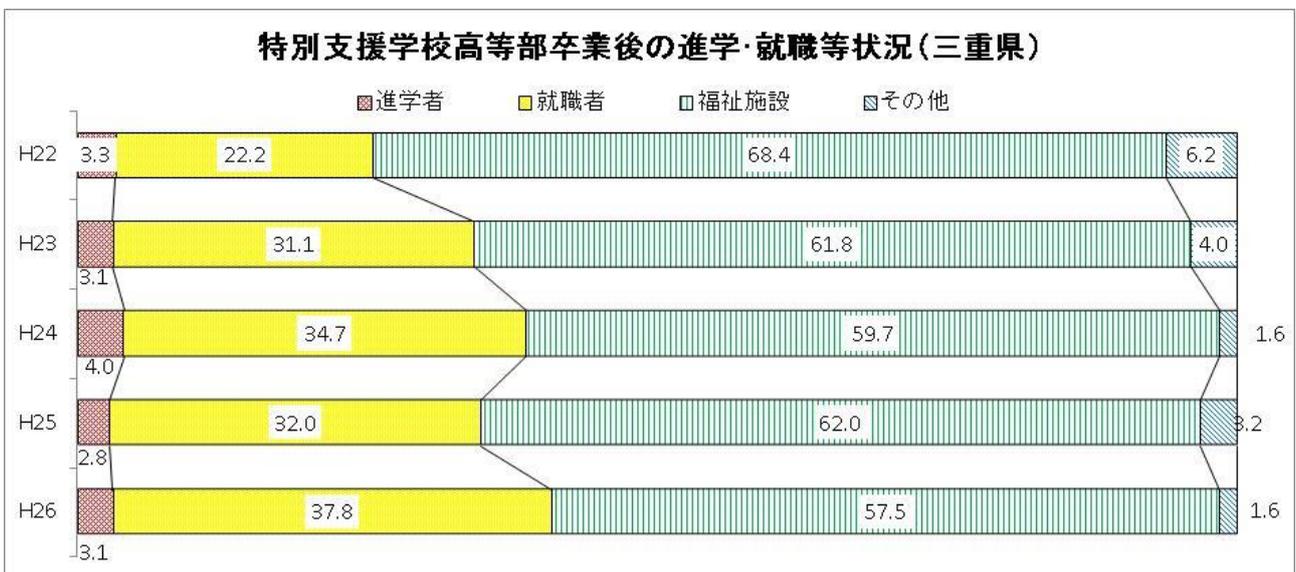
① 特別支援学級等に在籍する児童生徒数の推移



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全体として増加傾向にあるが、特別支援学級の在籍者数の増加が最も多い。

② 特別支援学校卒業生の進路状況

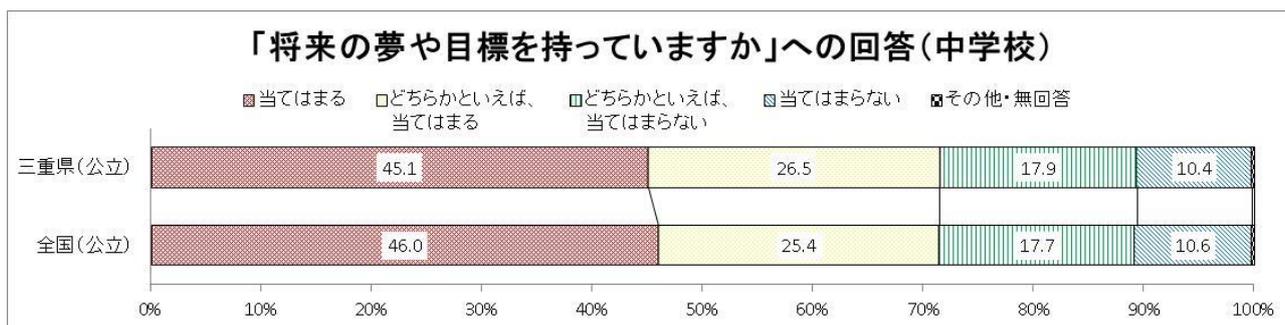
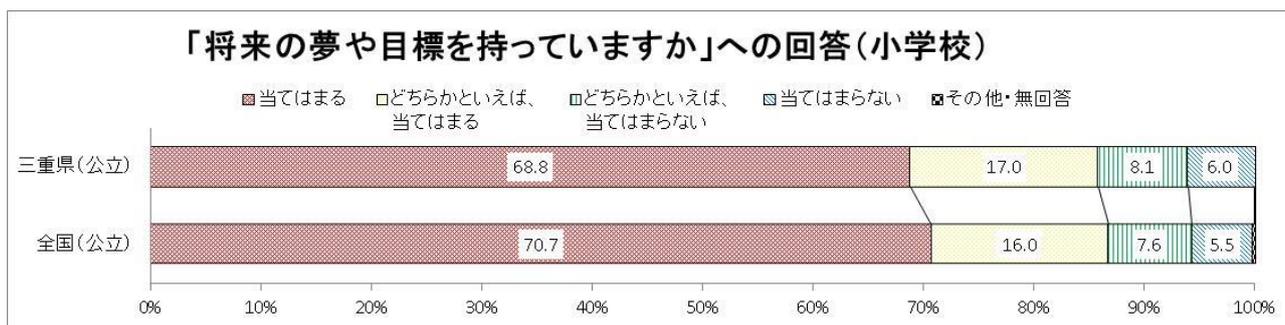


【三重県教育委員会調べ】

- ・ 就職者が増加傾向となっている。

(9) キャリア教育・進路

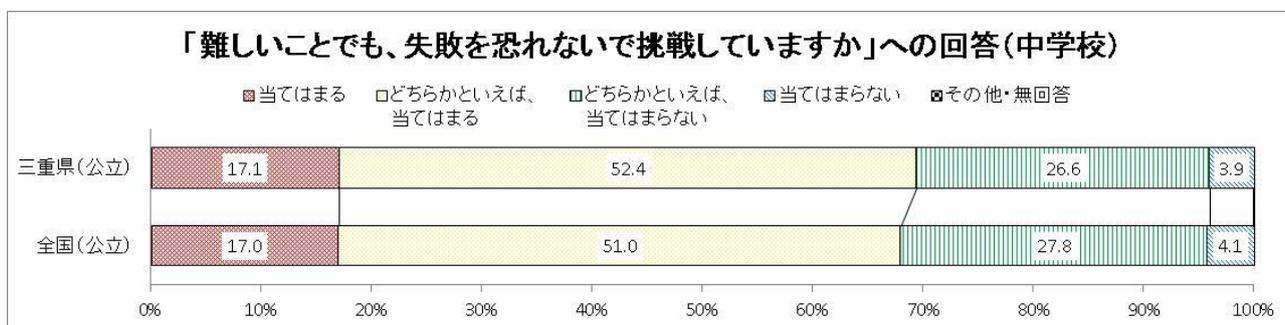
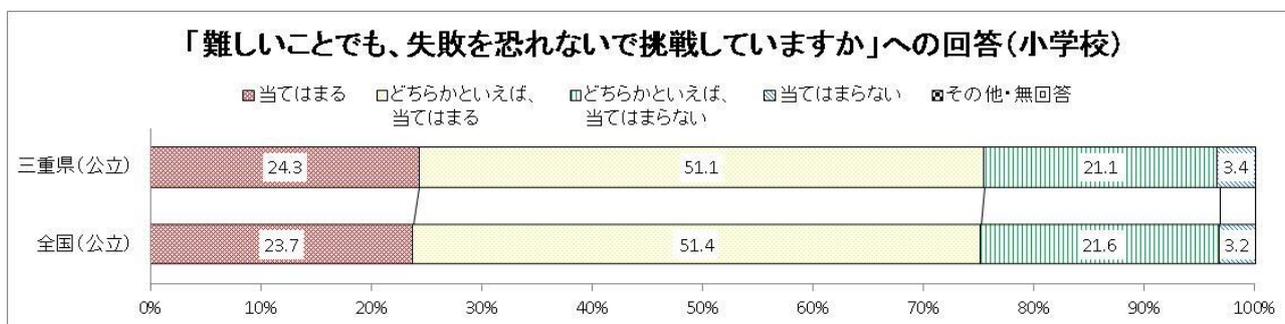
① 将来の夢や目標の有無



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っているとは肯定的な回答をしている小学6年生の割合は約86%、中学3年生の割合は約72%で、この間に低下する傾向が見て取れる。

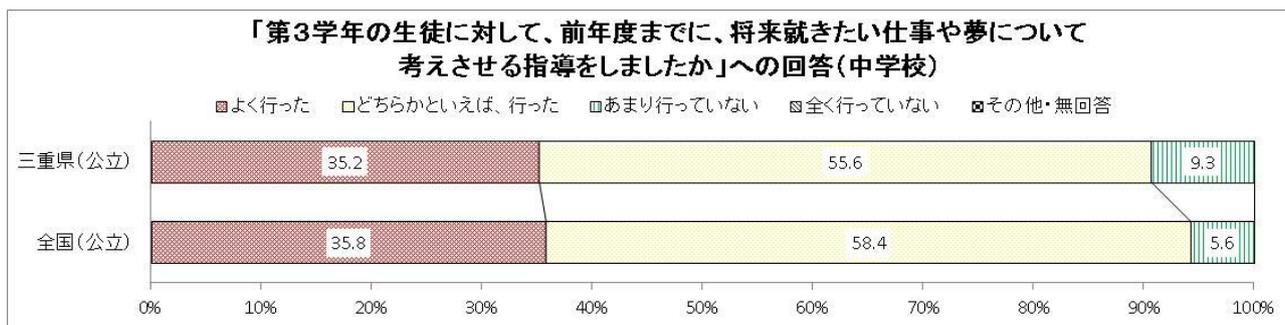
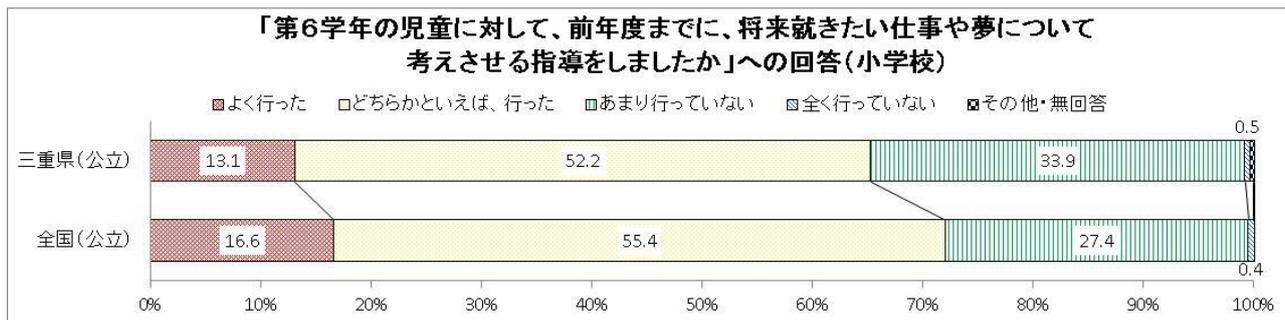
② チャレンジ精神



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している、どちらかといえば挑戦していると肯定的な回答している小学6年生の割合は約75%、中学3年生の割合は約70%で、ともに全国平均ほぼ同じである。

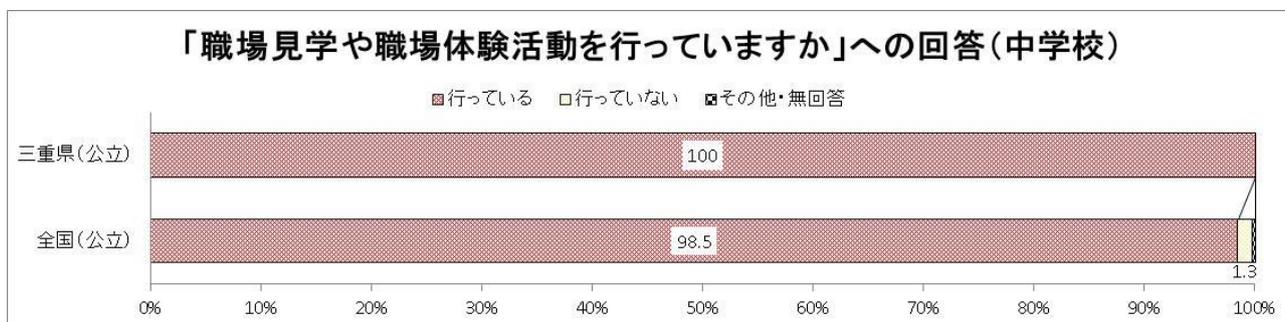
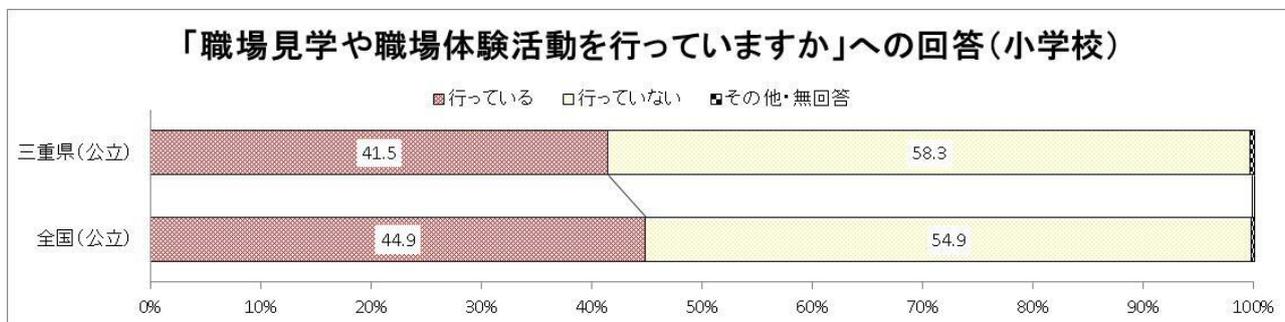
③ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導



【平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をよく行った、どちらかといえば行ったと肯定的な回答をしている小学校の割合は約65%、中学校の割合は約91%で、ともに全国平均より小さい。

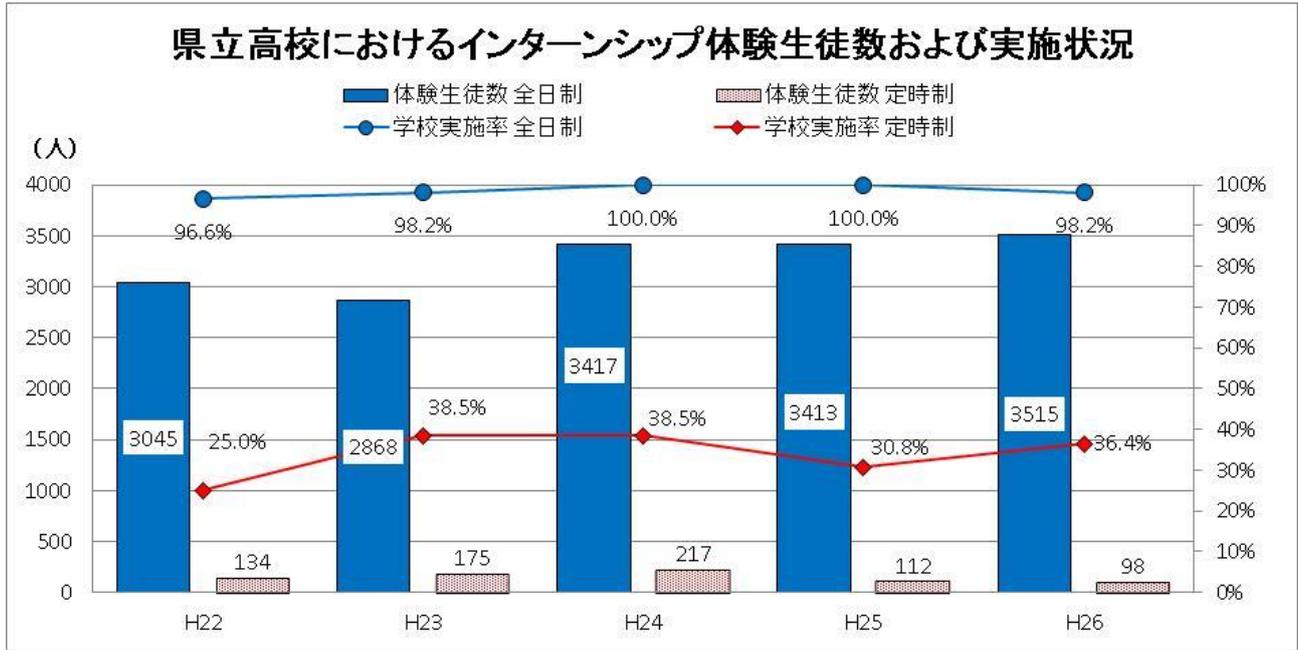
④ 職場見学・職場体験活動の実施状況



【平成26年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙】

- ・ 職場見学・職場体験活動を行っている小学校の割合は、全国平均より小さい。一方、中学校の割合は100%となっており、すべての中学校で行われている。

⑤ 県立高校におけるインターンシップの実施状況（三重県）

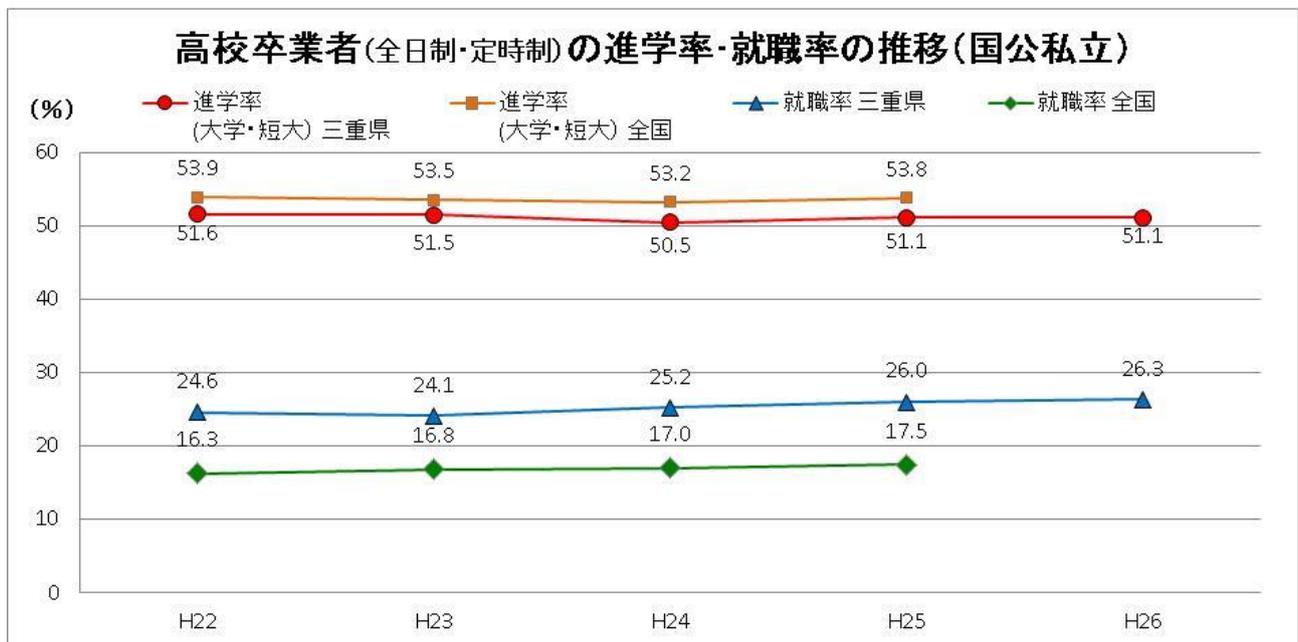


※ 体験生徒数は、在学中に1回以上体験した生徒（全日制においては3年生、定時制においては3・4年生）の数

【三重県教育委員会調べ】

- ・ 全日制高校におけるインターンシップ実施率はほぼ100%となっており、体験生徒数も増加傾向にある。

⑥ 県立高校卒業者の進学率・就職率の推移（三重県）

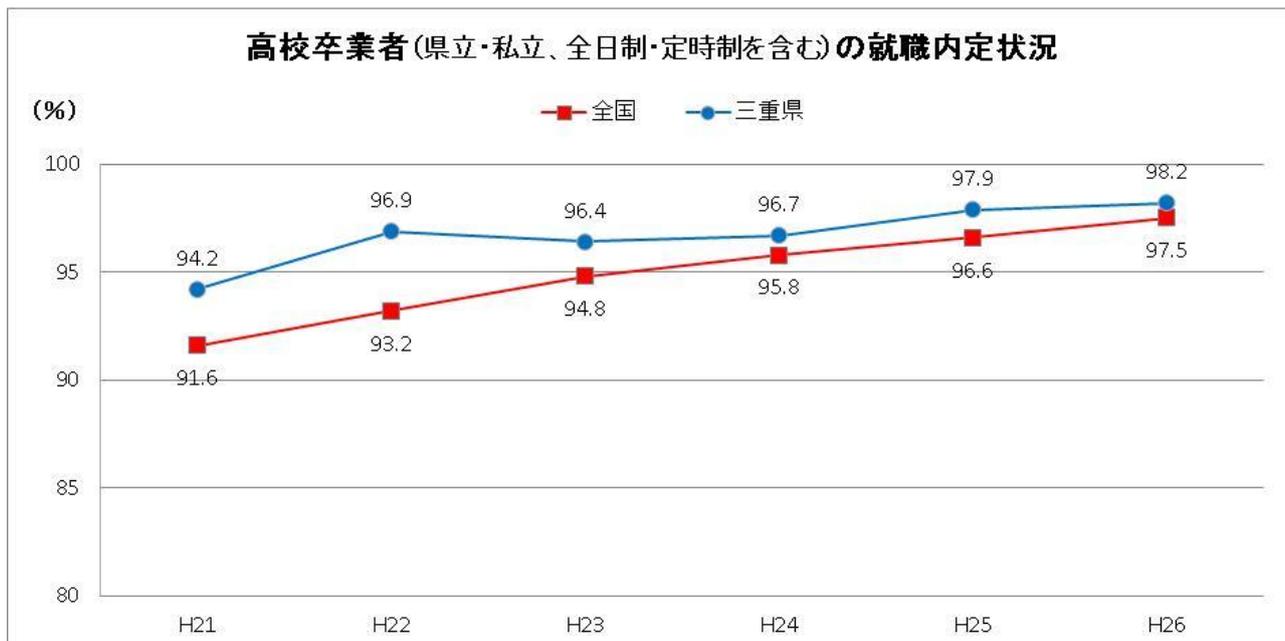


【学校基本調査（文部科学省）】

- ・ 大学・短大への進学率、就職率ともに過去5年間ほぼ同様の傾向となっている。本県は全国に比べて進学率が低く、就職率が高い。

* H26の全国値は平成27年12月頃に確定。

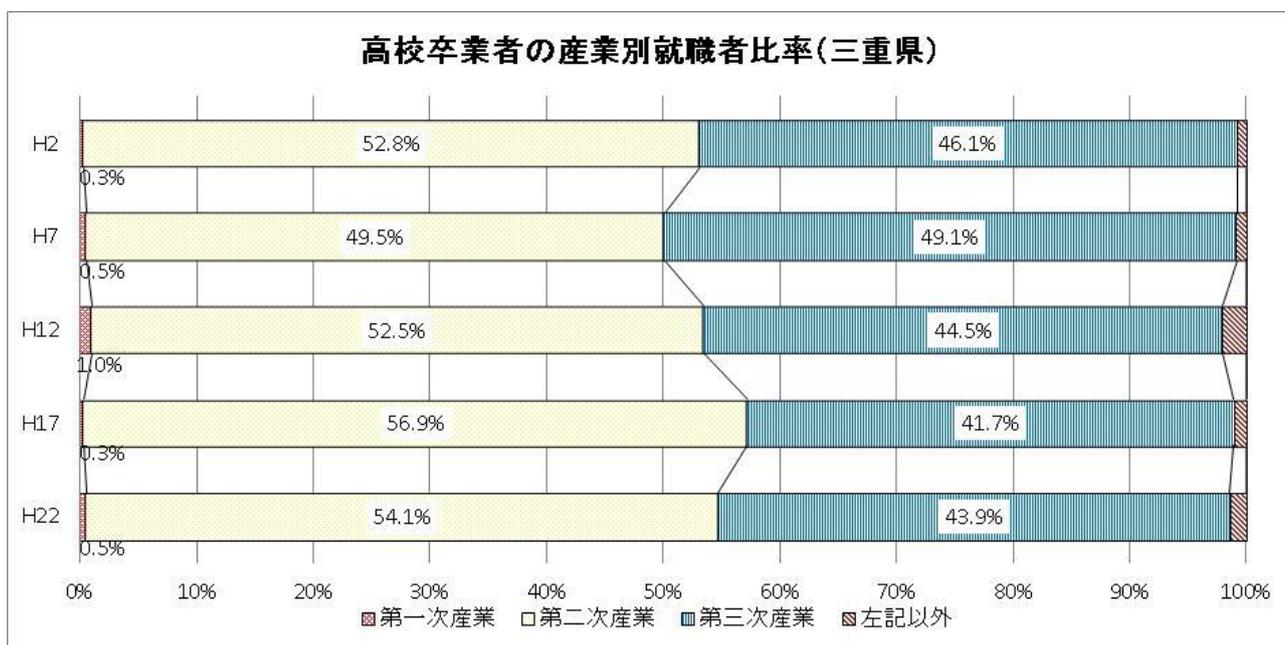
⑦ 高校卒業者（県立・私立、全日制・定時制を含む）の就職内定率の推移



【高等学校卒業者の就職状況に関する調査（文部科学省）】

- ・ 高校卒業者の就職内定率は、全国平均を上回っている。

⑧ 高校卒業者の産業別構成比の推移

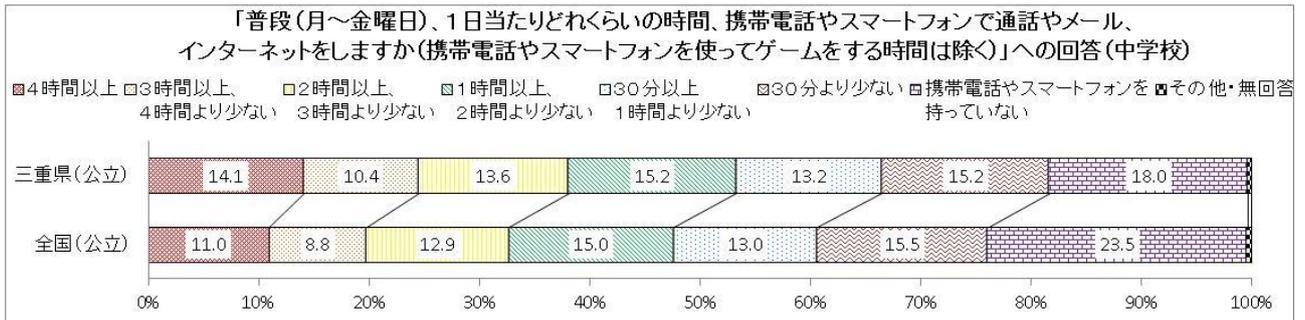
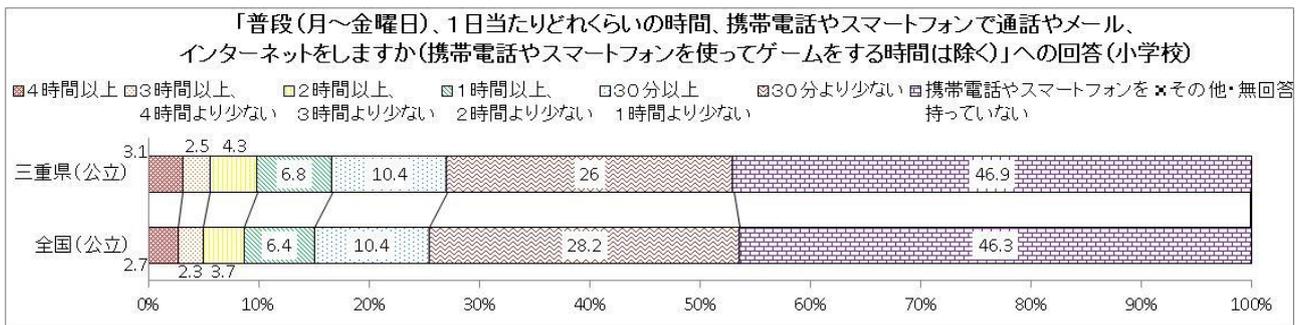


【国勢調査（総務省）】

- ・ 高校卒業者の就職産業の比率に大きな変化はない。

(10) 情報モラル教育

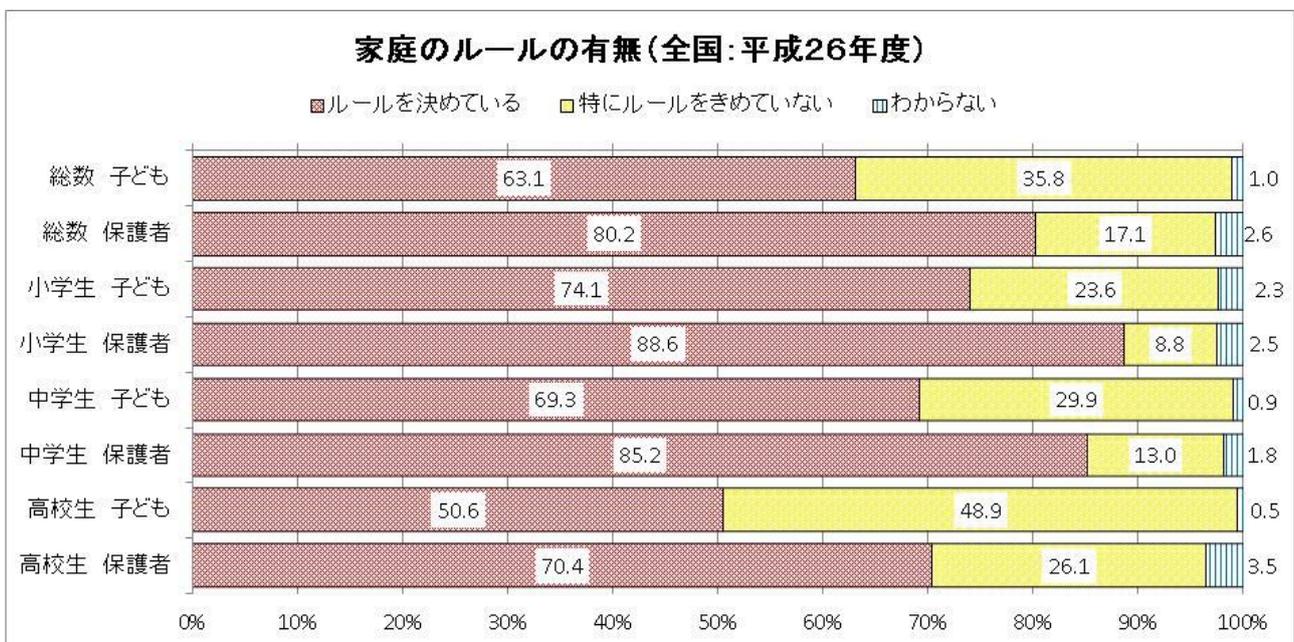
① 携帯電話やスマートフォンの使用状況



【平成26年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

- ・ 1日当たり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をしている小学6年生の割合は約17%、中学3年生の割合は53%で、全国平均より大きい。

② インターネット利用に関する家庭のきまりの有無



【平成26年度青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)】

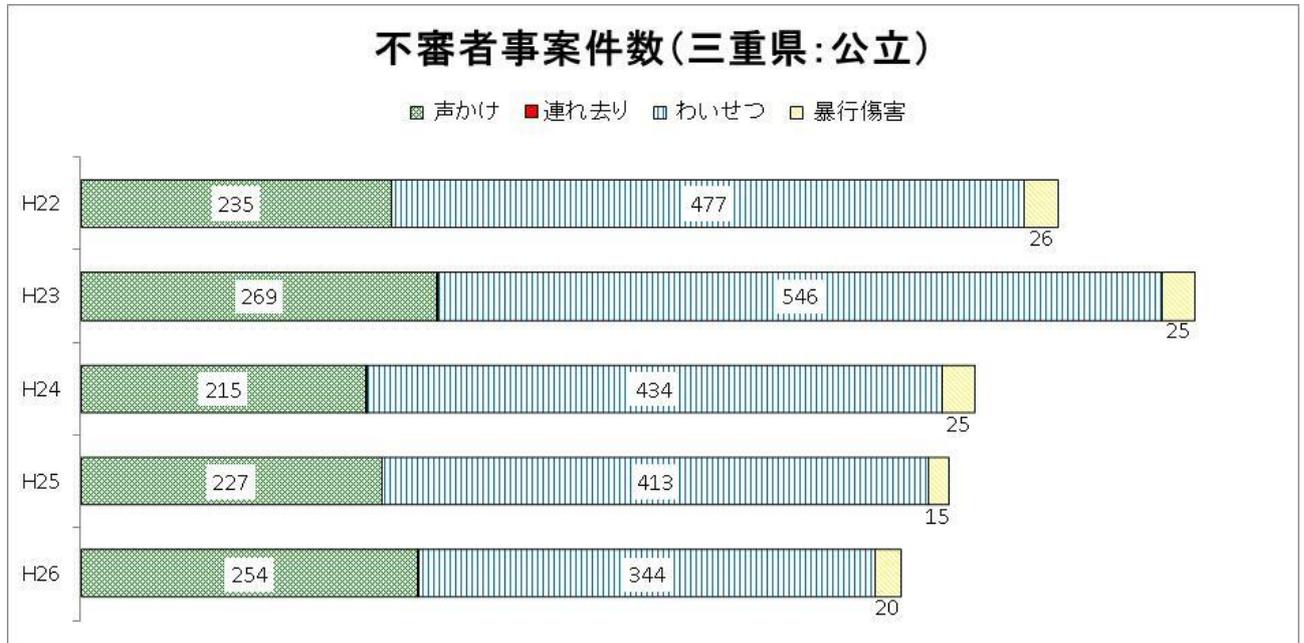
- ・ インターネット接続機器の使い方について、「ルールを決めている」との回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が子どもの回答を上回っている。

※「インターネット接続機器」:携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、タブレット型携帯端末、携帯音楽プレーヤー

3 子どもたちを取り巻く環境

(1) 安全・安心

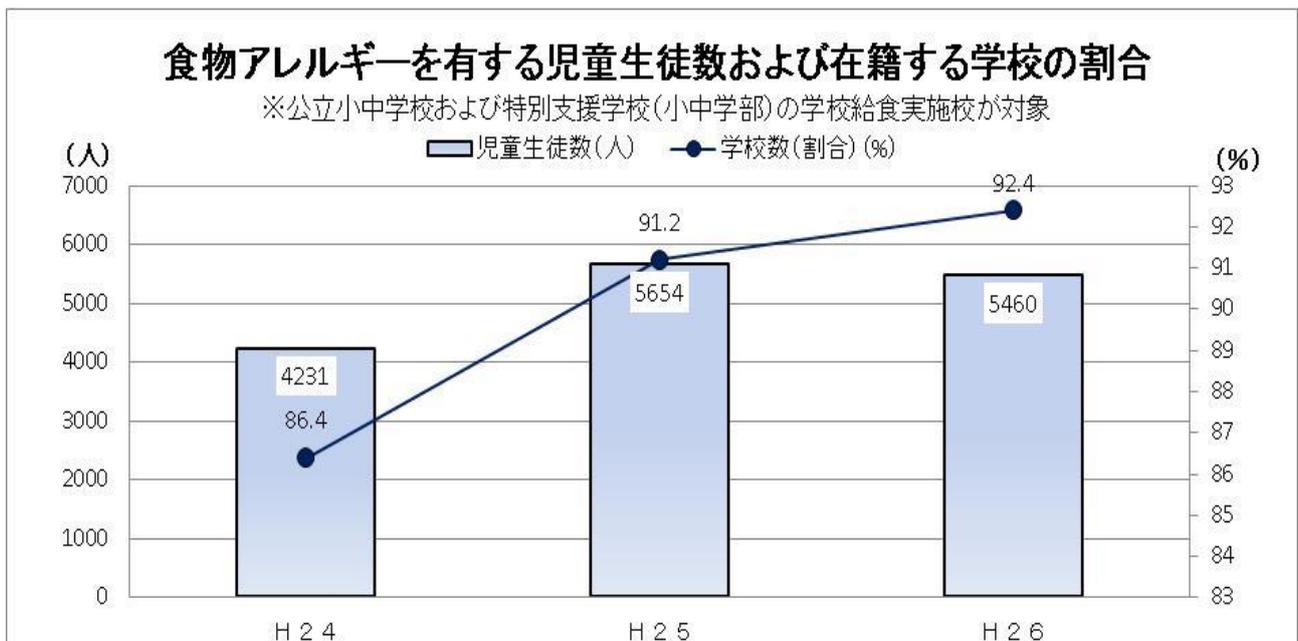
① 不審者事案の件数



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 年度によって差異はあるが、不審者事案は毎年600件以上発生している。

② 児童生徒の食物アレルギーの現状 (三重県)



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 食物アレルギーを有する児童生徒数および在籍する学校数は増加傾向となっている。

③ 奨学金貸与者数



【三重県教育委員会調べ】

- 貸与者数は平成22年度をピークに減少傾向となっている。

④ 学校防災リーダーを中心とした防災教育・防災対策の推進状況(三重県)

防災教育・防災対策を推進している学校の割合		
	小・中・県立学校	
		うち県立学校
平成24年度	99.7%	100.0%
平成25年度	100.0%	100.0%
平成26年度	100.0%	100.0%

【三重県教育委員会調べ】

- 防災教育・防災対策は、すべての学校で推進されている。

⑤ 校舎・屋内体育館の耐震化率(三重県)(平成27年4月現在)

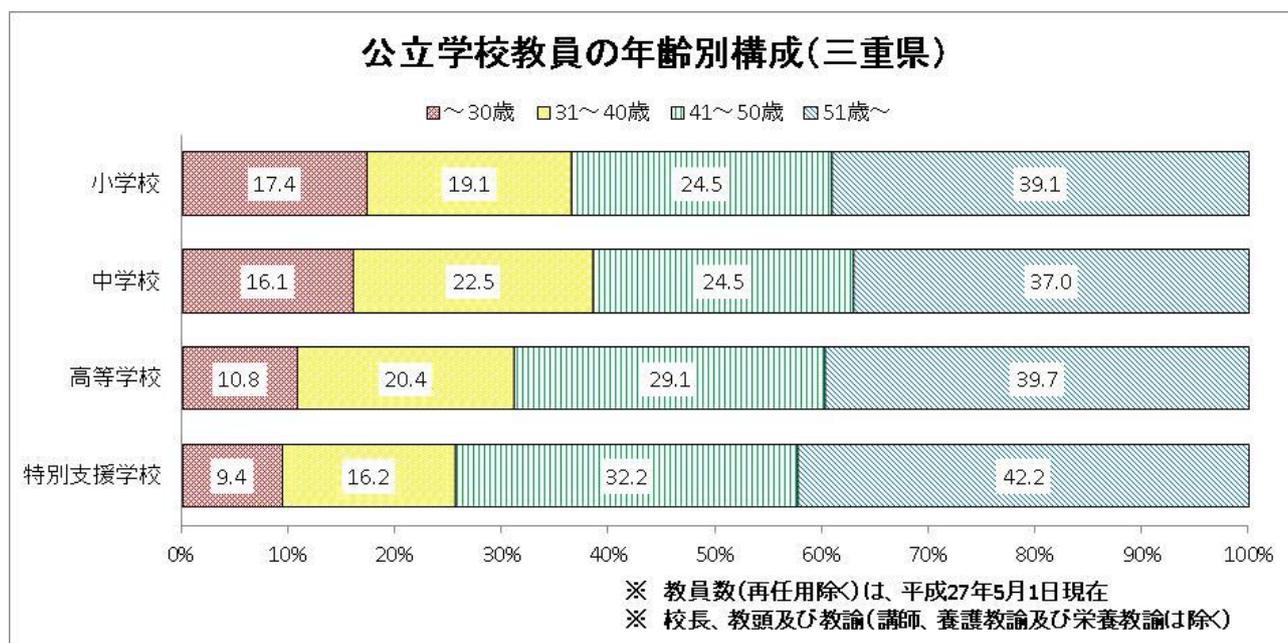
	公立	私立
高等学校	100.0%	90.2%
特別支援学校	100.0%	100.0%
小中学校	98.5%	100.0%
幼稚園	100.0%	99.0%

【三重県教育委員会及び三重県私学課調べ】

- 校舎・屋内体育館の耐震化は、公立学校、私立学校とも進みつつある。

(2) 教員

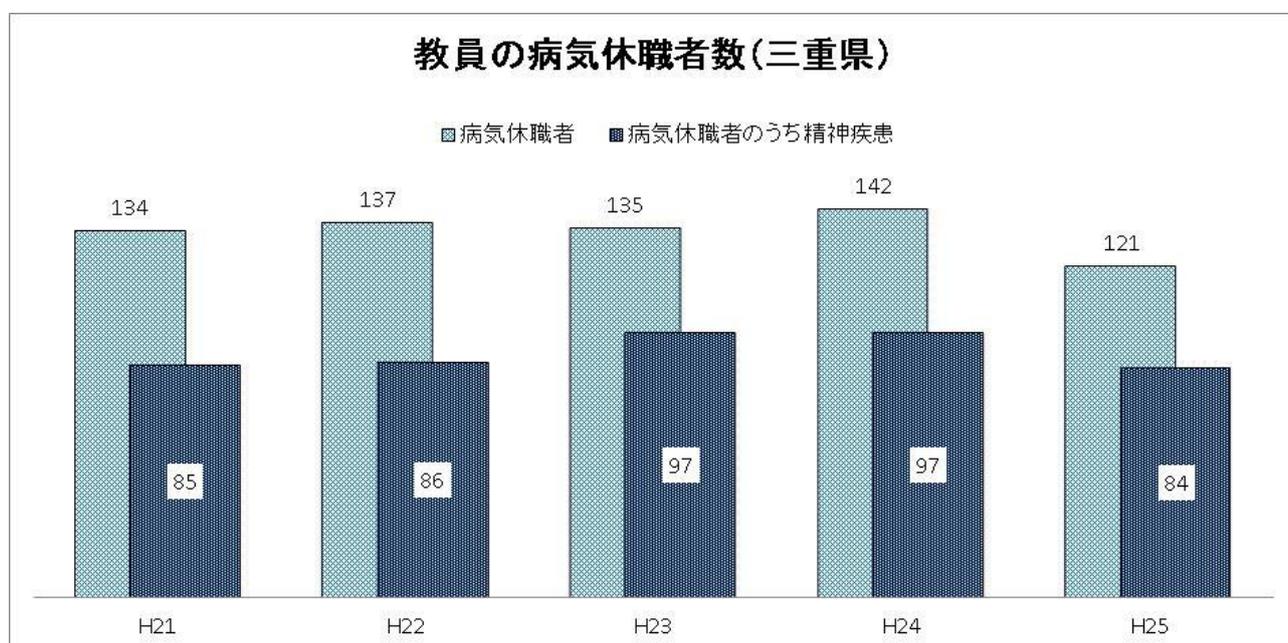
① 教員の年齢構成



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 各校種とも51歳以上の占める割合が4割程度になっている。

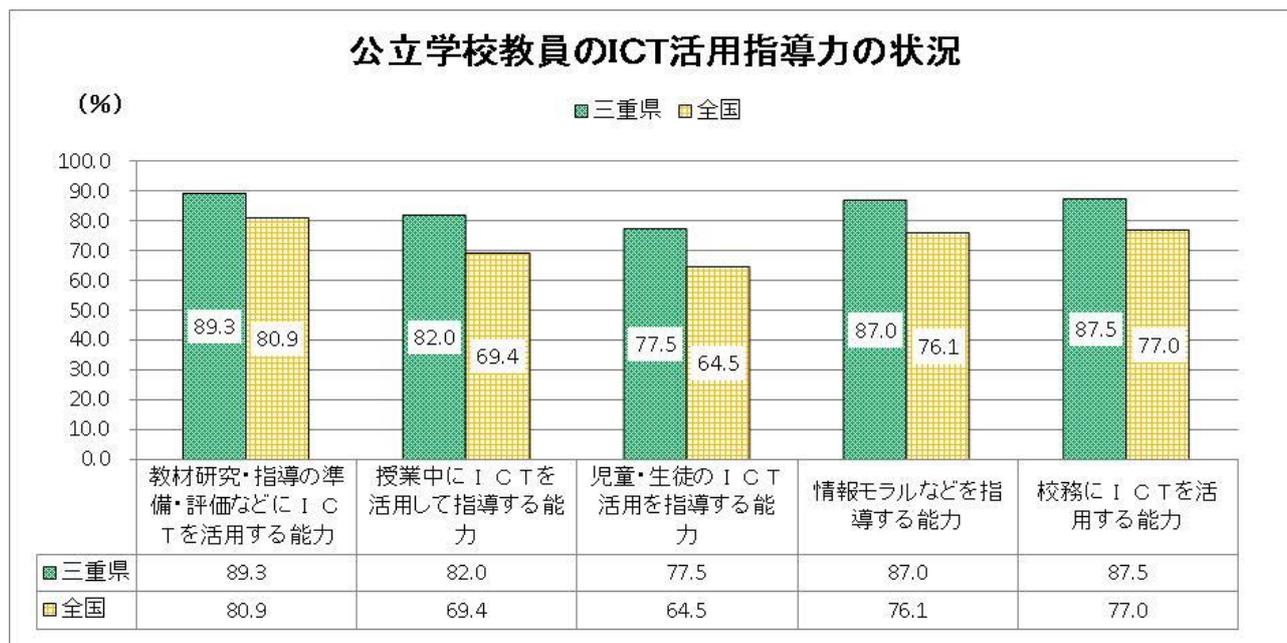
② 教員の病気休職者数



【公立学校教職員の人事行政の状況調査(文部科学省)】

- ・ 病気休職者のうち精神疾患による休職者数が増加傾向にあったが、平成25年度は減少した。

③ 教員のICTを活用する能力

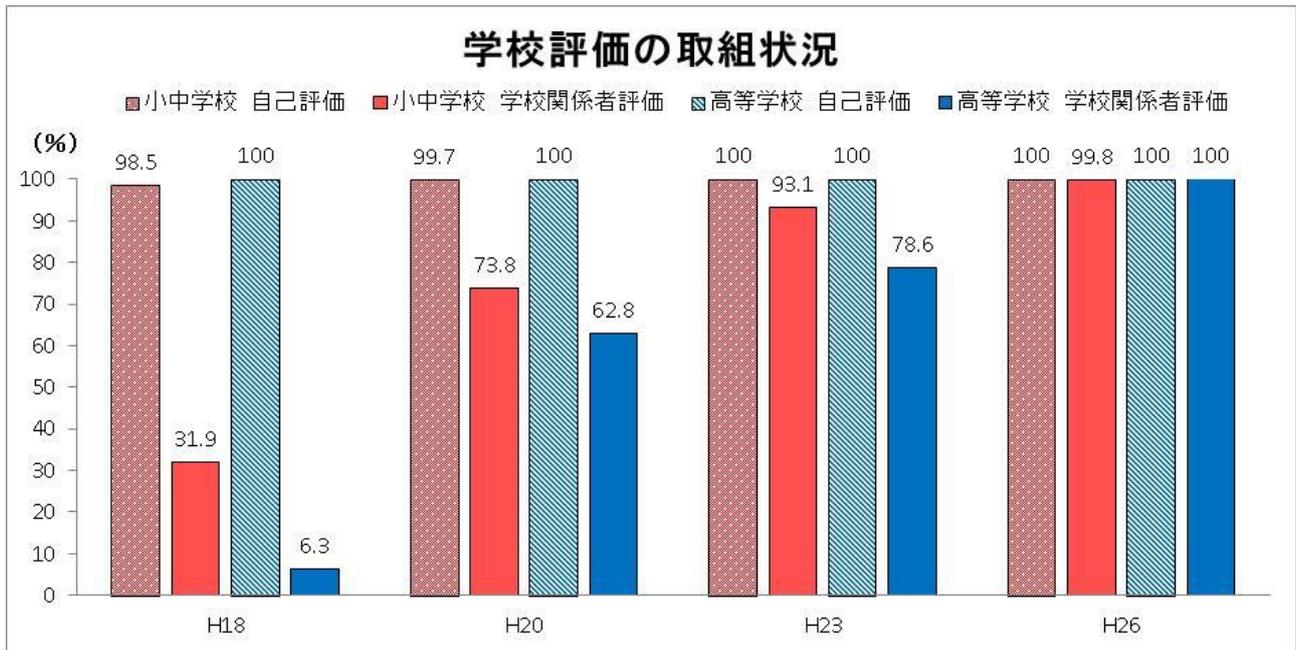


【平成25年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査（文部科学省）】

- ・ 三重県の教員のICTを活用する能力は、調査項目すべてにおいて全国平均を上回っている。

(3) 学校

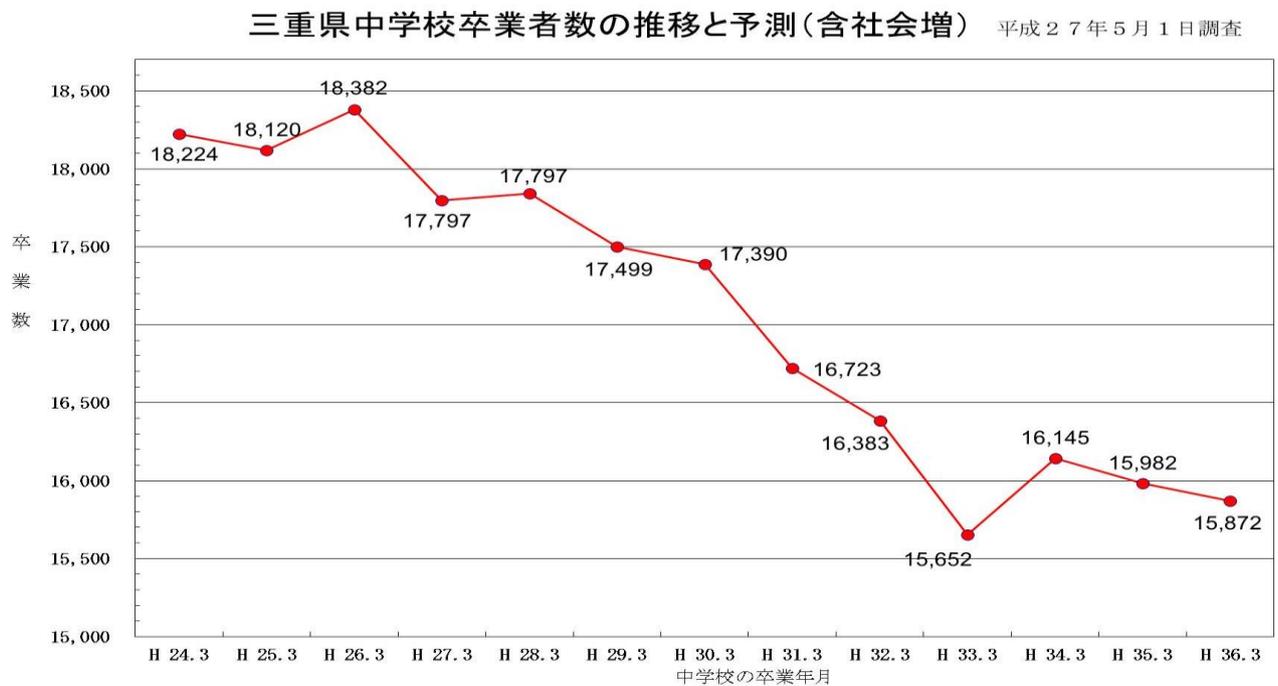
① 学校評価の取組状況（三重県）



【学校評価と情報提供の実施調査（文部科学省）】

- ・ 学校評価の取組は浸透してきている。特に近年、学校関係者評価の浸透が著しい。

② 三重県内の中学校卒業生数の推移と予測



【三重県教育委員会調べ】

- ・ 中学校卒業生数は年々減少傾向にある。

③ コミュニティ・スクール及び学校支援地域本部の状況

■コミュニティ・スクール

・平成27年度 設置学校数（平成27年4月1日現在）

小中学校数・・・57校（設置割合10.1%）

※全国の設置割合は7.6%

高等学校・・・2校

※全国で計13校が指定されているのみ

■学校支援地域本部（*）

・平成26年度 設置学校数

小中学校数・・・204校（設置割合38.2%）

※全国の設置割合は30.1%

コミュニティ・スクール一覧（指定年月日） ※計60校（予定1校含む）

小学校（41校）	津市立南が丘小学校	(H17年12月26日)
	いなべ市立立田小学校	(H19年6月1日)
	いなべ市立石樽小学校	(H19年6月1日)
	御浜町立尾呂志学園小学校	(H20年5月1日)
	鈴鹿市立小学校 全30校	(H23年4月1日)
	志摩市立鶴方小学校	(H23年5月1日)
	亀山市立加太小学校	(H24年4月1日)
	松阪市立第四小学校	(H25年4月1日)
	松阪市立港小学校	(H25年4月1日)
	亀山市立川崎小学校	(H26年4月1日)
	亀山市立昼生小学校	(H27年4月1日)
	尾鷲市立尾鷲小学校	(H27年度中に設置予定)
中学校（17校）	津市立朝陽中学校	(H19年5月1日)
	御浜町立尾呂志学園中学校	(H20年5月1日)
	伊勢市立厚生中学校	(H21年10月22日)
	伊賀市立城東中学校	(H22年10月1日)
	鈴鹿市立中学校 全10校	(H23年4月1日)
	松阪市立鎌田中学校	(H25年4月1日)
	津市立南が丘中学校	(H27年4月1日)
	多気町立勢和中学校	(H27年4月1日)
高等学校（2校）	三重県立紀南高等学校	(H19年6月1日)
	三重県立白山高等学校	(H25年4月1日)

【三重県教育員会調べ】

* 学校支援地域本部：学習支援等、学校の教育活動を支援するため、地域住民の学校支援ボランティアなどへの参加をコーディネートする組織で、いわば「地域につくられた学校の応援団」。地域住民が学校を支援する取組を組織的なものとし、学校の求めと地域の力をマッチングして、より効果的な学校支援を行い、教育の充実を図ろうとするもの。

④ 小中一貫教育の推進状況

■これまでの取組

- 小中学校総合連携推進事業（平成17・18年度の2年間）
 - ※ 小中連携の推進に関する研究
- 幼保小中育ちのリレー事業（平成19～22年度の4年間）
 - ※ 幼保小中の連携に関する研究
- 幼児期からの一貫した教育の連携推進事業（平成23年度の1年間）
 - ※ 幼保小中高特支の連携に関する研究

■今後の取組方針

国の「小中一貫教育推進事業」を受託し、三重県小中一貫教育研究協議会を設置し、以下について取り組む。

- ・本県における小中一貫教育を推進するための方針等の策定について
- ・小中一貫教育を推進するための体制の構築、学校設置者等との連携について
- ・小中一貫教育を推進するための人事上の工夫について
- ・小中一貫教育を推進するための教員研修について
- ・小中一貫教育の成果・課題の把握、情報の収集・分析について
- ・小中一貫教育を推進のための広報・啓発について

■本事業を受諾した3市の取組概要（予定）

- いなべ市・・・全中学校区での小中一貫教育の実施、義務教育9年間を見通した特色ある教育活動を推進する。
- 桑名市・・・小中一貫教育の取組を通し、学力向上、生徒指導、中一ギャップの解消等について研究を行う。4－3－2制のシステムについて協議していく。
- 名張市・・・コミュニティ・スクールを基盤としたキャリア教育・郷土教育カリキュラムの開発。実践研究を行い、その成果と課題を活用して小中一貫教育の推進と5－5制の新しい教育システムの構築をめざす。
 - ※5－5制：4－5制の小中一貫教育と幼稚園要領に基づいた5歳児の教育を、スタートカリキュラム編成等によって連結させる。

■その他の取組状況（津市）

- ・平成16年度：内閣府より「津市小中一貫教育特区」の認可を受ける。
- ・平成17年度：2校区をモデル校として実施。
- ・平成19年度：「津市小中一貫教育推進校」として6中学校区をモデル校として実施。
- ・平成20年度：7中学校区に拡大。
- ・平成21年度：「保幼小中『生きる力』育成ネットワーク事業」として、取組を充実。
- ・平成25年3月：「津市総合計画後期基本計画」に「小中一貫教育の推進」を明示。
- ・平成26年度：「津市小中一貫教育」をスタート。
- ・平成27年度・28年度は、実践中学校区を順次拡大し、平成29年度は、全ての中学校区で実施予定。

⑤ 県立高等学校の教育課程による分類 【平成27年度入学生】

全日制課程		定時制課程
普通科	桑名、桑名西、桑名北、川越、四日市、四日市南、四日市西、朝明、四日市四郷、菰野、神戸、白子、石薬師、稲生、亀山、津、津西【単】、津東【単】、久居【単】、白山、松阪、相可【単】、宇治山田、伊勢、南伊勢(南勢、度会校舎)、志摩、上野、名張桔梗丘【単】、名張西、尾鷲【単】、木本、紀南【単】	普通科 桑名、北星【単】、飯野【単】、松阪工業【単】、伊勢まなび(昼間部)【単】、上野、名張【単】、尾鷲【単】、木本【単】
	コース制 四日市(国際科学)、四日市南(数理科学)、四日市西(比文・歴史、数理情報)、四日市四郷(スポーツ科学)、白子(文化教養)、稲生(情報)、久居(スポーツ科学)【単】、伊勢(国際科学)、志摩(国際)、尾鷲(プログレッシブ)【単】	
専門学科	農業 四日市農芸、久居農林、相可、明野、伊賀白鳳(生物資源・フードシステム)【単】	専門学科 北星(情報ビジネス)【単】、四日市工業【単】、伊勢まなび(夜間部:ものづくり工学)【単】
	工業 桑名工業、四日市工業、四日市中央工業、津工業、名張西(情報)、松阪工業、伊勢工業、伊賀白鳳(機械・電子機械・工芸デザイン)【単】、尾鷲(システム工学)【単】	
	商業 四日市商業、津商業、白山(情報コミュニケーション)、宇治山田商業、松阪商業【単】、伊賀白鳳(経営)【単】、尾鷲(情報ビジネス)【単】	
	水産 水産(海洋・機関、水産資源)	
	家庭 四日市農芸(生活文化)、白子(生活創造)、亀山(総合生活)、久居農林(生活デザイン)、相可(食物調理)、明野(生活教養)	
	看護 桑名(衛生看護)	
	情報 亀山(システムメディア)	
	福祉 朝明(ふくし)、明野(福祉)、伊賀白鳳(ヒューマンサービス)【単】	
その他 桑名(理数)、川越(国際文理)、神戸(理数)、稲生(体育)、飯野(英語コミュニケーション・応用デザイン)、津西(国際科学)【単】、松阪(理数)、松阪商業(国際教養)【単】、上野(理数)、名張西(英語)		
総合学科	いなべ総合学園、飯南、昴学園、鳥羽、あけぼの学園、名張、木本 【すべて単位制】	総合学科 みえ夢学園【単】
		通信制課程
		普通科 北星【単】、松阪【単】

※【単】は単位制

⑥ 県立高等学校全日制課程の専門学科等の設置状況 (平成27年度募集)

学科	学級数	学科名
農業	15	生物生産、生物資源、生産経済、食品科学、環境創造、環境土木、環境造園、環境情報、生産科学、園芸科学、フードシステム、流通科学
水産	2	海洋・機関、水産資源
工業	40	機械、電子機械、電気、電子、電気工学、電子工学、建築、都市工学、設備システム、材料技術、工業化学、化学工学、繊維デザイン、物質工学、情報、工芸デザイン、自動車、システム工学、建設工学
商業	27	商業、国際、情報処理、情報ビジネス、ビジネス、情報システム、情報コミュニケーション、経営、情報マネジメント
家庭	8	生活文化、食物調理、生活教養、総合生活、生活デザイン、生活創造
看護	1	衛生看護
福祉	3	福祉、ヒューマンサービス、ふくし
情報	2	システムメディア
その他	18	理数、英語、体育、国際教養、応用デザイン、英語コミュニケーション、国際科学、国際文理
普通科コース	14	比較文化・歴史、国際、国際科学、数理科学、スポーツ科学、情報、プログレッシブ、数理情報、文化教養(吹奏楽)

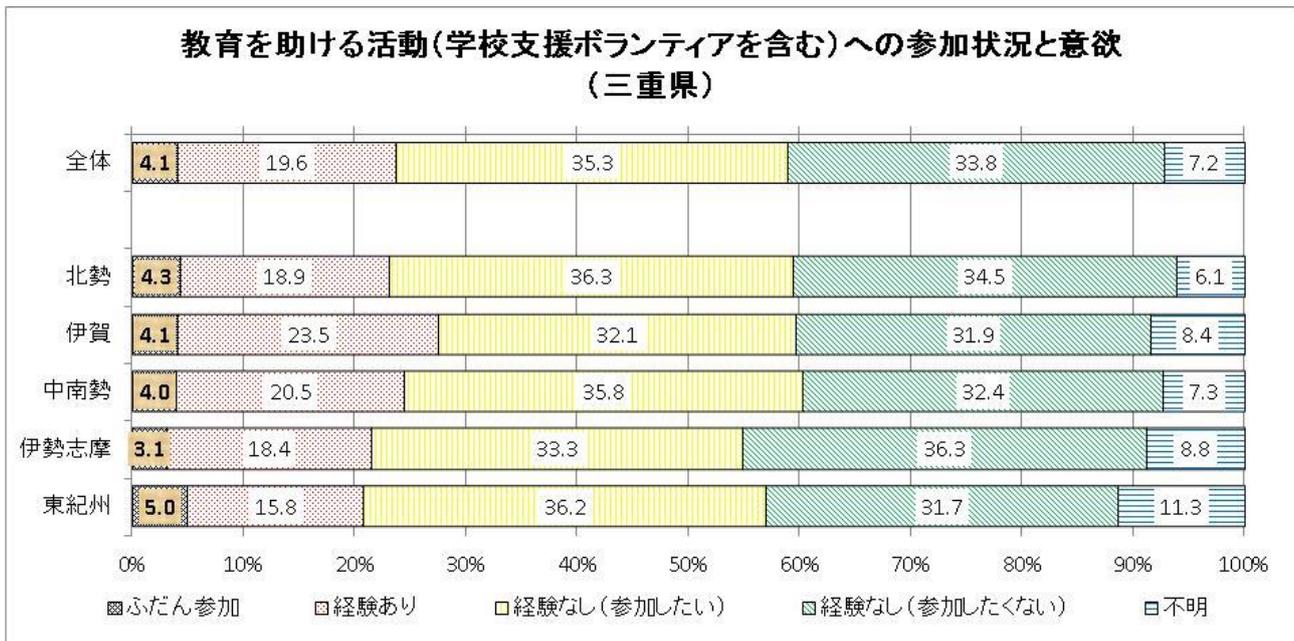
県立高等学校全日制課程の総合学科における系列の設置状況 (平成27年度募集)

学校名	学級数	総合学科の系列名
木本	2	家庭、情報・会計、スポーツ、スタンダード
昴学園	2	環境技術、美術工芸、生活福祉、総合スポーツ、国際交流
あけぼの学園	2	情報教養、美容服飾、製菓調理、健康福祉
飯南	2	介護福祉、郷土環境、コンピュータ、総合進学
いなべ総合学園	8	人文社会、国際理解、デザイン、スポーツマネジメント、自然科学、社会福祉、生活環境、情報・ビジネス
名張	5	ベンチャービジネス、芸術メディア、IT、スポーツ・健康福祉、生活デザイン、国際文化・国際科学
鳥羽	3	観光ビジネス、スポーツ健康、総合福祉、文理進学

【参考】私立高等学校(全日制)の教育課程 ⇒ 普通科310学級、英語科5学級、農業科4学級

(4) 家庭・地域の教育力の向上

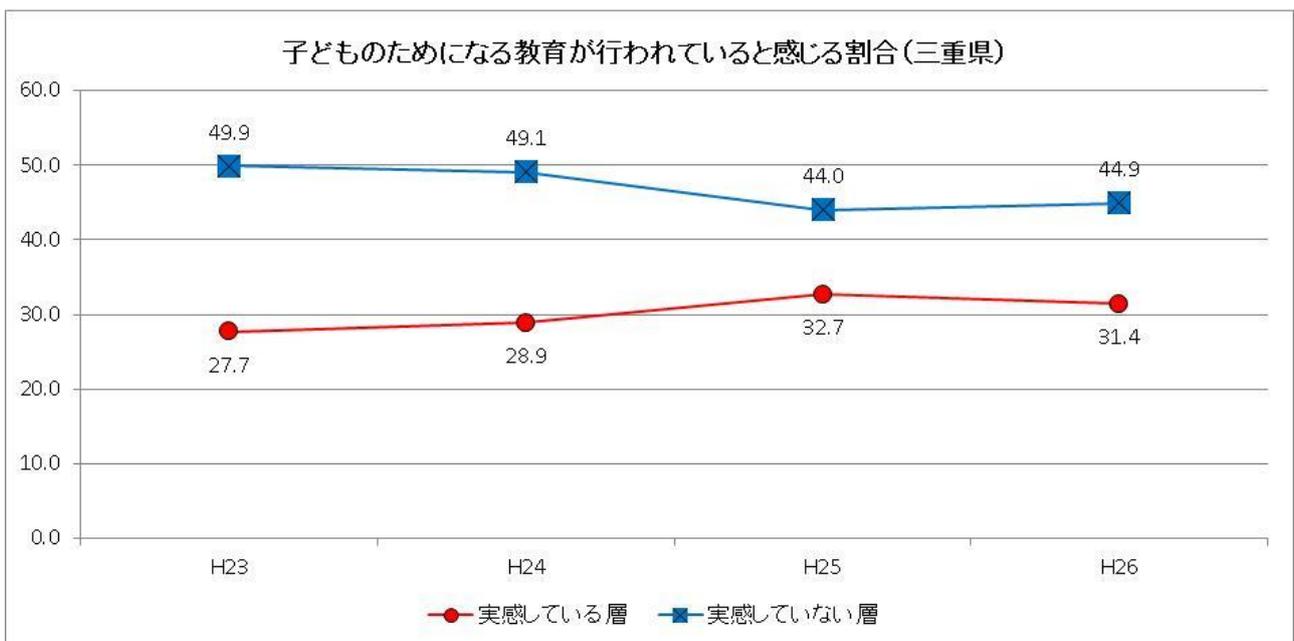
① 教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への参加状況と意欲



【平成25年度 みえ県民意識調査】

- ・ 教育を助ける活動へ普段参加している、参加している経験のある人の割合は、全体で約24%、参加経験はないものの参加したいと思っている人の割合は、全体で約35%となっている。一方、参加したくないと思っている人の割合も、全体で約34%となっている。

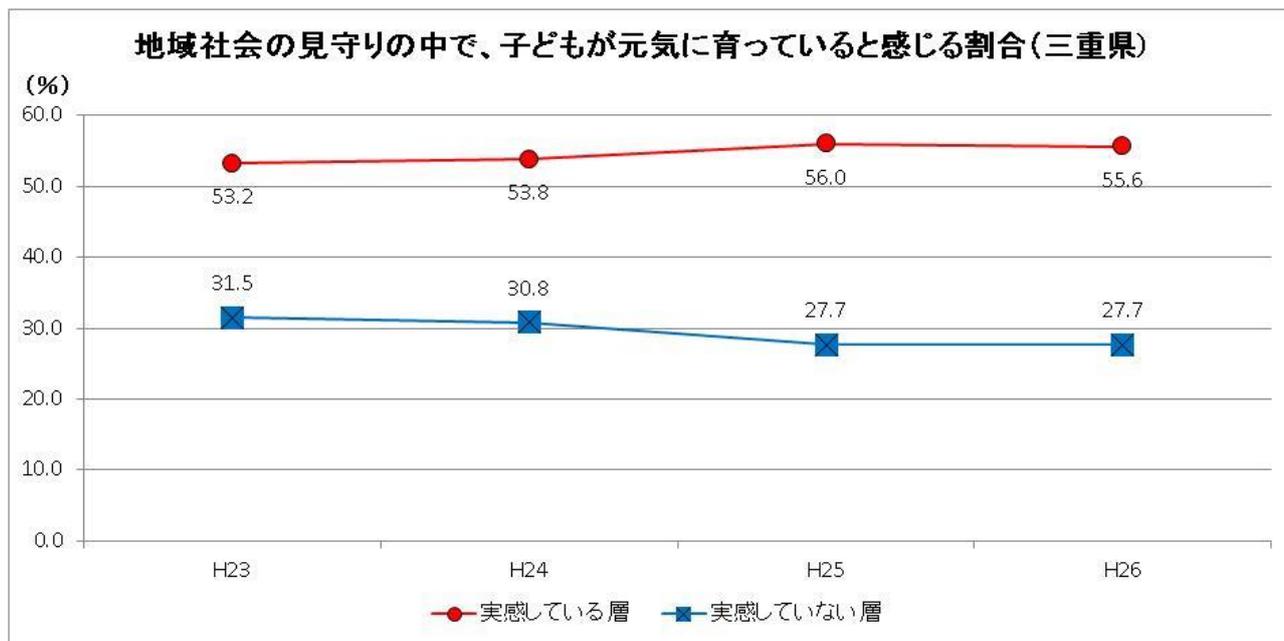
② 子どものためになる教育が行われていると感じる割合



【みえ県民意識調査】

- ・ 数値は中期的に改善傾向を示しているが、子どものためになる教育が行われていると実感している層より、実感していない層の方が多数を占めている。

③ 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる割合



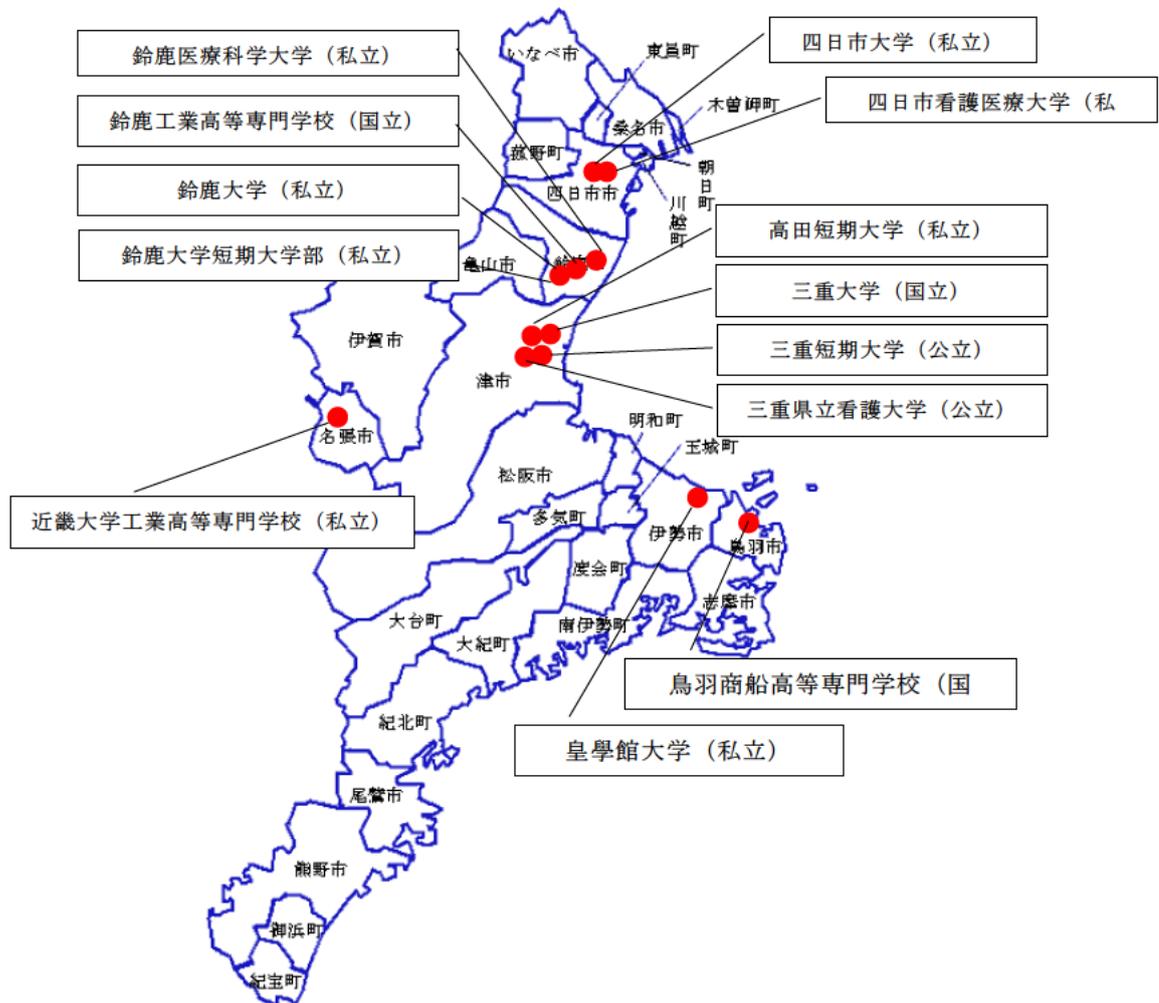
【みえ県民意識調査】

- ・ 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じている人の割合は、実感していない層が減少しつつあるなど、やや改善の傾向を示している。

4 高等教育機関の現状

(1) 県内高等教育機関の状況

① 県内高等教育機関の配置



② 高等教育機関の数に関する他府県との比較

府県	大学				短大				高専			
	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計
三重県 (約185万人)	1	1	5	7	0	1	2	3	2	0	1	3
【総人口が類似の県】												
熊本県 (約182万人)	1	1	7	9	0	0	2	2	1	0	0	1
岡山県 (約195万人)	1	2	14	17	0	2	8	10	1	0	0	1
栃木県 (約201万人)	1	0	8	9	0	0	6	6	1	0	0	1
群馬県 (約201万人)	1	4	8	13	0	0	8	8	1	0	0	1
福島県 (約201万人)	1	2	5	8	0	1	4	5	1	0	0	1
【県境を隣接する府県】												
愛知県 (約741万人)	4	5	42	51	0	0	22	22	1	0	0	1
岐阜県 (約208万人)	1	3	8	12	0	1	10	11	1	0	0	1
滋賀県 (約141万人)	2	1	5	8	0	0	3	3	0	0	0	0
京都府 (約264万人)	3	3	28	34	0	0	14	14	1	0	0	1
奈良県 (約140万人)	3	2	6	11	0	0	4	4	1	0	0	1
和歌山県 (約100万人)	1	1	1	3	0	0	1	1	1	0	0	1

(文部科学省「平成26年度学校基本調査」)

(2) 県内高等教育機関の基本情報

三重大学(国立大学法人)
創立: 昭和24年

学部・学科等	収容定員	学部・学科等	収容定員	学部・学科等	収容定員
人文学部(文化学科)	420人	医学部(医学科)	750人	生物資源学部(資源循環学科)	246人
同(法律経済学科)	700人	同(看護学科)	340人	同(共生環境学科)	346人
教育学部(学校教育教員養成課程)	580人	工学部(機械工学科)	340人	同(生物圏生命化学科)	388人
同(情報教育課程)	80人	同(電気電子工学科)	340人		
同(生涯教育課程)	60人	同(分子素材工学科)	400人		
同(人間発達科学課程)	80人	同(建築学科)	180人		
		同(情報工学科)	240人		
		同(物理工学科)	160人		

【収容定員計: 5,650人】

三重県立看護大学(県立)
創立: 平成9年

学部・学科等	定員数
看護学部(看護学科)	400人

【収容定員計: 400人】

四日市大学(私立)
創立: 昭和63年

学部・学科等	収容定員
経済学部 (経済経営学科)	340人
環境情報学部 (環境情報学科)	310人
総合政策学部 (総合政策学科)	310人

【収容定員計: 960人】

四日市看護医療大学(私立)
創立: 平成19年

学部・学科等	収容定員
看護学部(看護学科)	400人

【収容定員計: 400人】

鈴鹿医療科学大学(私立)
創立: 平成3年

学部・学科等	収容定員	学部・学科等	収容定員
保健衛生学部(放射線技術科)	410人	同(鍼灸学科)	124人
同(医療栄養学科・管理栄養コース)	166人	医用工学部(臨床工学科)	172人
同(同・臨床検査コース)	160人	同(医用情報工学科)	124人
同(理学療法学科)	160人	薬学部(薬学科)	600人
同(医療福祉学科・医療福祉コース)	126人	看護学部(看護学科)	320人
同(同・臨床心理コース)	120人		

【収容定員計: 2,482人】

鈴鹿大学(私立)
創立:平成6年

学部・学科等	収容定員
国際人間科学部	560人

【収容定員計:560人】

皇學館大学(私立)
創立:昭和37年

学部・学科等	収容定員
文学部 (神道学科)	280人
同 (国文学科)	320人
同 (国史学科)	320人
同 (コミュニケーション学科)	320人
教育学部 (教育学科)	840人
現代日本社会学部 (現代日本社会学科)	400人

【収容定員計:2,480人】

三重短期大学(市立)
創立:昭和27年

学部・学科等	収容定員
法経科第1部	200人
同・第2部	300人
生活科学科 食物栄養学専攻	100人
同・生活科学専攻	200人

【収容定員計:800人】

高田短期大学(私立)
創立:昭和41年

学部・学科等	収容定員
子ども学科	300人
キャリア育成学科 (オ フィスワークコース、 介護福祉コース)	200人

【収容定員計:500人】

鈴鹿大学短期大学部(私立)
創立:昭和41年

学部・学科等	収容定員
生活コミュニケーション 学専攻 (養護教諭・福祉 コース、生活コミュニ ケーションコース)	80人
こども学専攻 (幼稚園教 諭・保育士コース)	180人
食物栄養学専攻 (栄養教 諭・栄養士コース)	80人

【収容定員計:340人】

鈴鹿工業高等専門学校(国立)
創立:昭和37年

学部・学科等	収容定員
機械工学科	200人
電気電子工学科	200人
電子情報工学科	200人
生物応用化学科	200人
材料工学科	200人
[専攻科] 電子機 械工学専攻	24人
[専攻科] 応用物 質工学専攻	16人

【収容定員計:1,040人】

鳥羽商船高等専門学校(国立)
創立:昭和42年

学部・学科等	収容定員
商船学科 (航海コー ス、機関コース)	200人
電子機械工学科	200人
制御情報工学科	200人
[専攻科] 海事シ ステム学専攻	8人
[専攻科] 生産シ ステム工学専攻	16人

【収容定員計:624人】

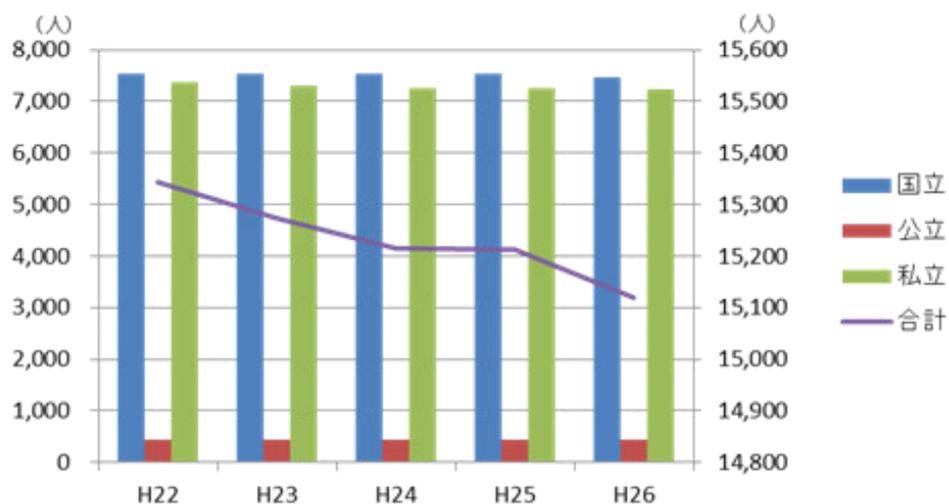
**近畿大学工業高等専門学校
(私立)**
創立:昭和42年

学部・学科等	収容定員
総合システム工学科	800人
[専攻科] 生産シ ステム工学専攻	36人

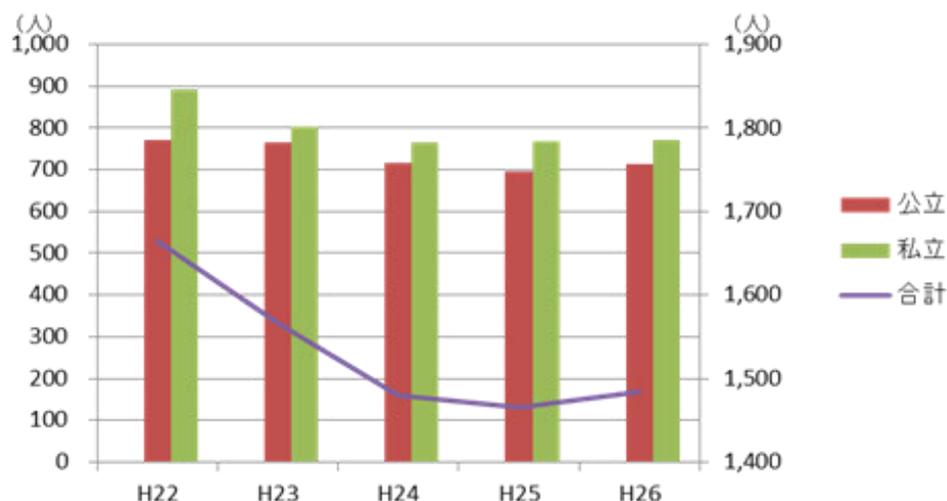
【収容定員計:836人】

(3) 学生数の推移

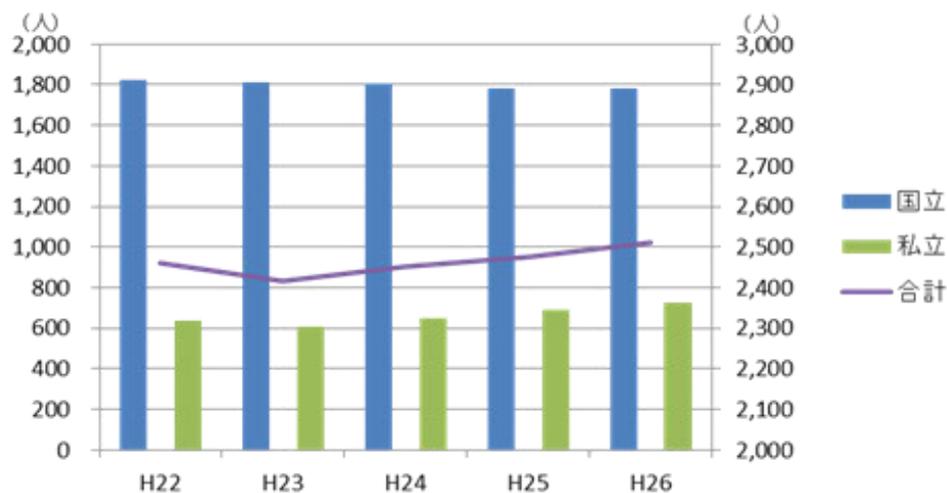
● 大学(学部)の学生数の推移



● 短期大学の学生数の推移



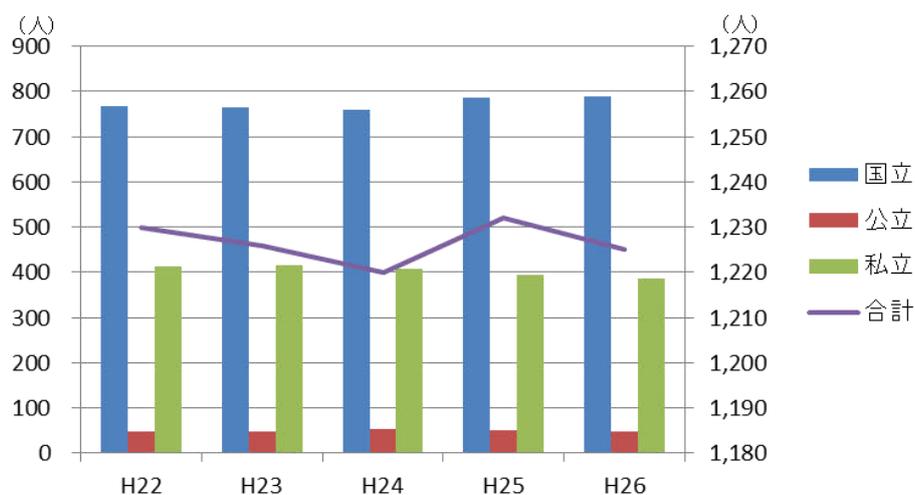
● 高等専門学校(専門学校)の学生数の推移



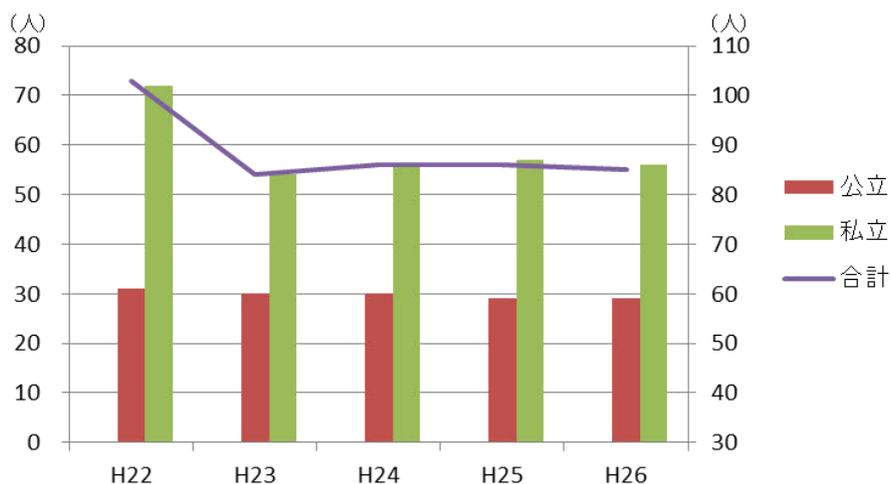
出典: 文部科学省「学校基本調査」

(4) 教員数の推移

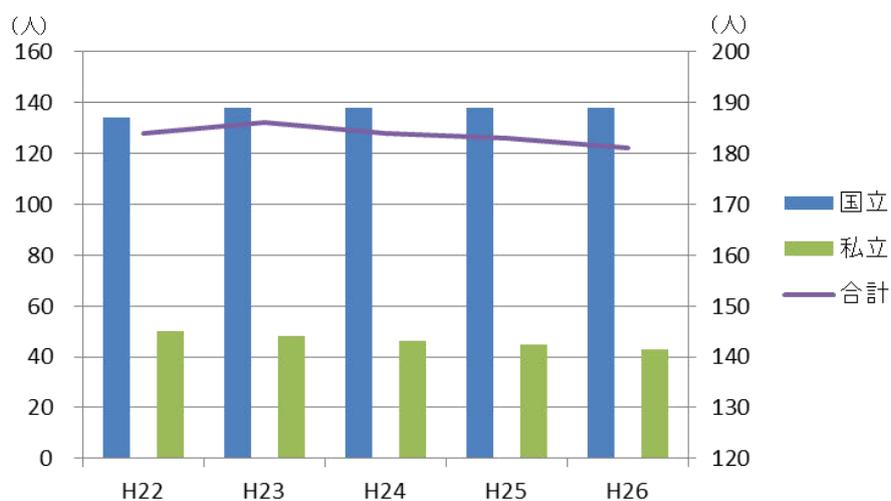
● 大学(学部)の教員数の推移



● 短期大学の教員数の推移



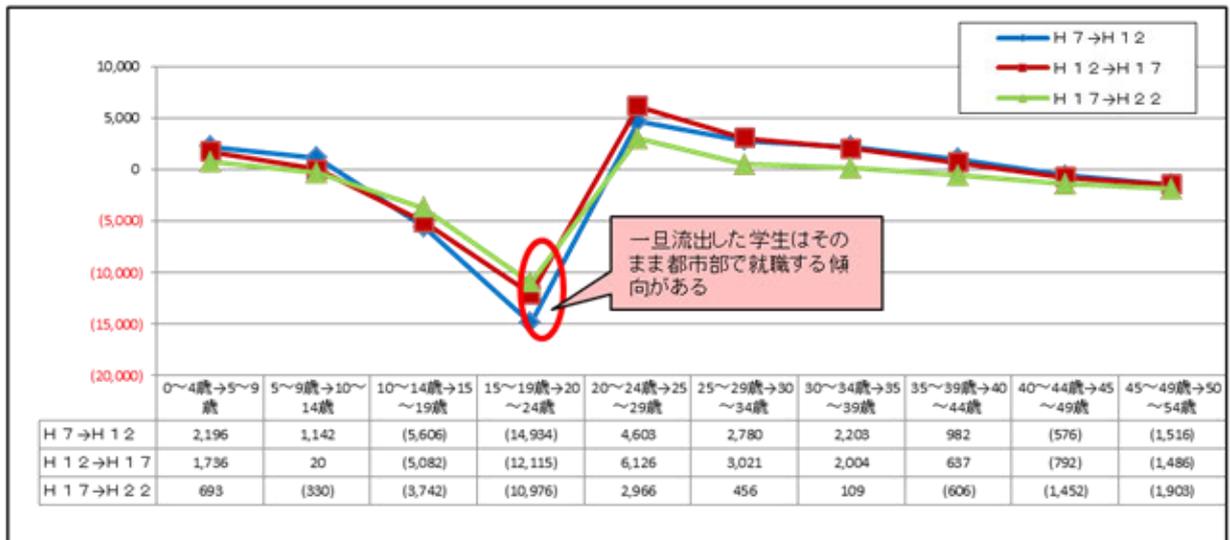
● 高等専門学校(高専)の教員数の推移



出典: 文部科学省「学校基本調査」

(5) 三重県の課題

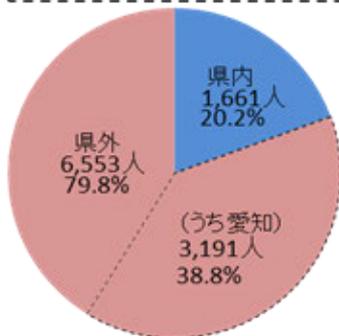
●コーホート分析



出典：総務省「国勢調査」

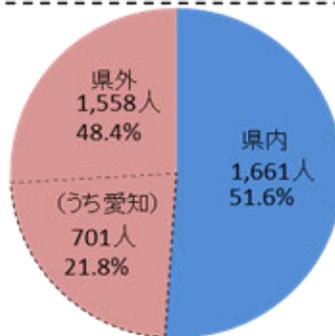
●三重県における大学への進学状況及び大学卒業生の就職状況

平成26年4月に大学に進学した県内高校卒業生のうち県内大学に進学した者の割合は20.2%



出典：文部科学省「学校基本調査」

平成26年4月に県内大学に進学した学生のうち県内高校出身者の割合は51.6%



出典：三重県作成

平成26年3月に県内大学を卒業した学生のうち県内企業に就職した学生の割合は47.5%

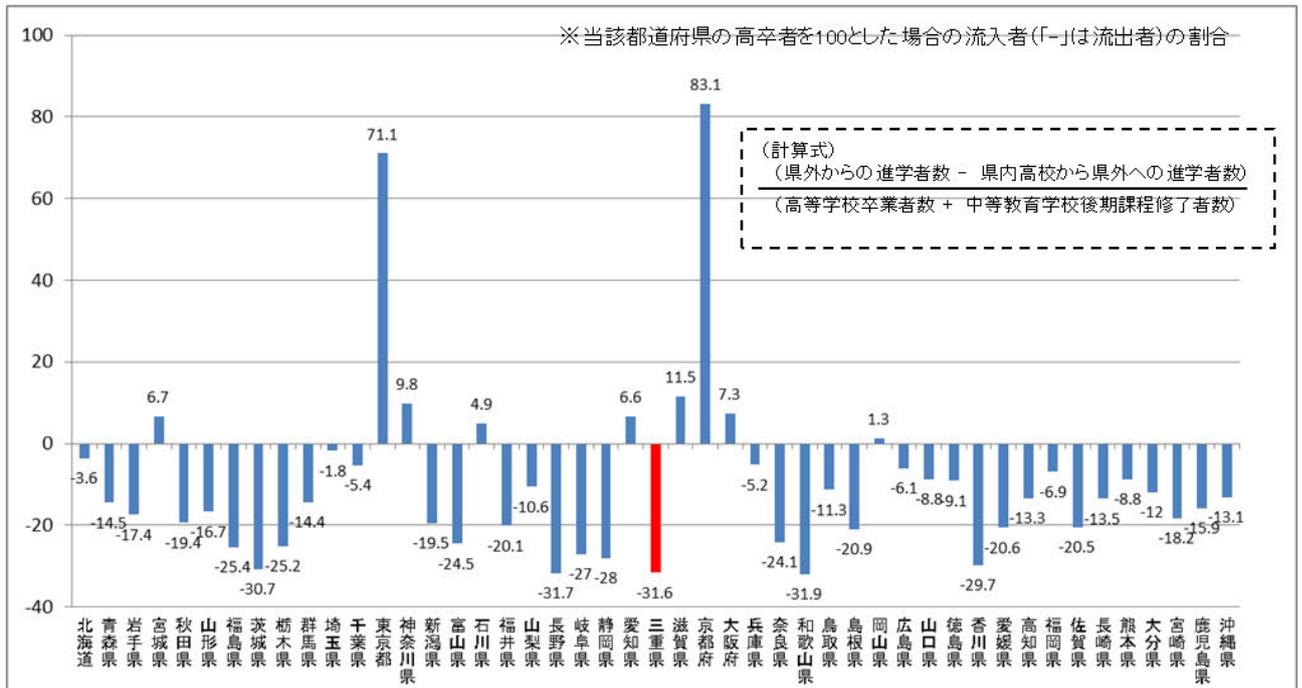


●都道府県別大学収容力指数(上位・下位5都道府県)

大学収容力指数									
順位	都道府県名	上位5都道府県			順位	都道府県名	下位5都道府県		
		H17年度	H22年度	H25年度			H17年度	H22年度	H25年度
1	京都府	262.5	249.0	248.5	43	静岡県	52.9	48.4	50.5
2	東京都	249.4	237.3	229.9	44	福島県	54.9	46.5	47.0
3	福岡県	143.1	136.6	136.1	45	長野県	46.8	42.9	44.0
4	大阪府	159.1	143.5	136.0	46	三重県	44.3	42.7	43.0
5	神奈川県	171.8	156.5	134.3	47	和歌山県	39.0	39.3	42.2

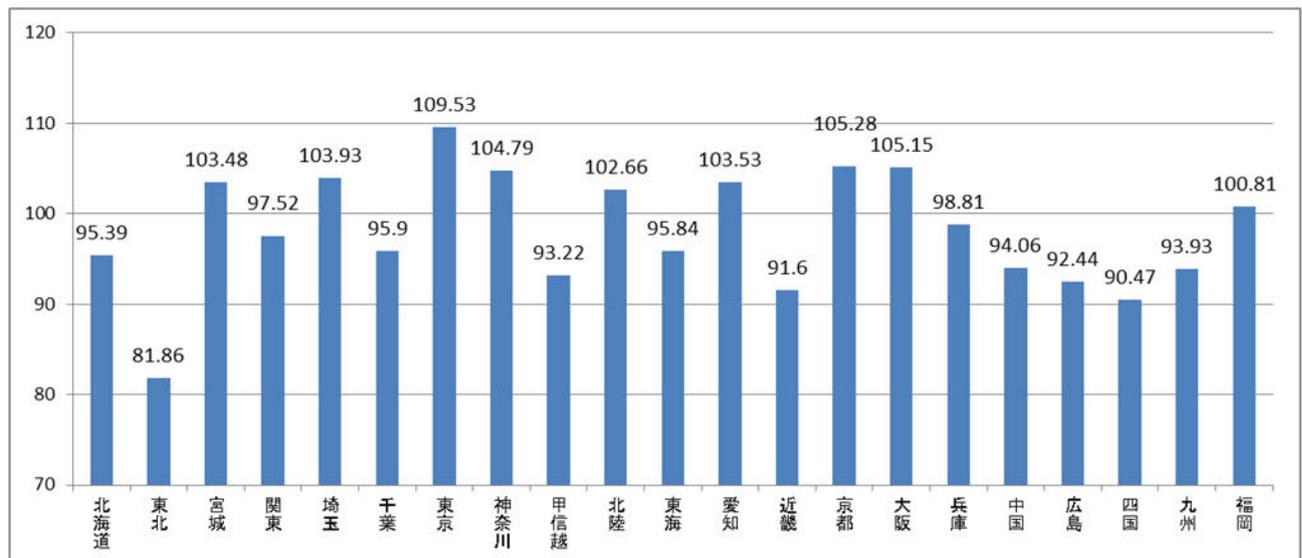
出典：総務省「社会生活統計指標」

●大学進学時の都道府県別流入・流出率(平成26年度)



出典: 文部科学省「教育再生実行会議第6次提言参考資料」を基に三重県作成

●私立大学・短期大学の地域別の入学定員充足率(大学・学校別)(平成26年度)



地域区分

北海道	北海道	東海	岐阜・静岡・三重
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島	愛知	愛知
宮城	宮城	近畿	滋賀・奈良・和歌山
関東	茨城・栃木・群馬	京都	京都
埼玉	埼玉	大阪	大阪
千葉	千葉	兵庫	兵庫
東京	東京	中国	鳥取・島根・岡山・山口
神奈川	神奈川	広島	広島
甲信越	新潟・山梨・長野	四国	徳島・香川・愛媛・高知
北陸	富山・石川・福井	九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
		福岡	福岡

出典: 日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター
 「平成26(2014)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に三重県作成

● 高校生・保護者アンケート結果(平成26年度)

「どのような専門分野を志望していますか。(大学・短大)」「複数回答」×「自宅から通学できる範囲に志望する大学・短大がありますか。」のクロス集計結果

「外国語学部系統」、「理学系統」、「農林水産学系統」、「芸術学系統」では、「ある」を選択された方の割合が県全体の平均より5%以上小さく、「ない」を選択された方の割合が県全体の平均より5%以上大きくなっています。

一方で、「ない」を選択された方の実数でみると、「工学系統」が286人で最も多く、次いで、「教育学系統」が263人、「経済・経営学系統」が257人となっています。

	全体	ある	ない	わからない・まだ決めていない
n				
全体	5860	3211	1807	842
人文学系統	795	460	225	110
外国語学部系統	600	265	244	91
法学系統	324	200	103	21
経済・経営学系統	839	451	257	131
教育学系統	1301	893	263	145
理学系統	569	219	229	121
工学系統	953	498	286	169
医学・看護学系統	904	567	219	118
農林水産学系統	306	133	127	46
生活科学・福祉系統	540	343	120	77
芸術学系統	330	140	120	70
体育学系統	290	145	103	42
その他	357	148	115	94
横%				
全体	100	①54.8	②30.8	③14.4
人文学系統	100	57.9	28.3	13.8
外国語学部系統	100	44.2	40.7	15.2
法学系統	100	61.7	31.8	6.5
経済・経営学系統	100	53.8	30.6	15.6
教育学系統	100	68.6	20.2	11.1
理学系統	100	38.5	40.2	21.3
工学系統	100	52.3	30.0	17.7
医学・看護学系統	100	62.7	24.2	13.1
農林水産学系統	100	43.5	41.5	15.0
生活科学・福祉系統	100	63.5	22.2	14.3
芸術学系統	100	42.4	36.4	21.2
体育学系統	100	50.0	35.5	14.5
その他	100	41.5	32.2	26.3

